

農商務省ノ主管ニ屬ルル社團及財團ノ法人ニ關スル件

(明治三十二年一月農商務省令第一號)

第一條 農商務省ノ主管ニ屬スル社團又ハ財團ニシテ民法第三十四條ノ規定ニ依リ法人トシテ設立スルノ許可ヲ得ントスルモノハ其主タル事務所所在地ノ地方長官ヲ經由シテ農商務大臣ニ申請スヘシ

第二條 前條ノ手續ヲ經テ設立シタル法人ヨリ農商務大臣ニ願出又ハ届出ヲナストキハ總テ其主タル事務所所在地地方長官ヲ經由スヘシ

馬政局所管ノ社團又ハ財團ヲ法人トシテ設立スルトキノ申請方ノ件

(明治三十九年九月閣令第七號)

第一條 馬政局ノ主管ニ屬スル社團又ハ財團ニシテ民法第三十四條ノ規定ニ依リ法人トシテ設立スルノ許可ヲ得ムトスル者ハ其ノ主タル事務所所在地ノ地方長官ヲ經由シテ内閣總理大臣ニ申請スヘシ

第二條 前條ノ手續ヲ經テ設立シタル法人ヨリ内閣總理大臣ニ願出又ハ届出ヲ爲ストキハ總テ其ノ主タル事務所所在地地方長官ヲ經由スヘシ

法人ノ設立及監督ニ關スル規程

(明治三十六年三月臺灣總督府令第十四號)

法人ノ設立及監督ニ關スル規程左ノ通相定ム

第一條 民法第三十四條ニ依リ臺灣總督ノ許可ヲ得テ社團又ハ財團ヲ法人ト爲サントスルキハ其設立者ニ於テ社團ニアリテハ定款資産ノ總額及社員ノ員數、財團ニアリテハ寄附行爲及資産ノ總額ヲ具シタル申請書ヲ臺灣總督ニ差出スヘシ(廿九年一月臺灣總督府令第一號ニテ條中改正)

社團法人ニアリテハ定款ヲ變更シタルトキ亦同シ

第二條 法人ノ設立者及法人ヨリ臺灣總督ニ差出スヘキ書類ハ總テ其ノ主タル事務所所在地ノ廳長ヲ經由スヘシ

廳長ニ於テ前項ノ書類ヲ受タルトキハ意見ヲ附シテ進達スヘシ

第三條 法人ハ其ノ設立ノ許可ヲ受ケタルトキハ左ニ掲クル事項ヲ遲滞ナク臺灣總督ニ届出ヘシ其ノ第一號ノ事項中ニ變更ヲ生シタルトキ亦同シ(同上法令ニテ全條改正)

一 理事又ハ監事ノ氏名住所

二 財産目錄及社團法人ニ在リテハ社員ノ員數

第三條ノ二 法人ハ毎年四月三十日マテニ左ニ掲クル事項ヲ臺灣總督ニ届出ヘシ但シ特ニ事業年度ヲ設クルモノハ第一號ニ付テハ其ノ年度末ノ調査ニ依リ第二號乃至第五號ニ付テハ其ノ前年度中ノ事項ヲ其ノ年度ノ終ヨリ三十日以内ニ届出ヘシ(同上法令ニテ本條新置)

一 毎年初ノ三箇月内ニ作リタル財産目錄

二 社團法人ニ在リテハ前年中入社又ハ退社ノ社員ノ員數

三 前年中執行シタル法人ノ目的タル業務ノ狀況

四 前年中處理シタル事務ノ要領

五 前年中經費ノ收入收出金額及其ノ費目

第四條 廳長ハ法人ノ業務ヲ監督スヘシ

第五條 廳長ハ法人ヨリ監督上必要ナル報告ヲ徴シ又ハ實地ニ就キ其ノ業務及財産ノ狀況ヲ検査スルコトヲ得

前項ニ依リ徴シタル報告又ハ實地ニ就キ爲シタル検査ノ成績ハ遲滯ナク之ヲ臺灣總督ニ報告スヘシ(同上法令ニテ本項ヲ加フ)

第六條 廳長ハ法人ニ於テ民法第七十一條ニ該當スル行爲アリト認ムルトキハ其ノ事由ヲ詳具シテ臺灣總督ニ報告スヘシ

第二章 著作權

第一節 通則

著作權法

(明治三十二年三月法律第三十九號)

朕帝國議會ノ協賛ヲ經タル著作權法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム
著作權法

第一章 著作ノ權利

第一條 文書演述圖書建築彫刻模型寫眞其ノ他文藝學術若ハ美術ノ範圍ニ屬スル著作物ノ著作人ハ其ノ著作物ヲ複製スルノ權利ヲ專有ス(明治四十三年六月法律第六十二號ニテ條中改正)

文藝學術ノ著作物ノ著作權ハ翻譯權ヲ包含シ各種ノ脚本及樂譜ノ著作權ハ興行權ヲ包含ス

第二條 著作權ハ之ヲ讓渡スコトヲ得

第三條 發行又ハ興行シタル著作物ノ著作權ハ著作人ノ生存間及其ノ死後三十年間繼續ス

數人ノ合著作ニ係ル著作物ノ著作權ハ最終ニ死亡シタル者ノ死後三十年間繼續ス

第四條 著作人ノ死後發行又ハ興行シタル著作物ノ著作權ハ發行又ハ興行ノ日ヨリ卅年間繼續ス

第五條 無名又ハ變名著作物ノ著作權ハ發行又ハ興行ノ日ヨリ三十年間繼續ス但シ其ノ期間内ニ著作人其ノ實名ノ登錄ヲ受ケタルトキハ第三條ノ規定ニ從フ

第六條 官公衙學校社寺協會會社其ノ他團體ニ於テ著作ノ名義ヲ以テ發行又ハ興行シタル著作物ノ著作權ハ發行又ハ興行ノ日ヨリ三十年間繼續ス

第七條 著作權者原著作物發行ノ日ヨリ十年以内ニ其翻譯物ヲ發行セサル日ハ其著譯權ハ消滅ス前項ノ期間内ニ著作權者其ノ保護ヲ受ケムトスル國語ノ翻譯物ヲ發行シタルトキハ其ノ國語ノ翻譯權ハ消滅セス

第八條 冊號ヲ逐ヒ順次ニ發行スル著作物ニ關シテハ第四條ノ期間ハ每冊若ハ每號發行ノ日ヨリ起算ス

一部分ツツナ漸次ニ發行シ全部完成スル著作物ニ關シテハ前四條ノ期間ハ最終部分ノ發行ノ日ヨリ起算ス但シ三年ヲ經過シ仍繼續ノ部分ヲ發行セサルトキハ既ニ發行シタル部分ヲ以テ最終ノモノト看做ス

第九條 前六條ノ場合ニ於テ著作權ノ期間ヲ計算スルニハ著作人死亡ノ年又ハ著作物ヲ發行又ハ興行シタル年ノ翌年ヨリ起算ス

第十條 相續人ナキ場合ニ於テ著作權ハ消滅ス

第十一條 左ニ記載シタルモノハ著作權ノ目的物ト爲ルコトヲ得ス

一 法律命令及官公文書
二 新聞紙ニ記載シタル雜報及時事ノ記事(同上法令ヲ以テ本號中改正)
三 公開セル裁判所、議會並政談集會ニ於テ爲シタル演述

第十二條 無名又ハ變名著作物ノ發行者又ハ興行者ハ著作權者ニ屬スル權利ヲ保全スルコトヲ得
但シ著作者其ノ實名ノ登錄ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第十三條 數人ノ合著作ニ係カル著作物ノ著作權ハ各著作者ノ共有ニ屬ス
各著作者ノ分擔シタル部分明瞭ナラサル場合ニ於テ著作者中ニ其ノ發行又ハ興行ヲ拒ム者アル
トキハ他ノ著作者ハ其ノ者ニ賠償シテ其ノ持分ヲ取得スルコトヲ得但シ反對ノ契約アルトキハ
此ノ限ニ在ラス

各著作者ノ分擔シタル部分明瞭ナル場合ニ於テ著作者中ニ其ノ發行又ハ興行ヲ拒ム者アルトキ
ハ他ノ著作者ハ自己ノ部分ヲ分離シ單獨ノ著作物トシテ發行又ハ興行スルコトヲ得但シ反對ノ
契約アルトキハ此ノ限ニ在ラス

本條第二項ノ場合ニ於テハ發行又ハ興行ヲ拒ミタル著作者ノ意ニ反シテ其ノ氏名ヲ其ノ著作物
ニ掲グルコトヲ得ス

第十四條 數多ノ著作物ヲ適法ニ編輯シタル者ハ著作者ト看做シ其ノ編輯物全部ニ付テノミ著作
權ヲ有ス但シ部分ノ著作權ハ其ノ著作者ニ屬ス

第十五條 著作權ノ相續讓渡及買入ハ其ノ登錄ヲ受クルニ非サレハ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコ
トヲ得ス(同上法令ヲ以テ全條改正)

無名又ハ變名著作物ノ著作者ハ其ノ實名ノ登錄ヲ受クルコトヲ得

第十六條 登錄ハ行政廳ニ行フ

登錄ニ關スル規定ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十七條 未タ發行又ハ興行セサル著作物ノ原本及其ノ著作權ハ債權者ノ爲ニ差押ヲ受クルコト
ナシ但シ著作權者ニ於テ承諾ヲ爲シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第十八條 著作權ヲ承繼シタル者ハ著作者ノ同意ナクシテ其ノ著作者ノ氏名稱號ヲ變更シ若ハ其
ノ題號ヲ改メ又ハ其ノ著作物ヲ改竄スルコトヲ得ス

第十九條 原著作物ニ訓點、傍訓、句讀、批評、註解、附錄、圖畫ヲ加ヘ又ハ其ノ他ノ修正増減ヲ爲シ
若ハ翻案シタルカ爲新ニ著作權ヲ生スルコトナシ但シ新著作物ト看做サルヘキモノハ此ノ限ニ
在ラス

第二十條 新聞紙ニ掲載シタル記事ニ關シテハ小説及文藝學術若ハ美術ノ範圍ニ屬スル著作物ヲ
除ク外著作權者カ特ニ轉載ヲ禁スル旨ヲ明記セサルトキハ其ノ出所ヲ明示シテ轉載スルコトヲ
得(同上法令ヲ以テ條中改正)

第二十一條 翻譯者ハ著作者ト看做シ本法ノ保護ヲ享有ス但シ原著者ノ權利ハ之カ爲ニ妨ケラ
ルルコトナシ(同上法令ヲ以テ全條改正)

第二十二條 原著作物ト異ナリタル技術ニ依リ適法ニ美術上ノ著作物ヲ複製シタル者ハ著作者ト
看做シ本法ノ保護ヲ享有ス

第二十三條 寫眞著作權ハ十年間繼續ス

前項ノ期間ハ其ノ著作物ヲ始メテ發行シタル年ノ翌年ヨリ起算ス若シ發行セサルトキハ種板ヲ製作シタル年ノ翌年ヨリ起算ス

寫眞術ニ依リ適法ニ美術上ノ著作物ヲ複製シタル者ハ原著物ノ著作權ト同一ノ期間内本法ノ保護ヲ享有ス但シ當事者間ニ契約アルトキハ其ノ契約ノ制限ニ從フ

第二十四條 文藝學術ノ著作物中ニ挿入シタル寫眞ニシテ特ニ其ノ著作物ノ爲ニ著作シ又ハ著作セシメタルモノナルトキハ其ノ著作權ハ文藝學術ノ著作物ノ著作權ニ屬シ其ノ著作權ト同一ノ期間内繼續ス

第二十五條 他人ノ囑託ニ依リ著作シタル寫眞肖像ノ著作權ハ其ノ囑託者ニ屬ス

第二十六條 寫眞ニ關スル規定ハ寫眞術ト類似ノ方法ニ依リ製作シタル著作物ニ準用ス

第二十七條 著作權者ノ不明ナル著作物ニシテ未タ發行又ハ興行セサルモノハ命令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ發行又ハ興行スルコトヲ得

第二十八條 外國人ノ著作權ニ付テハ條約ニ別段ノ規定アルモノヲ除ク外本法ノ規定ヲ適用ス但シ著作權保護ニ關シ條約ニ規定ナキ場合ニハ帝國ニ於テ始メテ其ノ著作物ヲ發行シタル者ニ限リ本法ノ保護ヲ享有ス

第二章 偽作

第二十九條 著作權ヲ侵害シタル者ハ偽作者トシ本法ニ規定シタルモノノ外民法第三編第五章ノ規定ニ從ヒ之ニ因リテ生シタル損害ヲ賠償スルノ責ニ任ス

第三十條 既ニ發行シタル著作物ヲ左ノ方法ニ依リ複製スルハ偽作ト看做サス

第一 發行スルノ意思ナク且器械的又ハ化學的方法ニ依ラスシテ複製スルコト

第二 自己ノ著作物中ニ正當ノ範圍内ニ於テ節録引用スルコト

第三 普通教育上ノ修身書及讀本ノ目的ニ供スル爲ニ正當ノ範圍内ニ於テ拔萃蒐輯スルコト

第四 文藝學術ノ著作物ノ文句ヲ自己ノ著作シタル脚本ニ挿入シ又ハ樂譜ニ充用スルコト

第五 文藝學術ノ著作物ヲ説明スルノ材料トシテ美術上ノ著作物ヲ挿入シ又ハ美術上ノ著作物ヲ説明スルノ材料トシテ文藝學術ノ著作物ヲ挿入スルコト

第六 圖畫ヲ彫刻物模型ニ作り又ハ彫刻物模型ヲ圖畫ニ作ルコト

本條ノ場合ニ於テハ其ノ出所ヲ明示スルコトヲ要ス

第三十一條 帝國ニ於テ發賣頒布スルノ目的ヲ以テ偽作物ヲ輸入スル者ハ偽作者ト看做ス

第三十二條 練習用ノ爲ニ著作シタル問題ノ解答書ヲ發行スル者ハ偽作者ト看做ス

第三十二條ノ二 活動寫眞術ニ依リ他人ノ著作物ヲ複製シ又ハ興行スル者ハ偽作者ト看做ス(同上法令ヲ以テ新ニ本條ヲ置ク)

第三十三條 善意ニシテ且過失ナク偽作ヲ爲シテ利益ヲ受ケ之カ爲ニ他人ニ損失ヲ及ボシタル者ハ其ノ利益ノ存スル限度ニ於テ之ヲ返還スル義務ヲ負フ

第三十四條 數人ノ合著作ニ係ル著作物ノ著作權者ハ著作ニ對シ他ノ著作權者ノ同意ナクシテ告

訴ヲ爲シ及自己ノ持分ニ對スル損害ノ賠償ヲ請求シ又ハ自己ノ持分ニ應ジテ前條ノ利益ノ返還

ヲ請求スルコトヲ得

第三十五條 偽作ニ對シ民事ノ訴訟ヲ提起スル場合ニ於テ、既ニ發行シタル著作物ニ於テ其ノ著作

者トシテ氏名ヲ掲ケタル者ヲ以テ其ノ著作權者ト推定ス 無名又ハ隱名著作物ニ於テハ其ノ著作權者トシテ氏名ヲ掲ケタル者ヲ以テ其ノ發行權者ト

推定ス

未タ發行セサル脚本及樂譜ノ興行ニ關シテハ其ノ興行ニ著作者トシテ氏名ヲ顯ハシタル者ヲ以テ其ノ著作者ト推定ス

著作者ノ氏名ヲ顯ハササルトキハ其ノ興行者ヲ以テ其ノ著作者ト推定ス

第三十六條 偽作ニ關シ民事ノ出訴又ハ刑事ノ起訴アリタルトキハ裁判所ハ原告又ハ告訴人ノ申請ニ依リ保證ヲ立タシメ又ハ立テシメスシテ假ニ偽作ノ疑アル著作物ノ發賣頒布ヲ差止メ若ハ之ヲ差押ヘ又ハ其ノ興行ヲ差止ムルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ偽作ニ非サル旨ノ判決確定シタルトキハ申請者ハ差止又ハ差押ヨリ生シタル損害ヲ賠償スルノ責ニ作ス

第三章 罰則

第三十七條 偽作ヲ爲シタル者及情ヲ知テ偽作物ヲ發賣シ又ハ頒布シタル者ハ五十圓以上五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十八條 第十八條ノ規定ニ違反シタル者ハ三十圓以上三百圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十九條 第二十條及第三十條第二項ノ規定ニ違反シ出所ヲ明示セスシテ複製シタル者並第十條第四項ノ規定ニ違反シタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス(同上法令ヲ以テ「百圓以下」ノ上ニ存セシ十圓以上ノ四字ヲ削ル)

第四十條 著作者ニ非サル者ノ氏名稱號ヲ附シテ著作物ヲ發行シタル者ハ三十圓以上五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第四十一條 著作権ノ消滅シタル著作物ト雖之ヲ改竄シテ著作者ノ意ヲ害シ又ハ其ノ題號ヲ改メ

著者ノ著作物ノ氏名稱號ヲ隱匿シ又ハ他人ノ著作物ト詐稱シテ發行シタル者ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス(同上法令ヲ以テ「二百圓以下」ノ上ニ存セシ「二十圓以上」ノ五字ヲ削ル)

第四十二條 虛偽ノ登錄ヲ受ケタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス(同上法令ヲ以テ「百圓以下」ノ上ニ存セシ「十圓以上」ノ四字ヲ削ル)

第四十三條 偽作物及専ラ偽作ノ用ニ供シタル器械器具ハ偽作者、印刷者、發賣者及頒布者ノ所有ニ在ル場合ニ限り之ヲ沒收ス

第四十四條 本章ニ規定シタル罪ハ被害者ノ告訴ヲ待テ其ノ罪ヲ論ス但第三十八條ノ場合ニ於テ著作者ノ死亡シタルトキ並第四十條乃至第四十二條ノ場合ハ此ノ限ニ在ラス

第四十五條 本章ノ罪ニ對スル公訴ノ時效ハ二年ヲ經過スルニ因リテ完成ス

第四章 附則

第四十六條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム(本條ノ施行期日ハ明治三十二年六月勅令第三百十三號ヲ以テ明治三十二年七月十五日ト指定シタリ)

明治二十六年法律第十六號版權法明治二十年勅令第七十八號脚本樂譜條例明治二十年勅令第七十九號寫眞版權條例ハ本法施行ノ日ヨリ廢止ス

第四十七條 本法施行前ニ著作権ノ消滅セサル著作物ハ本法施行ノ日ヨリ本法ノ保護ヲ享有ス

第四十八條 本法施行前偽作ト認メラレザリシ複製物ニシテ既ニ複製シタルモノ又ハ複製ニ著手シタルモノハ之ヲ完成シテ發賣頒布スルコトヲ得

前項ノ複製ノ用ニ供シタル器械器具ノ現存スルトキハ本法施行後五年間仍其ノ複製ノ爲之ヲ使用スルコトヲ得

第四十九條 本法施行前翻譯シ又ハ翻譯ニ著手シ其ノ當時ニ於テ偽作ト認メラレサリシモノハ之ヲ完成シテ發賣頒布スルコトヲ得但シ其ノ翻譯物ハ本法施行後七年内ニ發行スルコトヲ要ス

第五十條 本法施行前既ニ興行シ若ハ興行ニ著手シ其ノ當時ニ於テ偽作ト認メラレサリシモノハ本法施行後五年間仍之ヲ興行スルコトヲ得

第五十一條 第四十八條乃至第五十條ノ場合ニ於テハ命令ノ定ムル手續ヲ履行スルニ非サレハ其ノ複製物ヲ發賣頒布シ又ハ興行スルコトヲ得ス

第五十二條 (同上法令ニ依リ本條削除)

著作權法ヲ臺灣ニ施行スルノ件 (明治三十二年七月勅令第三百一號)

朕著作權法ヲ臺灣ニ施行スルノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム
著作權法ハ明治三十二年七月十五日ヨリ臺灣ニ施行ス

著作權者不明ノ著作物ニ關スル件

(明治三十二年六月內務省令第二十七號)

著作權不明ノ著作物ニ關スル件左ノ通之ヲ定ム

著作權法第二十七條ニ依リ著作物ヲ發行又ハ興行セントスル者ハ其ノ事由著作物ノ題號及著作者ノ氏名稱號等ヲ官報及東京ノ四社以上ノ重ナル紙聞紙並ニ著作者ノ氏名住所明ナル場合ハ其ノ居住地ノ新聞紙ニ七日以上廣告スヘシ

前項期日ノ最終日ヨリ六箇月以内ニ著作權者ノ出テサルトキハ之ヲ發行又ハ興行スルコトヲ得

著作權ニ關スル登録手續 (明治四十三年六月內務省令第二十三號)

著作權ニ關スル登録手續左ノ通之ヲ定ム

第一條 著作權ニ關スル登録ヲ受ケムトスル者ハ本手續ニ依リ內務大臣ニ願出ヘシ

第二條 登録願書ニハ左ノ區別ニ從ヒ各列記事項ヲ記載スルヲ要ス

一 相續登録ノ場合

著作物ノ題號及冊(箇)數

著作權者ノ氏名

相續人ノ氏名、住所(外國人ハ國籍及住所)

二 讓渡又ハ質入登録ノ場合

著作物ノ題號及冊(箇)數

讓渡人又ハ質入人ノ氏名、住所(外國人ハ國籍及住所)

讓受人又ハ質取人ノ氏名、住所(外國人ハ國籍及住所)

三 實名登録ノ場合

著作物ノ題號及冊(箇)數

著作者ノ稱號若無名著作物ナルトキハ其ノ旨

著作者ノ氏名、住所(外國人ハ國籍及住所)

發行者ノ氏名、住所(外國人ハ國籍及住所)

四 質權相續登錄ノ場合

著作物ノ題號及冊(箇)數
質入登錄ノ年月日及番號
質取人ノ氏名

相續人ノ氏名、住所(外國人ハ國籍及住所)

五 質權讓渡登錄ノ場合

著作物ノ題號及冊(箇)數
質入登錄ノ年月日及番號

質權讓渡人ノ氏名、住所(外國人ハ國籍及住所)

質權讓受人ノ氏名、住所(外國人ハ國籍及住所)

六 登錄ノ更正、變更、抹消ノ場合

著作物ノ題號及冊(箇)數

登錄ノ年月日及番號

更正、變更、抹消ノ事項及其ノ理由

願人ノ氏名住所

前項第一號乃至第三號ノ場合ニ於テハ願書ニ著作物ノ明細書ヲ添付スルノ外尙第一號及第四號ノ場合ニ於テハ戶籍謄本ヲ添付スヘシ

第三條 著作物ノ明細書ニハ左ノ事項ヲ記載スルヲ要ス

一 著作物ノ題號

二 著作者ノ氏名稱號

三 著作ノ年月日

四 發行又ハ興行ノ年月日若發行又ハ興行ヲ爲サ、ルトキハ其ノ旨

五 著作物ノ内容又ハ體樣若著作物ノ體樣ヲ明瞭ナラシムル爲メ必要ナルトキハ其ノ圖面

六 著作物ニ付登錄ヲ受ケタルコトアル場合ハ前登錄ノ年月日

第四條 內務大臣ハ第一條ノ願出アリタルトキハ之ヲ登錄簿ニ登錄シ官報ニ公告ス

第五條 登錄簿ノ閱覽又ハ其ノ謄本若クハ抄本ノ下付ハ何人モ之ヲ請求スルコトヲ得

前項ノ請求ハ書面ヲ以テシ且ツ登錄ノ年月日若クハ登錄番號ヲ記入スヘシ

第六條 前條ノ請求ヲ爲サムトスル者ハ左ノ區別ニ從ヒ手数料ヲ納ムヘシ

一 登錄簿ノ閱覽

金參拾錢

二 登錄簿謄本ノ下付

原簿一枚毎ニ

金參拾錢

三 登錄簿抄本ノ下付

金貳拾錢

前項ノ手数料ハ收入印紙ヲ用ユルモノトス

第七條 登錄簿ノ閱覽ニ關スル日時ハ別ニ之ヲ定ム

附則

本令ハ明治四十三年法律第六十三號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

明治三十二年內務省令第二十八號ハ之ヲ廢止ス

〔參照〕 明治三十二年內務省令第二十八號ハ本令ト同伴ナリ

著作權登錄簿閱覽日指定

(明治三十二年內務省告示第七十三號)

著作權ニ關スル登錄簿ハ左ノ日時ニ於テ閱覽セシムルモノトス

一 毎水曜日 午前十時ヨリ午後三時迄

關東州及帝國カ治外法權ヲ行使スルコトヲ得ル外國ニ於ケル特許權乃至著作權ノ保護ニ關スル件

(明治四十一年八月勅令第二百一號)

朕關東州及帝國カ治外法權ヲ行使スルコトヲ得ル外國ニ於ケル特許權、意匠權、商標權及著作權保護ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

第一條 帝國臣民又ハ韓國臣民カ帝國ニ於テ享有スル特許權、意匠權、商標權及著作權ノ効力ハ關東州及帝國カ治外法權ヲ行使スルコトヲ得ル外國ニ在ル帝國臣民及韓國臣民ニ及フモノトス

第二條 特許法、意匠法、商標法及著作權法中ノ罪ニ關スル規定ハ關東州及帝國カ治外法權ヲ行使スルコトヲ得ル外國ニ在ル帝國臣民及韓國臣民ニ對シ之ヲ適用ス

第三條 日韓兩國以外ノ國ノ臣民又ハ人民カ帝國ニ於テ享有スル工業所有權及著作權ニ付テハ其所屬國カ治外法權ヲ有スル外國ニ於テ日韓兩國ノ臣民ニ對シ工業所有權及著作權ノ保護ヲ與ヘ且韓國ニ於テ工業所有權及著作權ノ保護ニ關シ治外法權ヲ行使セサル場合ニ限り前二條ノ規定ヲ適用ス

附則

第四條 本令ハ明治四十一年八月十六日ヨリ之ヲ施行ス

第五條 本令施行ノ際本令ノ保護スル他人ノ商標又ハ之ニ類似スル商標ヲ不正ニ附シタル商品ヲ販賣ノ爲所藏スル者ハ本令施行後六月内ニ其ノ商標ヲ除去若ハ抹消スルカ又ハ該商品ヲ清國市場ヨリ撤去スルコトヲ要ス

第六條 日本國臣民、韓國臣民及米國人民カ帝國又ハ米國內ニ於テ著作權ヲ享有セル著作物ヲ本令施行前清國ニ於テ著作權者ノ承諾ナクシテ複製シタル者、翻譯シタル者若ハ興行シタル者又ハ複製翻譯興行ニ著手シタル者ハ本令施行後一年間ハ之ヲ完成シテ發賣頒布シ又ハ興行スルヲ不得

第二節 韓國ニ於ケル特則

韓國著作權令

(明治四十一年八月勅令第二百號)

朕韓國著作權令ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

韓國著作權令

第一條 韓國ニ於ケル著作權ニ關シテハ著作權法ニ依ル但シ同法中帝國トアルハ韓國ニ、裁判所トアルハ理事廳及統監府法務院ニ該當ス

第二條 本令ハ日韓兩國ノ臣民ニ對シ著作權ニ付同種ノ保護ヲ與ヘ且韓國ニ於テ著作權ノ保護ニ關シ治外法權ヲ行使セサル國ノ臣民及人民ニモ之ヲ適用ス

附則

第三條 本令ハ明治四十一年八月十六日ヨリ之ヲ施行ス

第四條 本令施行前日本國臣民、韓國臣民又ハ米國人民ノ日本國ニ於テ享有スル著作權ハ本令ニ依リ保護セラル、モノトス

第五條 本令施行前米國ニ於テ著作權ノ登錄ヲ受ケタル日本國臣民、韓國臣民又ハ米國人民ハ本令施行ノ日ヨリ一年ヲ限リ統監府特許局ニ其ノ著作權ノ無料登錄ヲ出願スルコトヲ得

第六條 日本國又ハ米國ニ於テ保護セラルル日本國臣民、韓國臣民又ハ米國人民ノ著作物ヲ本令施行前韓國ニ於テ著作權者ノ承諾ナクシテ複製シタル者、翻譯シタル者若ハ興行シタル者又ハ複製翻譯興行ニ著手シタル者ハ本令施行後一年間ハ之ヲ完成シテ發賣頒布シ又ハ興行スルコトヲ得

第七條 前條ノ場合ニ於テハ統監府令ノ定ムル手續ヲ履行スルニ非サレハ其ノ複製物ヲ發賣頒布シ又ハ興行スルコトヲ得ス

韓國著作權令施行規則

(明治四十一年八月統監府令第二十八號)

韓國著作權令施行規則左ノ通定ム

韓國著作權令施行規則

第一條 韓國ニ於ケル著作權登錄ニ關シテハ明治四十三年內務省令第二十三號ニ依ル但シ同令中內務大臣トアルハ統監府特許局長ニ、外國人トアルハ日本國及韓國以外ノ國ノ臣民又ハ人民ニ、

官報トアルハ統監府公報ニ該當ス(明治四十三年七月統監府令第三十三號ヲ以テ全條改正)

第二條 韓國ニ於ケル著作權ノ登錄稅ニ付テハ登錄稅法ノ規定ニ依ル
第三條 著作權者不明ノ著作物ノ發行又ハ興行ニ付テハ明治三十二年內務省令第二十八號ノ規定

ニ依ル但シ同令中官報トアルハ統監府公報ニ、東京トアルハ京城ニ該當ス(同上)

第四條 韓國著作權令第五條ニ依ル出願ニハ其ノ著作物カ米國ニ於テ登錄ヲ受ケタルモノナルコト及出願人カ其ノ著作權ヲ有スルコトヲ證明スヘキ書面ヲ添附スヘシ

第五條 韓國著作權令第六條ニ依リ複製物ヲ發賣頒布シ又ハ興行セムトスル者ハ左ノ手續ヲ履行スヘシ

一 既ニ複製シタルモノニ付テハ明治四十一年十一月二十日迄ニ第一書式(甲)ニ依リ檢印ヲ申請スヘシ

二 複製ニ著手シタルモノニ付テハ著手ノ事實ヲ前號期間内ニ第一書式(乙)ニ依リ届出テ複製物發行前其ノ複製ニ付第一書式(甲)ニ依リ檢印ヲ申請スヘシ

三 既ニ翻譯シタルモノ又ハ翻譯ニ著手シタルモノニ付テハ其ノ事實ヲ本條第一號ノ期間内ニ第二書式(乙)ニ依リ届出テ複製物發行以前其ノ複製物ニ付第二書式(甲)ニ依リ檢印ヲ申請スヘシ

四 既ニ興行シ又ハ興行ニ著手シタルモノニ付テハ其ノ事實ヲ本條第一號ノ期間内ニ第三書式ニ依リ届出ヘシ

第六條 檢印ノ申請及届出ハ管轄理事廳ニ之ヲ爲スヘシ

第七條 理事廳ハ檢印ヲ爲シ又ハ届出ヲ受ケタルトキハ其ノ目錄簿ヲ備置クヘシ

目錄簿ハ第一雜形ニ、檢印ハ第二雜形ニ依ルヘシ

第八條 理事廳ニ於テ前條ノ手續ヲ爲シタルトキハ其ノ旨ヲ統監府特許局ニ報告スヘシ

第九條 何人ト雖手續料金三十錢ヲ納メ目錄簿ノ閱覽ヲ請求スルコトヲ得

第十條 虚偽ノ届出ヲ爲シ又ハ虚偽ニ因リ檢印ヲ受ケタル者ハ十圓以下ノ罰金ニ處ス
 虚偽ノ届出又ハ虚偽ニ因リテ受ケタル檢印ハ無効トス
 第十一條 理事廳ハ届出ヲ受ケ若ハ檢印ヲ爲シタルトキ又ハ届出若ハ檢印ノ無効ト爲リタルトキ
 ハ京城日報ヲ以テ告示スヘシ

附則

本令ハ韓國著作權令施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス
 第一書式(甲)

檢印願

部(箇)數

- 一 複製物ノ題號
- 一 著作物發行ノ土地並其ノ年月日
- 一 著作者ノ氏名稱號
- 一 複製物發行者ノ氏名住所
- 一 同發行ノ年月日(發行シタルモノハ)
- 右ハ 年 月 日複製シ(複製著手届出)タルモノニ付明治四十一年統監府令第二十八號第五條
 第一號(第二號)ニ依リ檢印相受度此段申請候也

年 月 日

理事官宛

住所

發賣願布者 氏

名印

第一書式(乙)

複製著手届

- 一 複製物ノ題號
- 一 著作物發行ノ土地並其ノ年月日
- 一 著作者ノ氏名稱號
- 右ハ 年 月 日複製ニ著手シタルモノニ付明治四十一年統監府令第二十八號第五條第二號ニ
 依リ此段御届申上候也

年 月 日

理事官宛

住所

發行者 氏

名印

第二書式(甲)

翻譯物檢印願

部數

- 一 翻譯物ノ題號
- 一 原著作者ノ氏名稱號
- 一 原書ノ題號
- 一 原書發行ノ年月日
- 一 原書發行ノ土地
- 一 翻譯發行ノ年月日
- 右ハ 年 月 日翻譯(翻譯著手)届出タルモノニ付明治四十一年統監府令第二十八號第五條第
 三號ニ依リ檢印相受度此段申請候也

第二雜形

脚本文ハ樂譜ノ名稱	著作者ノ氏名稱號	興行者ノ住所氏名	届出年月日

(乙)興行届出目録簿

(甲)檢印申請及届出目録簿(複製物ノ部)翻譯物ノ部之ニ準ス

檢印番號	檢印日	複製物ノ題號	部	數	著作者ノ氏名稱號	發行者ノ住所氏名	申請者ノ住所氏名	届出年月日	申請年月日

第二雜形

年月日

理事官宛

興行者 住所 氏 名 印

一興行(興行ニ著手)シタル場所
 右ノ年月日興行(興行ニ著手)シタルモノニ付明治四十一年統監府令第二十八號第五條第三
 四號ニ依リ此段御届申上候也

年月日

理事官宛

翻譯(發行頒布)者 住所 氏 名 印

第二書式(乙)

翻譯届

- 一翻譯物ノ題號
 - 一原著作者ノ氏名稱號
 - 一原書ノ題號
 - 一原書發行ノ年月日
 - 一原書發行ノ土地
- 右ハ年月日翻譯(翻譯著手)シタルモノニ付明治四十一年統監府令第二十八號第五條第三
 號ニ依リ此段御届申上候也

年月日

理事官宛

翻譯者 住所 氏 名 印

第三書式

興行届

一著作者ノ氏名稱號

一脚本又ハ樂譜ノ名稱及其ノ發行ノ土地並其ノ年月日

一興行(興行ニ著手)シタル場所

名	廳	事	理
之		檢	
證		印	

第三節 遺失物及埋藏物

第一節 通則

遺失物法

(明治三十二年三月法律第八十七號)

朕帝國議會ノ協賛ヲ經タル遺失物法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

遺失物法

第二條 他人ノ遺失シタル物件ヲ拾得シタル者ハ速ニ遺失者又ハ所有者共ノ他物件回復ノ請求權ヲ有スル者ニ其ノ物件ヲ返還シ又ハ警察官署ニ之ヲ差出スヘシ但シ法令ノ規定ニ依リ私ニ所有所持スルコトヲ禁シタル物件ハ返還スルノ限ニアラス

物件ヲ警察官署ニ差出シタルトキハ警察官署ハ物件ノ返還ヲ受クヘキ者ニ之ヲ返還スヘシ若シ返還ヲ受クヘキ者ノ氏名又ハ居所ヲ知ルコト能ハサルトキハ命令ノ定ムル所ニ從ヒ公告ヲ爲ス

第二條 警察官署ハ其ノ保管ノ物件滅失又ハ毀損ノ虞アルトキ又ハ其ノ保管ニ不相當ノ費用若ハ

手数料要スルトキハ命令ノ定ムル辦法ニ從ヒ之ヲ取却スルコトヲ得

賣却ノ費用ハ賣却代金ヨリ支辨スルニ依リ其ノ賣却代金ノ殘額ハ拾得物並看做シテ之ヲ保管ス賣却處分ニ對シテハ出訴スルコトヲ得ス

第三條 拾得物ノ保管費公告費其ノ他必要ナル費用ハ物件ノ返還ヲ受クル者又ハ物件ノ所有權ヲ取得シ之ヲ引取ル者ノ負擔トシ民法第二百九十五條乃至第三百二條ノ規定ヲ適用ス

第四條 物件ノ返還ヲ受クル者ハ物件ノ價格百分ノ五ヨリ少カラズ二十ヨリ多カラサル報勞金ヲ拾得者ニ給スヘシ但シ國庫其ノ他公ノ法人ハ報勞金ヲ請求スルコトヲ得ス

第五條 第二條ニ依リ賣却シタル物件ニ付テハ賣却代金ノ額ヲ以テ物件ノ價格トス

第六條 第三條ノ費用及第四條ノ報勞金ハ物件ヲ返還シタル後一箇年ヲ過クルトキハ之ヲ請求スルコトヲ得ス

第七條 拾得者ハ豫メ申告シテ拾得物ニ關スル一切ノ權利ヲ拋棄シタルトキハ拾得者其ノ物件ノ所有權ヲ取得ス

第八條 物件ノ返還ヲ受クヘキ者ハ其ノ權利ヲ拋棄シテ第三條ノ費用及第四條ノ報勞金辨償ノ義務ヲ免ルルコトヲ得

物件ノ返還ヲ受クヘキ各權利者其ノ權利ヲ拋棄シタルトキハ拾得者其ノ物件ノ所有權ヲ取得ス但シ拾得者其ノ取得權ヲ拋棄シ第一項ノ例ニ依ルコトヲ得

法令ノ規定ニ依リ私ニ所有所持スルコトヲ禁シタル物件ヲ拾得シタル者ハ所有權ヲ取得スルノ限ニアラス

第九條 第十六條ニ依リ處罰セラレタル者及拾得ノ日ヨリ七日內ニ第二條第一項又ハ第十一條ノ

手續ヲ爲ササル者ハ第三條ノ費用及第四條ノ報勞金ヲ受クルノ權利並ニ拾得物ノ所有權ヲ取得スルノ權利ヲ失フ

第十條 管守者アル船車建築物其ノ他公衆ノ通行ヲ禁シタル構内ニ於テ他人ノ物件ヲ拾得シタル者ハ其ノ物件ヲ管守者ニ交付スヘシ

前項ノ場合ニ於テハ船車建築物等ノ占有者ヲ以テ拾得者トス自己管守スル場所ニ於テ他人ノ物件ヲ拾得シタル者亦同シ

本條ノ場合ニ於テ報勞金ハ前項ノ占有者ト現ニ物件ヲ拾得シタル者ト折半スヘシ

第十一條 犯罪者ノ置去リタルモノト認ムル物件ヲ拾得シタル者ハ速ニ其ノ物件ヲ警察官署ニ差出スヘシ

前項ノ物件ニ關シテハ法律ノ規定ニ依リ沒收スルモノヲ除ク外本法及民法第二百四十條ノ規定ヲ準用ス但シ公訴權消滅ノ日ヨリ一箇年間還付ヲ受クル者ナキトキニ限り拾得者ニ於テ所有權ヲ取得ス

犯罪捜査ノ爲必要ナルトキハ警察官ニ於テ公訴權消滅ノ日マテ公告ヲ爲ササルコトヲ得

第十二條 誤テ占有シタル物件他人ノ置去リタル物件又ハ逸走ノ家畜ニ關シテハ本法及民法第二百四十條ノ規定ヲ準用ス但シ誤テ占有シタル物件ニ關シテハ第二條ノ費用及第四條ノ報勞金ヲ請求スルコトヲ得ス

第十三條 埋藏物ニ關シテハ第十條ヲ除ク外本法ノ規定ヲ準用ス

學術技藝若ハ考古ノ資料ニ供スヘキ埋藏物ニシテ其ノ所有者知レサルトキハ其ノ所有權ハ國庫ニ歸屬ス此ノ場合ニ於テハ國庫ハ埋藏物ノ發見者及埋藏物ヲ發見シタル土地ノ所有者ニ通知シ

其ノ價格ニ相當スル金額ヲ給スヘシ

埋藏物ノ發見ト埋藏物ヲ發見シタル土地ノ所有者ト異ルトキハ前項ノ金額ハ折半シテ之ヲ給スヘシ

本條ノ金額ニ不服アル者ハ第二項ノ通知ノ日ヨリ六箇月内ニ民事訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第十四條 本法及民法第二百四十條第二百四十一條ノ規定ニ依リ物件ノ所有權ヲ取得シタル者取得ノ日ヨリ一箇年内ニ物件ヲ警察官署ヨリ引取ラサルトキハ所有權ヲ喪失ス

第十五條 本法ノ規定ニ依リ警察官署ニ保管スル物件ニシテ交付ヲ受クル者ナキトキハ其ノ所有權國庫ニ歸屬ス

第十六條 拾得物其ノ他本法ノ規定ヲ準用スル物件ヲ隱匿シ若ハ不正ニ處分シタル者ハ三月以下ノ重禁錮又ハ二十圓以下ノ罰金ニ處ス

前項ノ罪ハ刑法第三百七十七條ニ掲ケタル親屬ニ係ルトキハ之ヲ論セス

附 則

第十七條 明治九年第五十六號布告遺失物取扱規則ハ本法施行ノ日ヨリ廢止ス

遺失物法施行細則

(明治三十二年四月内務省令第四號)

遺失物法施行細則左ノ通之ヲ定ム

遺失物法施行細則

第一條 遺失物法第一條ニ定メタル公告ハ物件ノ名稱、種類、數量、形狀、模様及拾得ノ場所日時等成ルヘク其ノ物件ヲ知得スルニ足ルヘシト思料スル事項ヲ詳記シ十四日間最寄揭示場ニ揭示シ

仍貴重ノ物件ヲ認ムルトキハ官報又ハ新聞紙ニ掲載スルモノトス
 第二條 遺失物法第十條ニ依リ管守者物件ノ交付ヲ受ケタルトキハ之ヲ警察官署ニ送付スルト同時ニ便宜最寄ノ場所ニ於テ物件ノ名稱、種類、數量、形狀、模様及拾得ノ場所日時ヲ揭示スヘシ但シ揭示ノ場所ヲ有セサルトキハ此ノ限ニ在ラス

第三條 遺失物法第二條ニ依リ賣却ヲ要スル物件ニシテ高價ナリト認ムルモノハ公告シテ競賣ニ付スヘシ但シ即時ニ賣却セサルハ減失又ハ毀損ノ虞アル物件又ハ公告ノ後競賣人ナキ物件ハ此ノ限ニアラス

公告ハ其ノ地方慣行ノ方式ニ從ヒ之ヲ爲シ且公告ニハ競賣ニ付スル物件ノ名稱、種類、數量、擔任官吏ノ氏名、執行ノ場所日時ヲ記載スルヲ要ス

第四條 賣却物件ノ引渡ハ代金ヲ引換ヘニ之ヲ爲ス競賣ノ場合ニ於テ最高價競買人競賣當日ニ代金ノ支拂ヲ爲シテ物件ノ引渡ヲ求メサルトキハ更ニ其ノ物件ヲ競賣スヘシ此ノ場合ニ於テ以前ノ最高價競買人ハ競賣ニ加ハルコトヲ得ス

第五條 拾得ノ物件國庫ニ所有ニ歸シタルトキハ遺失物法第三條ニ依リ警察署ヨリ支辨シタテ保管公告費其ノ他必要ナル費用ハ國庫ヨリ之ヲ支辨ス

第二節 臺灣ニ於ケル特則

遺失物法ヲ臺灣ニ施行スルノ件

(明治三十二年七月勅令第三百二號)

朕遺失物法ヲ臺灣ニ施行スルノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム
 明治三十二年法律第八十七號遺失物法ヲ臺灣ニ施行ス

遺失物法施行細則

(明治三十三年八月臺灣總督府令第九十號)

遺失物法施行細則左ノ通定ム
 遺失物法施行細則

第一條 遺失物法第一條ニ定メタル公告ハ物件ノ名稱種類數量形狀模様及拾得ノ場所日時等成ルヘク其物件ヲ知得スルニ足ルヘシト思料スル事項ヲ詳記シ二十日間最寄揭示場ニ揭示シ仍貴重ノ物件ト認ムルトキハ官報又ハ新聞紙ニ揭示スルモノトス

第二條 遺失物法第十條ニ依リ管守者物件ノ交付ヲ受ケタルトキハ之ヲ警察官署ニ送付スルト同時ニ便宜最寄ノ場所ニ於テ物件ノ名稱種類數量形狀模様及拾得ノ場所日時ヲ揭示スヘシ但揭示ノ場所ヲ有セサルトキハ此限ニアラス

第三條 遺失物法第二條ニ依リ賣却ヲ要スル物件ニシテ高價ナリト認ムルモノハ公告シテ競賣ニ付スヘシ但即時ニ賣却セサルハ減失又ハ毀損ノ虞アル物件又ハ公告ノ後競買人ナキ物件ハ此限ニアラス

公告ハ其地方ノ慣行方式ニ從ヒ之ヲ爲シ且公告ニハ競賣ニ付スル物件ノ名稱種類數量擔任官吏ノ氏名執行ノ場所日時ヲ記載スルヲ要ス
 第四條 賣却物件ノ引渡ハ代金ト引換ヘニ之ヲ爲ス競賣ノ場合ニ於テ最高價競買人競賣當日ニ代金ノ支拂ヲ爲シテ物件ノ引渡ヲ求メサルトキハ更ニ其物件ヲ競賣スヘシ此場合ニ於テ以前ノ最

高價競買人ハ競買ニ加ハルコトヲ得ス
第五條 拾得ノ物件國庫ノ所有ニ歸シタルトキハ遺失物法第三條ノ費用ハ警察費ヨリ之ヲ支辨ス
ヘシ

第四章 立木

立木ニ關スル件

(明治四十二年四月法律第二十二號)

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル立木ニ關スル法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

第一條 本法ニ於テ立木ト稱スルハ一筆ノ土地又ハ一筆ノ土地ノ一部分ニ植栽ニ依リ生立セシメタル樹木ノ集團ニシテ其ノ所有者カ本法ニ依リ所有權保存ノ登記ヲ受ケタルモノヲ謂フ

第二條 立木ハ之ヲ不動産ト看做ス
立木ノ所有者ハ土地ト分離シテ立木ヲ讓渡シ又ハ之ヲ以テ抵當權ノ目的ト爲スコトヲ得

土地所有權又ハ地上權ノ處分ノ効力ハ立木ニ及ハス

第三條 立木ノ所有者ハ立木カ抵當權ノ目的タル場合ニ於テモ當事者ノ協定シタル施業方法ニ依リ其ノ樹木ヲ採取スルコトヲ妨ケス

第四條 立木ヲ採取スル目的タル場合ニ於テモ當事者ノ協定シタル施業方法ニ依リ其ノ樹木ヲ採取スルコトヲ妨ケス

第五條 立木カ土地ノ所有者ニ屬スル場合ニ於テ其ノ土地又ハ立木ノミカ抵當權ノ目的タルトキハ抵當權設定者ハ競買ノ場合ニ付テハ前條但書ノ規定ヲ準用ス

第六條 立木カ地上權者ニ屬スル場合ニ於テ其ノ地上權又ハ立木ノミカ抵當權ノ目的タルトキハ抵當權設定者ハ競買ノ場合ニ付テハ前條但書ノ規定ヲ準用ス

第七條 前條ノ規定ハ轉貸ヲ爲スコトヲ得ル土地ノ賃借人ニ屬スル立木カ抵當權ノ目的タル場合ニ之ヲ準用ス

第八條 地上權者又ハ土地ノ賃借人ニ屬スル立木カ抵當權ノ目的タル場合ニ於テハ地上權者又ハ賃借人ハ抵當權者ノ承諾アルニ非サレハ其ノ權利ヲ拋棄シ又ハ契約ヲ解除スルコトヲ得ス

第九條 立木カ抵當權ノ目的タル場合ニ於テ其ノ所有者カ樹木ノ運搬ノ爲土地ヲ使用スル權利ヲ有

樹木ノ所有者ハ競買ヲ爲スヘキ地ノ區裁判所ニ相當ノ擔保ヲ供託シテ競買ノ免除ヲ申立ツルコトヲ得

樹木ハ所有者ノ抵當權者ニ對シテ一箇月以上ノ期間ヲ定メ競買ヲ爲スヘキ旨ヲ催告スルコトヲ得

得若抵當權者カ其ノ期間内ニ競買ヲ爲サザルトキハ其ノ樹木ニ付抵當權ヲ行フコトヲ得ス

第一項ノ規定ハ民法第九十二條乃至第九十四條ノ規定ノ適用ヲ妨ケス

第五條 立木カ土地ノ所有者ニ屬スル場合ニ於テ其ノ土地又ハ立木ノミカ抵當權ノ目的タルトキハ抵當權設定者ハ競買ノ場合ニ付テハ前條但書ノ規定ヲ準用ス

第六條 立木カ地上權者ニ屬スル場合ニ於テ其ノ地上權又ハ立木ノミカ抵當權ノ目的タルトキハ抵當權設定者ハ競買ノ場合ニ付テハ前條但書ノ規定ヲ準用ス

第七條 前條ノ規定ハ轉貸ヲ爲スコトヲ得ル土地ノ賃借人ニ屬スル立木カ抵當權ノ目的タル場合ニ之ヲ準用ス

第八條 地上權者又ハ土地ノ賃借人ニ屬スル立木カ抵當權ノ目的タル場合ニ於テハ地上權者又ハ賃借人ハ抵當權者ノ承諾アルニ非サレハ其ノ權利ヲ拋棄シ又ハ契約ヲ解除スルコトヲ得ス

第九條 立木カ抵當權ノ目的タル場合ニ於テ其ノ所有者カ樹木ノ運搬ノ爲土地ヲ使用スル權利ヲ有

スルトキハ立木ノ競落人ハ其ノ權利ヲ行使スル事ヲ得此場合ニ於テハ相當ノ對價ヲ支拂フヘシ
 前項ノ規定ハ水ノ使用ニ關スル權利ニ之ヲ準用ス
 第十條 第二條第三項及第三條乃至第九條ノ規定ハ先取特權ニ之ヲ準用ス
 第十一條 土地又ハ地上權カ質權ノ目的タル場合ニ於テハ其ノ土地ニ生立スル樹木ニ付所有權保
 存ノ登記ヲ爲スコトヲ得

第十二條 各登記所ニ立木登記簿ヲ備フ

不動產登記法第十四條第二項及第十九條ノ規定ハ前項ノ登記簿ニ之ヲ準用ス

第十三條 立木登記簿ハ一箇ノ立木ニ付一用紙ヲ備フ

第十四條 立木登記簿ハ其ノ一用紙ヲ登記番號欄表題部及甲乙ノ二區ニ分テ表題部ニ表示欄、表
 示番號欄ヲ設ケ各區ニ事項欄順位番號欄ヲ設ケ

登記番號欄ニハ各立木ニ付登記ヲ爲シタル順序ヲ記載ス

表示欄ニハ立木ノ表示ヲ爲シ及其ノ變更ニ關スル事項ヲ記載シ表示番號欄ニハ表示欄ニ登記事
 項ヲ記載シタル順序ヲ記載ス

甲區事項欄ニハ所有權ニ關スル事項ヲ記載ス

乙區事項欄ニハ先取特權及抵當權ニ關スル事項ヲ記載ス

順位番號欄ニハ事項欄ニ登記事項ヲ記載シタル順序ヲ記載ス

第十五條 登記ノ申請書ニハ不動產登記法第三十六條ニ掲ケタル事項ノ外左ノ事項ヲ記載スヘシ

一 樹木カ一筆ノ土地ノ一部分ニ生立スル場合ニ於テハ其ノ部分ノ位置及段別其ノ部分ヲ表示
 スヘキ名稱又ハ番號アルトキハ其ノ名稱又ハ番號

二 樹種、數量及樹齡

第十六條 不動產登記法第六條及第七條ノ規定ハ所有權保存ノ登記ニ之ヲ準用ス

第十七條 所有權保存ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テ其ノ保存登記ニ付土地ノ登記簿上利害ノ關係
 有ル者第三條アルトキハ申請書ニ其ノ承諾書又ハ之ニ代ルヘキ裁判ノ謄本ヲ添附スヘシ

第十八條 既登記ノ土地ニ生立スル樹木ニ付所有權保存ノ登記ノ申請アリタル場合ニ於テ土地ノ
 登記用紙中土地又ハ地上權カ目的トスル先取特權又ハ抵當權ノ登記アルトキハ立木登記簿ニ其
 中登記ヲ轉寫スヘシ但シ其ノ登記ニ抵當權カ樹木ニ及ハル旨ヲ記載アル時ハ此ノ限ニ在ラス

不動產登記法第八十三條第一項及第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第十九條 既登記ノ土地ニ生立スル樹木ニ付所有權保存ノ登記ヲ爲シタル土地ノ登記用紙
 中表示欄ニ立木ノ登記番號ヲ記載シ登記官吏捺印スヘシ立木ノ區分ノ登記ヲ爲シタルトキ又ハ
 立木ノ存スル土地ニ付所有權保存ノ登記ヲ爲シタルトキ亦同シ

立木ノ登記用紙ヲ閉鎖シタルトキハ前項ノ規定ニ依リテ記載シタル登記番號ヲ朱抹シ登記官吏
 捺印スヘシ

第二十條 立木ノ分合若ハ滅失アリタルトキ又ハ第十五條第一號及第二號ニ掲ケタル事項ニ變更
 アリタルトキハ所有權ノ登記名義人ハ遲滞ナク其ノ登記ヲ申請スヘシ但シ樹木ノ發生若ハ成長
 又ハ第三條ノ施業方法ニ依ル變更ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

立木ノ存スル土地ノ地目、字、番號又ハ段別ヲ變更スル時ハ前項ニ同シ

不動產登記法中建物ノ滅失及其ノ表示ノ變更ノ登記ニ關スル規定ハ前二項ノ登記ニ之ヲ準用ス

第二十一條 立木カ目的ノ中ニ於テ抵當權設定ヲ登記スル場合ニ於テハ申請書ニ不動產登記法

第一百十七條ニ掲ケル事項ノ外施業方法ヲ記載スルシテ
 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（此期日ハ明治四十三年五月勅令第二百二十一號ヲ以テ同
 四十二年五月三十日ノ指定シタリ）

第五章 建物保護

建物保護ニ關スル件

（明治四十二年四月法律第四十號）

朕帝國議會ノ協賛ヲ經タル建物保護ニ關スル法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

第一條 建物ノ所有ヲ目的トスル地上權又ハ土地ノ賃借權ニ因リ地上權者又ハ土地ノ賃借人カ其
 ノ土地ノ上ニ登記シタル建物ヲ有スル下キハ地上權又ハ土地ノ賃借人カ其ノ登記ナキモ之ヲ以
 テ第三者ニ對抗スルコトヲ得

建物カ地上權又ハ土地ノ賃借ノ期間満了前ニ滅失又ハ朽廢シタルトキハ地上權者又ハ土地ノ
 賃借人カ其ノ後ノ期間ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

第二條 民法第五百六十六條第一項第三項及第五百七十一條ノ規定ハ前條第一項ノ場合ニ之ヲ準
 用ス買主カ契約ノ當時知ラザリシ地上權又ハ賃借權ノ效力ノ存スル場合亦同シ

第六章 土地

第一節 所有權

第一款 通規

外國人ノ土地所有權ニ關スル件

（明治四十三年四月法律第五十一號）

朕帝國議會ノ協賛ヲ經タル外國人ノ土地所有權ニ關スル法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

第一條 日本ニ住所若ハ居所ヲ有スル外國人又ハ日本ニ於テ登記ヲ受ケタル外國法人ハ其ノ本國
 ニ於テ帝國ノ臣民又ハ法人カ土地ノ所有權ヲ享有スル場合ニ限り土地ノ所有權ヲ享有ス但シ外
 國法人カ土地ノ所有權ヲ取得セムトスルトキハ內務大臣ノ許可ヲ受ケルコトヲ要ス

前項ノ規定ハ勅令ヲ以テ指定シタル國ニ屬スル外國人及外國法人ニノミ之ヲ適用ス

第二條 外國人又ハ外國法人ハ左ノ地域ニ於テ土地ノ所有權ヲ享有スルコトヲ得ス

- 一 北海道
 - 二 臺灣
 - 三 樺太
 - 四 國防上必要ナル地域
- 前項第四號ノ地域ハ勅令ヲ以テ之ヲ指定ス

第三條 土地ヲ所有スル外國人又ハ外國法人カ土地ノ所有權ヲ享有スルコトヲ得サルニ至リタル
 場合ニ於テ一年內ニ之ヲ讓渡ササルトキハ其ノ所有權ハ國庫ニ歸屬ス

外國人カ日本ニ住所若ハ居所ヲ有セス又ハ外國法人カ日本ニ營業所若ハ事務所ヲ有セサル爲土
 地ノ所有權ヲ享有スルコトヲ得サルニ至リタル場合ニ於テハ前項ノ期間ハ之ヲ五年トス

外國人又ハ外國法人ノ所有スル土地ハ前條第二項ノ規定ニ依リ國防上必要ナル地域ニ指定セラ
 ズルニ限リ所有權庫ニ歸屬スル場合ニ於テハ其ノ損失ヲ補償ス
 前項ノ補償金額ニ付協議調停サルトキハ通常裁判所ニ出訴スルコトヲ得
 附則

第四條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第五條 明治六年第十八號布告ハ之ヲ廢止ス

第六條 本法施行ノ際臺灣ニ於テ外國人又ハ外國法人カ現ニ所有スル土地ニ付テハ本法ヲ適用セ
 ス但シ其ノ土地ノ所有權カ帝國ノ臣民又ハ法人ニ歸屬シタル後ハ此ノ限ニ在ラス

第七條 明治三十二年法律第六十七號中「土地ノ抵當權者ナル外國人カ」ノ下ニ「土地ノ所有權ヲ
 享有スルコトヲ得サル場合ニ於テ該外國人カ」ヲ加フ

第八條 民法第九百九十九條及明治三十二年法律第九十四號中「日本人ニ非サレハ享有スルコトヲ得
 サル權利ヲ有スル場合」ヲ「國籍ノ喪失ニ因リテ其有スル權利ヲ享有スルコトヲ得サルニ至リタ
 ル場合」ニ改メ「日本人ニ」ヲ削ル

〔參照〕 明治六年第十八號布告ハ地所賣入書ノ規則同三十二年法律第六十七號ハ土地抵當
 權アル外國人増價競買請求ノ件又同年法律第九十四號ハ國籍喪失者ノ權利ニ關スル件ナ

外國人ノ土地取得ニ關スル件
 第二款 臺灣ニ於ケル特則
 (明治三十三年一月律令第一號)

臺灣總督府評議會ノ議決ヲ經タル外國人ノ土地取得ニ關スル律令勅裁ヲ得テ茲ニ之ヲ發布ス
 外國人ハ土地ヲ取得スルコトヲ得ズ但外國人カ現ニ所有スル土地ハ此限ニテラス

附則
 本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

蕃地ニ關スル件
 (明治三十三年二月律令第七號)

臺灣總督府評議會ノ議決ヲ經タル蕃地ニ關スル律令勅裁ヲ得テ茲ニ之ヲ發布ス
 蕃人ニアラサル者ハ何等ノ名義ヲ以テスルニ拘ラス蕃地ヲ占有シ使用シ其他權利ヲ目的ト爲ス
 トヲ得ズ但別段ノ規定アルモノ又ハ臺灣總督ノ許可ヲ得タルモノハ此限ニアラス
 前項ノ規程ニ違背シタル者ハ五圓以上百圓以下ノ罰金ニ處シ又ハ十日以上六月以下ノ重禁錮ニ
 處ス

第二節 地上權

地上權ニ關スル件
 (明治三十三年三月法律第七十二號)

朕帝國議會ノ協賛ヲ經タル地上權ニ關スル法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

第一條 本法施行前他人ノ土地ニ於テ工作物又ハ竹木ヲ所有スル爲其ノ土地ヲ使用スル者ハ地上
 權者ト推定ス

第二條 第一條ノ地上權者ハ本法施行ノ日ヨリ一箇年內ニ登記ヲ爲スニ非サレハ之ヲ以テ第三者

ニ對抗スルコトヲ得ス
前項ノ規定ハ本法施行前ニ善意ニテ取得シタル第三者ノ權利ヲ害スルコトナシ

第三節 永代借地權

永代借地權ニ關スル件 (明治三十四年九月法律第三十九號)

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル永代借地權ニ關スル法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

第一條 政府ノ永代借地券ヲ以テ外國法人又ハ外國法人ノ爲ニ設定シタル永代借地權ハ之ヲ物權トシ民法中所有權ニ關スル規定ヲ準用ス

永代借地權ハ民法ノ規定ニ從ヒ他ノ權利ノ目的タル事ヲ得
地券、條約又ハ法令ニ別段ノ定メアル場合ニハ前二項ノ規定ヲ適用セズ

第二條 永代借地權ノ移轉アリタルトキハ其ノ土地ノ所在地ヲ管轄スル地方廳ニ於テ地券ニ其ノ旨ヲ記載スルニ非サレハ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

第二條ノ二 永代借地權ノ競賣ニ付テハ本法ニ別段ノ定メアルモノヲ除クノ外民事訴訟法及競賣法中不動産ノ競賣ニ關スル規定ヲ準用ス(明治四十一年法律第六十二號ヲ以テ本條新置)

第二條ノ三 競賣ノ申立書ニハ永代借地券ヲ添附スヘシ申立人地券ヲ提出スルコト能ハサルトキハ地方廳ノ認證アル地券ノ謄本ヲ添附スヘシ(全上、以下十三條亦同シ)

第二條ノ四 裁判所ハ競賣開始ノ決定ヲ爲スト同時ニ職權ヲ以テ競賣ノ申立アリタルコトヲ地方廳ニ通知スヘシ

地方廳ニ於テ前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ競賣手續中地券ニ移轉ノ記載ヲ爲スコトヲ得ス

第二條ノ五 民事訴訟法第七百條第一項又ハ競賣法第三十三條第一項ノ場合ニ於テハ裁判所ハ競落人カ取得シタル永代借地權ノ移轉ノ記載ヲ地方廳ニ屬託スヘシ

前項ノ場合ニ於テ申立人ヨリ提出シタル地券アルトキハ屬託書ニ之ヲ添附スヘシ

第二條ノ六 地方廳ニ於テ前條ノ屬託ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク地券ニ永代借地權ノ移轉ノ記載ヲ爲シ之ヲ裁判所ニ返還スヘシ

第二條ノ七 地方廳カ第二條ノ五ノ屬託ヲ受ケタル場合ニ於テ屬託書ニ地券ノ添附ナキトキハ地券名義人ニ對シテ地券ヲ提出シ命スヘシ

地券名義人カ地券ヲ提出シタルトキハ遲滯ナク其ノ地券ニ永代借地權ノ移轉ノ記載ヲ爲シ之ヲ裁判所ニ送付スヘシ

第二條ノ八 地券名義人カ地券ヲ提出モサルトキハ地方廳ハ競落人ニ對シ更ニ新地券ヲ發給スヘシ

提出モサル地券ハ新地券ノ發給ニ因リテ其ノ効力ヲ失フ

第二條ノ九 前條第一項ノ規定ニ依リ發給スル地券ハ地方廳ノ記錄ニ基キ原地券ノ全文ヲ提ケテ之ヲ作成シ且競落人ノ氏名、國籍、住所、新地券發給ノ原因、其ノ日附及地方長官ノ官氏名ヲ記入シ官印ヲ捺捺スヘシ

第二條ノ十 地方廳カ第二條ノ八第二項ノ規定ニ依リ新地券ヲ發給スルトキハ其ノ地券ニ永代借地權ノ移轉ノ記載ヲ爲シ遲滯ナク之ヲ裁判所ニ送付スヘシ

第二條ノ十一 地券カ第二條ノ八第二項ノ規定ニ依リ其ノ効力ヲ失ヒタルトキハ地方廳ハ遲滯ナ

其旨ヲ舊地券名義人ニ通知シ且官報及新聞紙ヲ以テ公告スヘシ
 第二條ノ十三 地方廳ニ於テ永代借地權ノ移轉ヲ地券ニ記載シタルトキハ遲滯ナク其ノ永代借地
 權ノ所在地ヲ管轄スル登記所ニ其旨ヲ通知スヘシ
 前項ノ通知書ニハ地券ノ謄本ヲ添附スヘシ
 第二條ノ十三 管轄登記所ニ於テ前條ノ通知書受ケタルトキハ職權ヲ以テ永代借地權ノ移轉、競
 落ニ因リテ消滅シタル永代借地權上買擔記入ノ抹消及競賣申立記入ノ抹消ヲ登記官ニ爲スヘシ
 第二條ノ十四 裁判所ハ第二條ノ六ノ規定ニ依リ地券ノ返還ヲ受ケタルトキ又ハ第二條ノ七第二
 項及第二條ノ十ノ規定ニ依リ地券ノ送付ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク之ヲ競落人ニ交付スヘシ
 第二條ノ十五 競落ヲ爲サスシテ競賣手續ヲ完結シタルトキハ裁判所ハ遲滯ナク其旨ヲ地方廳
 ニ通知スヘシ

第二條ノ十六 永代借地權ノ競賣ニ關スル規定ハ競賣ニ代ヘテ入札拂付爲スル場合ニ之ヲ準用ス
 第三條 永代借地權又ハ之ヲ目的トスル權利ニ關スル登記ニ付テハ登録稅ヲ課セス
 第四條 永代借地權又ハ之ヲ目的トスル權利ニ關スル登記及永代借地ノ上ニ存スル建物ニ關スル
 登記ニ付テハ勅令ヲ以テ別段ノ規定ヲ設クルコトヲ得

附則

第五條 本法ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
 第六條 民法施行法第四十五條ノ規定ハ本法施行ヨリヨリ之ヲ廢止ス
 第七條 永代借地權又ハ之ヲ目的トスル權利ヲ本法施行前ニ地上權又ハ之ヲ目的トスル權利トシ
 テ登記セラレタルモ以テ永代借地權又ハ之ヲ目的トスル權利トシテ登記セラレタルモ以テ同一
 ノ效力ヲ有ス

帝國ノ臣民又ハ法人ニ於テ政府ノ永代借地券ヲ以テ
 外國人又ハ外國法人ノ爲ニ設定シタル永代借地權ヲ
 取得シタル場合ニ關スル件 (明治三十四年九月勅令第七十九號)

朕帝國ノ臣民又ハ法人ニ於テ政府ノ永代借地券ヲ以テ外國人又ハ外國法人ノ爲ニ設定シタル永代
 借地權ヲ取得シタル場合ニ關スル件ヲ認可シ茲ニ之ヲ公布セシム

第一條 帝國ノ臣民又ハ法人カ永代借地券ヲ以テ外國人又ハ外國法人ノ爲ニ設定シタル永代借地
 權ヲ取得シタルトキハ遲滯ナク土地所在地ヲ管轄スル地方廳ニ永代借地券ヲ提出シテ抹消ヲ受
 ケヘシ

前項ニ依リ永代借地券ノ抹消ヲ受ケタルキハ帝國ノ臣民又ハ法人ハ其ノ土地ノ所有權ヲ取得ス
 第二條 帝國ノ臣民又ハ法人カ前條第一項ノ規定ニ依リ永代借地券ノ抹消ヲ受ケタルトキハ地方
 廳ハ其ノ土地所在地ヲ管轄スル登記所ニ其旨ヲ通知スヘシ

第三條 第一條ノ場合ニ於テ永代借地權ヲ目的トシタル權利ヲ有スル第三者アルトキハ其ノ權利
 ハ所有權ヲ目的トシタルモノトシテ存續ス

附則

第四條 本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
 第五條 明治三十二年勅令第三百三十三號ハ之ヲ廢止ス

第六條 政府ノ永代借地券ヲ以テ外國人又ハ外國法人ノ爲ニ設定シタル永代借地權ニシテ本令施行前帝國法人ノ取得シタルモノハ其ノ土地ニ付既ニ所有權ノ登記アリタル場合ヲ除キ永代借地權トシテ存續ス但シ第一條ニ依リ所有權ヲ取得スルコトヲ妨ケス

〔參照〕 明治卅二年勅令第三三三號ハ帝國ノ臣民又ハ法人ニ於テ外國人又ハ法人ノ爲ニ永久存續ノ意思ヲ以テ設定シタル地上權又ハ賃借權ヲ取得シタル場合ニ關スル件ナリ

第四節 大租權

大租權確定ニ關スル件

(明治三十六年十二月律令第九號)

臺灣總督府議會ノ議決ヲ經タル大租權確定ニ關スル件勅裁ヲ經テ茲ニ之ヲ發布ス
大租權確定ニ關スル件

第一條 本令ニ於テ大租權ト稱スルハ業主權ニ對スル大租權ヲ謂フ

第二條 臺灣總督ハ地方廳ニ大租名寄帳ヲ備ヘ臺灣土地調査規則ニ依リ丈量シタル土地ノ大租權者ヲ公示スヘシ

第三條 大租名寄帳ニハ左ノ事項ヲ登錄ス

一 大租權者ノ氏名、住所但シ社團又ハ財團ナルトキハ其名稱及管理人ノ氏名、住所

二 土地ノ所在、地番、地目

三 大租ノ名稱及其ノ租額

四 大租權者ノ負擔ニ屬スル地租額及官大租額

第四條 大租名寄帳ニ脱漏又ハ錯誤アリト認メタル者ハ公示ノ初日ヨリ九十日以内ニ地方廳ヲ經

由シテ臺灣總督ニ其ノ登錄又ハ更正ヲ申請スルコトヲ得

第五條 登錄又ハ更正ノ申請書ニハ證據書類ヲ添付シ利害關係人ト連署スヘシ若シ證據書類ヲ添付スルコト能ハサルトキ又ハ連署スルコト能ハサルトキハ其ノ理由ヲ詳記スヘシ

第六條 登錄又ハ更正ノ申請ニシテ第四條ノ期間經過後地方廳ニ到達シタルモノハ之ヲ無効トス

第七條 大租名寄帳ノ登錄事項ハ第四條ノ期間滿了ニ因リテ確定ス但シ登錄又ハ更正ノ申請ニ係ルモノ臺灣總督ノ決定ニ因リテ確定シ法院ニ繫屬中ノモノハ其ノ判決ニ因リテ確定ス

第八條 臺灣總督ノ決定ニ因リテ確定シタル大租名寄帳ノ登錄事項ニ對シテハ左ノ場合ニ於テ臺灣

總督ニ再審ノ申立ヲ爲シ決定ヲ受ケルコトヲ得但シ罰セラルヘキ行爲ニ付テノ判決力確定トナリタルトキニ限ル

一 決定ヲ受ケタル者カ罰セラルヘキ行爲ヲ登錄又ハ更正ノ申請ニ關シテ爲シタルトキ

二 決定ノ證據ト爲リタル證書カ偽造又ハ變造ナリシトキ

第九條 再審ノ申立ハ決定アリタル日ヨリ起算シテ一箇年ノ滿了後ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第十條 第七條及第八條ノ規定ニ依ル臺灣總督ノ決定ハ大租權調査委員會ノ議決ヲ經ルコトヲ要ス

大租權調査委員會ノ組織及議事ニ關スル規定ハ臺灣總督之ヲ定ム

第十一條 大租名寄帳ノ登錄事項ニ付テハ訴訟ヲ提起スルコトヲ得ズ但シ大租ノ取立ノミヲ目的トスル訴訟ノ提起ヲ妨ケス

第十二條 本令施行後ハ大租權ヲ設定シ又ハ其ノ租額ヲ增加スルコトヲ得ス

第十三條 大租權ニシテ明治二十八年五月八日以降本令發布ノ日マテ之カ行使ヲ爲ササルモノハ消滅ス

第十四條 本令ニ規定スルモノノ外必要ナル規定ハ臺灣總督之ヲ定ム

附則

本令施行期日ハ臺灣總督之ヲ定ム

明治三十六年律令第九號施行規則

(明治三十六年十二月臺灣總督府令第七十七號)

明治三十六年律令第九號施行規則左ノ通相定ム

明治三十六年律令第九號施行規則

第一條 大租名寄帳ヲ公示スヘキ地域及時期ハ其ノ時時府報ヲ以テ之ヲ告示スヘシ

第二條 大租名寄帳ニ登錄シタル大租權者ノ住所ハ臺灣土地調查規則ニ依リ地盤ヲ丈量シタル時ノ行政區域ニ依ル但シ臺灣總督ノ決定又ハ法院ノ判決ニ依リ登錄又ハ更正スヘキ住所ハ此ノ限ニアラス

第三條 大租名寄帳ニ登錄シタル又ハ登錄スヘキ土地ノ所在及地番目ハ臺灣土地調查規則ニ基キ調査シタルモノニ依ル

第四條 大租名寄帳ニ登錄シタル又ハ登錄スヘキ大租額ノ計量ニ用ウル度量衡ノ名稱命位ハ本島ニ於ケル舊來慣用ノモノニ依ル

第四條ノ二 大租名寄帳ニ登錄シタル又ハ登錄スヘキ抽的大租ノ租額ハ平年ノ納額ニ依ル(明治

三十六年十二月二十六日臺灣總督府令第八十一號ヲ以テ本號ヲ新設ス)

第五條 大租權者及其ノ利害關係人ハ地方廳ニ於テ土地臺帳地租名寄帳又地圖ヲ閱覽スルコトヲ得但シ廳長ハ地域ニ依リテ圖冊ヲ區分シ閱覽セシムヘキ日割ヲ定ムルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ豫メ廳報ヲ以テ之ヲ告示スヘシ

第六條 登錄又ハ更正ノ申請書ニハ土地ノ所在、地番及申請ノ目的、理由並申請者、連署者ノ氏名、住所ヲ記載シ之ニ捺印スヘシ

第七條 大租權ノ登錄又ハ大租ノ目的地、品種ノ更正若ハ租額ノ増加ヲ目的トスル申請書ニハ左ノ各號ノ者ノ連署ヲ要ス

- 一 大租權者
- 二 大租權ニ對シ典權又ハ胎權ヲ有スル者
- 三 現在ノ大租負擔者

大租權者ノ更正、大租權ノ削除又ハ大租額ノ減少ヲ目的トスル申請書ニハ前項第一號及第二號ノ者ノ連署ヲ要ス

第八條 代理人ヨリ提出スル登錄又ハ更正ノ申請書ニハ代理委任狀ヲ添付スヘシ

第九條 登錄又ハ更正ノ申請書ニハ申請事項ニ關スル上手契其ノ他ノ一切ノ證據書類ヲ添付スヘシ

第十條 爭ニ係ル事項ノ登錄又ハ更正ヲ目的トスル申請アリタルトキハ其ノ都度之ヲ其ノ相手方ニ通知スヘシ

第十一條 登錄又ハ更正ノ申請ニ係ル事項ノ審査上必要アル場合ニ於テハ何人ト雖官廳ノ召喚ニ

應シ實地ニ立會シ又ハ證據書類ヲ提出シ若ハ證人及鑑定人ト爲ルコトヲ拒ムコトヲ得ス
第十二條 左ノ各號ノ一ニ該當スル登録又ハ更正ノ申請ハ之ヲ却下スヘシ

一 第六條乃至第九條ノ要件ヲ具備セサルモノ

二 地方廳ヲ經由セサルモノ

三 規定ノ期間經過後地方廳ニ到達シタルモノ

四 大租名寄帳ニ登録スヘカラサル事項ノ登録ヲ目的トスルモノ

五 大租名寄帳ニ登録シタル事項ヲ登録スヘカラサル事項ニ更正スルコトヲ目的トスルモノ

第十三條 登録又ハ更正ノ申請ニ對スル決定ハ文書ヲ以テ之ヲ爲シ地方廳ヲ經由シテ申請者ニ交付スヘシ申請ヲ却下スルトキ亦同シ

第十四條 大租名寄帳ノ登録事項ニシテ法院ニ繫屬中ノモノハ此ノ規則施行ノ日ヨリ五十日以内ニ原告ヨリ地方廳ヲ經由シテ臺灣總督ニ其ノ土地ノ所在及地番ヲ表示シタル届書ヲ差出スヘシ

明治三十六年律令第九號施行前判決アリタルモノハ勝訴者ヨリ前項ノ届出ヲ爲スヘシ但シ此ノ場合ニ於テハ判決ノ正本又ハ謄本ヲ添付スヘシ

第十五條 臺灣總督ノ決定又ハ法院ノ判決ニ因リ大租名寄帳ニ異動ヲ生シタルトキハ地方廳ニ於テ之ヲ整理スヘシ

第十六條 再審ノ申立ハ地方廳ヲ經由シテ之ヲ爲スヘシ

再審ノ申立ニ付テハ第六條乃至第十三條及第十五條ノ規定ヲ準用ス

第十七條 第十一條又ハ第十四條ニ違背シタル者ハ五圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處ス

〔備考〕 明治三十六年律令第九號ハ前掲、大租權確定ニ關スル事件ナリ

政府ノ取得シタル土地ニ對スル大租權消滅ニ關スル

件 (明治二十六年十二月十日律令第十一號)

臺灣總督府評議會ノ議決ヲ經タル政府ノ取得シタル土地ニ對スル大租權消滅ニ關スル律令勅裁ヲ得テ茲ニ之ヲ發布ス

政府ニ於テ既ニ業主權ヲ取得シタル土地ニ關シテハ何等ノ名稱ヲ有スルニ拘ラス大租權ヲ主張スルコトヲ得ス

第七章 質

記名ノ債權ヲ目的トスル質權ノ設定ニ關スル件

(明治三十七年三月法律第十七號)

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル記名ノ國債ヲ目的トスル質權ノ設定ニ關スル法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

民法第三百六十四條第一項ノ規定ハ記名ノ國債ニハ之ヲ適用セス

第八章 先取特權

立木ノ先取特權ニ關スル件

(明治四十三年四月法律第五十六條)

朕帝國議會ノ協賛ヲ經タル立木ノ先取特權ニ關スル法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

他人ノ土地ノ上ニ立木ヲ有スル者カ土地ノ所有者ニ對シ樹木伐採ノ時期ニ於テ其ノ樹木ノ價格ニ對スル一定ノ割合ノ地代ヲ支拂フヘキ契約ヲ爲シタルトキハ土地ノ所有者ハ地代ニ付其ノ立木ノ上ニ先取特權ヲ有ス

前項ノ先取特權ハ他ノ權利ニ對シテ優先ノ效力ヲ有ス但シ民法第三百二十九條第二項ノ適用ヲ妨ケス

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム(此期日ハ明治四十三年勅令第二百七十二號ヲ以テ同年五月二十日ト指定シタリ)

第九章 抵當

工場抵當法

(明治三十八年三月法律第五十四號)

朕帝國議會ノ協賛ヲ經タル工場抵當法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

工場抵當法

第一條 本法ニ於テ工場ト稱スルハ營業ノ爲物品ノ製造若ハ加工又ハ印刷若ハ撮影ノ目的ニ使用

スル場所ヲ謂フ

營業ノ爲電氣又ハ瓦斯ノ供給ノ目的ニ使用スル場所ハ之ヲ工場ト看做ス

第二條 工場ノ所有者カ工場ニ屬スル土地ノ上ニ設定シタル抵當權ハ建物ヲ除クノ外其ノ土地ニ附加シテ之ト一體ヲ成シタル物及其ノ土地ニ備附ケタル機械、器具其ノ他工場ノ用ニ供スル物

ニ及フ但シ設定行爲ニ別段ノ定アルトキ及民法第四百二十四條ノ規定ニ依リ債權者カ債務者ノ行爲ヲ取消スコトヲ得ル場合ハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ規定ハ工場ノ所有者カ工場ニ屬スル建物ノ上ニ設定シタル抵當權ニ之ヲ準用ス

第三條 工場ノ所有者カ工場ニ屬スル土地又ハ建物ニ付抵當權設定ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ其ノ土地又ハ建物ニ備付ケタル機械、器具其ノ他工場ノ用ニ供スル物ニシテ前條ノ規定ニ依リ抵當權ノ目的タルモノノ目錄ヲ提出スヘシ

第二十二條第二項第三十五條及第三十八條乃至第四十二條ノ規定ハ前項ノ目錄ニ之ヲ準用ス

第四條 第二條第一項但書ニ掲ケタル別段ノ定アルトキハ抵當權設定ノ登記ノ申請書ニ之ヲ記載スヘシ

第五條 抵當權ハ第二條ノ規定ニ依リテ其ノ目的タル物カ第三取得者ニ引渡サレタル後ト雖モ其ノ物ニ付之ヲ行フコトヲ得

前項ノ規定ハ民法第九十二條乃至第九十四條ノ適用ヲ妨ケス

第六條 工場ノ所有者カ抵當權者ノ同意ヲ得テ土地又ハ建物ニ附加シテ之ト一體ヲ成シタル物ヲ土地又ハ建物ト分離シタルトキハ抵當權ハ其ノ物ニ付消滅ス

工場ノ所有者カ抵當權者ノ同意ヲ得テ土地又ハ建物ニ備付ケタル機械、器具其ノ他ノ物ノ備付

ナ止メタルトキハ抵當權ハ其ノ物ニ付消滅ス
工場ノ所有者カ抵當權者ノ爲差押、假差押又ハ假處分アル前ニ於テ正當ナル事由ニ因リ前二項ノ同意ヲ求メタルトキハ抵當權者ハ其ノ同意ヲ拒ムコトヲ得ス
第七條 抵當權ノ目的タル土地又ハ建物ノ差押、假差押又ハ假處分ハ第二條ノ規定ニ依リテ抵當權ノ目的タル物ニ及ブ

第三條ノ規定ニ依リテ抵當權ノ目的タル物ハ土地又ハ建物ト共ニスルニ非サレハ差押、假差押又ハ假處分ノ目的ト爲スコトヲ得ス

第八條 工場ノ所有者ハ抵當權ノ目的ト爲ス爲一箇又ハ數箇ノ工場ニ付工場財團ヲ設クルコトヲ得數箇ノ工場カ各別ノ所有者ニ屬スルトキ亦同シ

工場財團ニ屬スルモノハ同時ニ他ノ財團ニ屬スルコトヲ得ス
工場財團ハ低當權ノ消滅ニ因リテ消滅ス

第九條 工場財團ノ設定、工場財團登記簿ニ所有權保存ノ登記ヲ爲スニ依リテ之ヲ爲ス
第十條 工場財團ノ所有權保存ノ登記ハ其ノ登記後二箇月内ニ抵當權設定ノ登記ヲ受ケサルトキハ其ノ効力ヲ失フ

第十一條 工場財團ハ左ニ掲クルモノノ全部又ハ一部ヲ以テ之ヲ組成スルコトヲ得

- 一 工場ニ屬スル土地及工作物
- 二 機械、器具、電柱、電線、配置諸管、軌條其ノ他ノ附屬物
- 三 地上權
- 四 質貸人ノ承諾アルトキハ物ノ質借權

五 工業所有權

第十二條 工場ニ屬スル土地又ハ建物ニシテ未登記ノモノアルトキハ工場財團ヲ設クル前其ノ所有權保存ノ登記ヲ受ケヘシ

第十三條 他人ノ權利ノ目的タルモノ又ハ差押、假差押若ハ假處分ノ目的タルモノハ工場財團ニ屬セシムルコトヲ得ス
工場財團ニ屬スルモノハ之ヲ讓渡シ又ハ所有權以外ノ權利、差押、假差押若ハ假處分ノ目的ト爲スコトヲ得ス但シ抵當權者ノ同意ヲ得テ質貸ヲ爲スハ此ノ限ニ在ラス

第十四條 工場財團ハ之ヲ一箇ノ不動産ト看做ス
工場財團ハ所有權及抵當權以外ノ權利ノ目的タルコトヲ得ス但シ抵當權者ノ同意ヲ得テ之ヲ質貸スルハ此ノ限ニ在ラス

第十五條 工場ノ所有者カ抵當權者ノ同意ヲ得テ工場財團ニ屬スルモノヲ財團ヨリ分離シタルトキハ抵當權者ハ其ノモノニ付消滅ス

第六條第三項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第十六條 第二條民法第三百七十一條第三百八十八條及第三百八十九條ノ規定ハ土地又ハ建物カ抵當權ノ目的タル工場財團ニ屬スル場合ニ之ヲ準用ス

民法第三百八十一條ノ規定ハ要役地カ抵當權ノ目的タル工場財團ニ屬スル場合ニ之ヲ準用ス
民法第三百九十八條ノ規定ハ地上權カ抵當權ノ目的タル工場財團ニ屬スル場合ニ之ヲ準用ス

第十七條 工場財團ノ登記ニ付テハ工場所在地ノ區裁判所又ハ其ノ出張所ヲ以テ管轄登記所トス
不動産登記法第八條第二項ノ規定ハ工場カ數箇ノ登記所ノ管轄地ニ跨カリ又ハ工場財團ヲ組成

スル數箇ノ工場カ數箇ノ登記所ノ管轄地内ニ在ル場合ニ之ヲ準用ス
第十八條 各登記所ニ工場財團登記簿ヲ備フ

第十九條 工場財團登記簿ハ一箇ノ工場財團ニ付一用紙ヲ備フ

第二十條 工場財團登記簿ハ其ノ一用紙ヲ登記番號欄、表題部及甲乙ノ二區ニ分チ表題部ニ表示欄、表示番號欄ヲ設ケ各區ニ事項欄、順位番號欄ヲ設ク

登記番號欄ニハ各財團ニ付登記簿ニ始メテ登記ヲ爲シタル順序ヲ記載ス

表示欄ニハ工場財團ノ表示ヲ爲シ及其ノ變更ニ關スル事項ヲ記載シ表示番號欄ニハ表示欄ニ登記事項ヲ記載シタル順序ヲ記載ス

甲區事項欄ニハ所有權ニ關スル事項ヲ記載ス

乙區事項欄ニハ抵當權ニ關スル事項ヲ記載ス

順位番號欄ニハ事項欄ニ登記事項ヲ記載シタル順序ヲ記載ス

第二十一條 登記ノ申請書ニハ不動産登記法第三十六條第三號乃至第八號ニ掲ケタル事項ノ外左ノ事項ヲ記載スヘシ

一 工場ノ名稱及位置

二 主タル營業所

三 營業ノ種類

第二十二條 工場財團ニ付所有權保存ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ不動産登記法第三十五條第一項ニ掲ケタル書面ノ外工場財團目錄ヲ提出スヘシ

前項ノ目錄ニハ工場財團ヲ組成スルモノノ表示ヲ掲ケ申請人ノ署名捺印スヘシ

第二十三條 所有權保存ノ登記ノ申請アリタルトキハ其ノ財團ニ屬スヘキモノニシテ登記アルモノニ付テハ登記官吏ハ職權ヲ以テ其ノ登記用紙中相當事項欄ニ工場財團ニ屬スヘキモノトシテ其ノ財團ニ付所有權保存ノ登記ノ申請アリタル旨、申請書受付ノ年月日及受付番號ヲ記載スヘシ

前項ニ掲ケタルモノカ他ノ登記所ノ管轄ニ屬スルトキハ前項ノ規定ニ依リ記載スヘキ事項ヲ遲滯ナク管轄登記所ニ通知スヘシ

前項ノ通知ヲ受ケタル登記所ハ第一項ノ手續ヲ爲シ其ノ登記簿ノ謄本ノ通知ヲ爲シタル登記所ニ送付スヘシ但シ其ノ謄本ニハ抹消ニ係ル事項ヲ記載スルコトヲ要セス

前三項ノ規定ハ工業所有權カ工場財團ニ屬スヘキ場合ニ之ヲ準用ス但シ通知ハ之ヲ特許局ニ爲スヘシ

第二十四條 前條ノ場合ニ於テ登記官吏ハ官報ヲ以テ工場財團ニ屬スヘキ動産ニ付權利ヲ有スル者又ハ差押、假差押若ハ假處分ノ債權者ハ一定ノ期間内ニ其ノ權利ヲ申出ツヘキ旨ヲ公告スヘシ但シ其ノ期間ハ一箇月以上三箇月以下トス

前項ノ公告ハ所有權保存ノ登記ノ申請カ期間ノ滿了前ニ却下セラレタルトキハ遲滯ナク之ヲ取消スヘシ

第二十五條 前條第一項ノ期間内ニ權利ノ申出ナキトキハ其ノ權利ハ存在セサルモノト看做シ差押、假差押又ハ假處分ハ其ノ効力ヲ失フ但シ所有權保存ノ登記ノ申請カ却下セラレタルトキ又ハ其ノ登記カ効力ヲ失ヒタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第二十六條 第二十四條第一項ノ期間内ニ權利ノ申出アリタルトキハ遲滯ナク其ノ旨ヲ所有權保

存ノ登記ノ申請人ニ通知スヘシ

第二十七條 所有權保存ノ登記ノ申請ハ不動産登記法第四十九條ニ掲ケタル場合ノ外左ノ場合ニ於テ之ヲ却下スヘシ

- 一 登記簿若ハ其ノ謄本又ハ登錄ニ關スル原簿ノ謄本ニ依リ工場財團ニ屬スヘキモノカ他人ノ權利ノ目的タルコト又ハ差押、假差押若ハ假處分ノ目的タルコト明白ナルトキ
- 二 工場財團目錄ニ掲ケタルモノノ表示カ登記簿若ハ其ノ謄本又ハ登錄ニ關スル原簿ノ謄本ト抵觸スルトキ
- 三 工場財團ニ屬スヘキ動産ニ付權利ヲ有スル者又ハ差押、假差押若ハ假處分ノ債權者カ其ノ權利ヲ申出テタル場合ニ於テ遲クトモ第二十四條第一項ノ期間滿了後一週間内ニ其ノ申出ノ取消アラサルトキ又ハ其ノ申出ノ理由ナキコトノ證明アラサルトキ

第二十八條 登記官吏カ所有權保存ノ登記ノ申請ヲ却下シタルトキハ第二十三條第一項ノ規定ニ依リテ爲シタル記載ヲ抹消スヘシ

他ノ登記所又ハ特許局ニ所有權保存ノ登記ノ申請アリタル旨ヲ通知シタル場合ニ於テハ其ノ申請ヲ却下シタル旨ヲ遲滞ナク通知スヘシ

前項ノ通知ヲ受ケタル登記所又ハ特許局ハ第二十三條第三項又ハ第四項ノ規定ニ依リテ爲シタル記載ヲ抹消スヘシ

第二十九條 工場財團ニ屬スヘキモノニシテ登記又ハ登錄アルモノハ第二十三條ノ記載アリタル後ハ之ヲ讓渡シ又ハ所有權以外ノ權利ノ目的ト爲スコトヲ得ス

第三十條 第二十三條ノ記載アリタル後競賣申立ノ登記アリタル場合ニ於テハ所有權保存ノ登記

ノ申請カ却下セラレサル間及其ノ登記カ効力ヲ失ハサル間ハ競落ヲ許ス決定ヲ爲スコトヲ得ス

第三十一條 第二十三條ノ記載アリタル後ニ爲シタル差押、假差押若ハ假處分ノ登記又ハ先取特權ノ保存ノ登記ハ抵當權設定ノ登記アリタルトキハ其ノ効力ヲ失フ

第三十二條 前條ノ規定ニ依リ差押、假差押又ハ假處分ノ登記カ其ノ効力ヲ失ヒタルトキハ裁判所ハ利害關係人ノ申立ニ因リ差押、假差押又ハ假處分ノ命令ヲ取消スヘシ

第三十三條 工場財團ニ屬スヘキ動産ハ第二十四條第一項ノ公告アリタル後ハ之ヲ讓渡シ又ハ所有權以外ノ權利ノ目的ト爲スコトヲ得ス

第二十四條第一項ノ公告アリタル後差押アリタルトキハ第三十條ノ規定ヲ準用ス

第二十四條第一項ノ公告アリタル後差押、假差押又ハ假處分アリタル場合ニ於テ抵當權設定ノ登記アリタルトキハ差押、假差押又ハ假處分ハ其ノ効力ヲ失フ

第三十四條 登記官吏カ所有權保存ノ登記ヲ爲シタルトキハ其ノ財團ニ屬シタルモノハ登記用紙中相當事項欄ニ工場財團ニ屬シタル旨ヲ記載スヘシ

第二十三條第二項乃至第四項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス但シ登記簿又ハ登錄ニ關スル原簿ノ謄本ノ送付ヲ要セス

第三十五條 所有權保存ノ登記アリタルトキハ工場財團目錄ハ之ヲ登記簿ノ一部ト看做シ其ノ記載ハ之ヲ登記ト看做ス

第三十六條 工場財團ノ抵當權設定ノ登記ノ申請ハ不動産登記法第四十九條ニ掲ケタル場合ノ外第十條ノ期間ヲ經過シタル場合ニ於テ之ヲ却下スヘシ

第三十七條 登記官吏カ抵當權設定ノ登記ヲ爲シタルトキハ第三十一條ノ規定ニ依リ効力ヲ失ヒ

タル登記ヲ抹消スヘシ

第二十三條第二項及第三項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス但シ登記簿謄本ノ送付ヲ要セス
第三十八條 工場財團目錄ニ掲ケタル事項ニ變更ヲ生シタルトキハ所有者ハ遲滯ナク工場財團目錄ノ計載ノ變更ノ登記ヲ申請スヘシ

前項ノ登記ノ申請書ニハ抵當權者ノ同意又ハ之ニ代ルヘキ裁判ノ謄本ヲ添付スヘシ

第三十九條 工場財團ニ屬スルモノニ變更ヲ生シ又ハ新ニ他ノモノヲ財團ニ屬セシメタルニ因リ變更ノ登記ヲ申請スルトキハ變更シタルモノ又ハ新ニ屬シタルモノノ表示ヲ掲ケタル目錄ヲ提出スヘシ

前項ノ規定ニ依リ提出シタル目錄ハ工場財團目錄ニ編綴シ登記官更其其綴目ニ契印スヘシ
第四十條 工場財團ニ屬スルモノニ變更ヲ生シタルニ因リ變更ノ登記ノ申請アリタルトキハ前ノ目錄中其ノモノノ表示ノ側ニ其ノモノニ變更ヲ生シタル旨、申請書受付ノ年月日及受付番號ヲ記載スヘシ

第四十一條 新ニ他ノモノヲ財團ニ屬セシメタルニ因リ變更ノ登記ノ申請アリタルトキハ前ノ目錄ノ末尾ニ新ニ他ノモノヲ財團ニ屬セシメタル旨、申請書受付ノ年月日及受付番號ヲ記載スヘシ

第四十二條 工場財團ニ屬シタルモノカ滅失シ又ハ財團ニ屬セサルニ至リタルニ因リ變更ノ登記ノ申請アリタルトキハ目錄中其ノ登記ノ目的タルモノノ表示ノ側ニ其ノモノカ滅失シ又ハ財團ニ屬セサルニ至リタル旨、申請書受付ノ年月日及受付番號ヲ記載シ其ノモノノ表示ヲ抹消スヘシ

第四十三條 第二十三條乃至第三十四條及第三十七條ノ規定ハ新ニ他ノモノヲ財團ニ屬セシメタルニ因リ變更ノ登記ノ申請アリタル場合ニ之ヲ準用ス

第四十四條 工場財團ニ屬シタルモノニシテ登記アルモノハカ滅失シ又ハ財團ニ屬セサルニ至リタルニ因リ變更ノ登記ノ申請アリタルトキハ其ノモノノ登記用紙中相當區事項欄ニ其ノ旨ヲ記載シ第二十三條及第三十四條ノ記載ヲ抹消スヘシ

前項掲ケタルモノカ他ノ登記所ノ管轄ニ屬スルトキハ其ノモノカ滅失シ又ハ財團ニ屬セサルニ至リタル旨ヲ遲滯ナク管轄登記所ニ通知スヘシ

前項ノ通知ヲ受ケタル登記所ハ第一項ノ手續ヲ爲スヘシ
第三項ノ規定ハ工場財團ニ屬シタル工業所有權カ消滅シ又ハ財團ニ關セサルニ至リタル場合ニ之ヲ準用ス但シ通知ハ之ヲ特許局ニ爲スヘシ

第四十五條 工場財團ノ差押、假差押又ハ假處分ハ工場所在地ノ區裁判所ノ管轄トス
民事訴訟法第二十六條ノ規定ハ工場カ數箇ノ區裁判所ノ管轄地ニ跨カリ又ハ工場財團ヲ組成スル數箇ノ工場カ數箇ノ區裁判所ノ管轄地内ニ在ル場合ニ之ヲ準用ス

第四十六條 裁判所ハ抵當權者ノ申立ニ因リ工場財團ヲ簡箇ノモノトシテ競賣又ハ入札ニ付スヘキ旨ヲ命スルコトヲ得

第四十七條 民事訴訟法第七百條又ハ競賣法第三十三條ノ規定ニ依リ登記ノ囑託ヲ爲スヘキ場合ニ於テ工場財團ノ抵當權カ競落ニ因リ消滅シタルトキハ裁判所ハ同時ニ工場財團ニ屬シタル土地、建物、船舶又ハ工業所有權ニ付第二十三條及第三十四條ノ記載ノ抹消及競落人ノ取得シタル權利ノ登記又ハ登錄ヲ管轄登記所又ハ特許局ニ囑託スヘシ

第四十八條 工場財團登記簿ハ所有權保存ノ登記カ其ノ効力ヲ失ヒタルトキ又ハ抵當權ノ登記カ全部抹消セラレタルトキハ其ノ用紙ヲ閉鎖スヘシ

第四十九條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ適用ス

第四十九條 工場ノ所有者又ハ法律ニ依リ之ニ代リテ一切ノ行爲ヲ爲ス權限ヲ有スル者カ讓渡又ハ質入ノ目的ヲ以テ第二條ノ規定ニ依リ抵當權ノ目的タル物ヲ第三者ニ引渡シ又ハ引渡サシメタルトキハ十五日以上二月以下ノ重禁錮ニ處ス

前項ニ規定シタル行爲ト雖刑法ニ正條アルモノハ刑法ニ從フ

第五十條 工場ノ所有者カ抵當權ノ目的ト爲シタル物又ハ抵當權ノ爲シタル工場財團ニ屬スル物ヲ毀損シ又ハ毀損セシメタルトキハ刑法四百七十七條乃至四百二十三條ノ例ニ照シ各一等ヲ減ス

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム(此期日ハ明治三十八年六月勅令百八十七號ヲ以テ明治三十八年七月一日ト指定シタリ)

礦業抵當法

(明治三十八年三月法律第五十五號)

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル礦業抵當法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

礦業抵當法

第一條 探掘權者ハ抵當權ノ目的ト爲ス爲礦業財團ヲ設クルコトヲ得

第二條 礦業財團ハ左ニ掲グルモノニシテ礦業ニ關シ同一探掘權者ニ屬スルモノノ全部又ハ一部ヲ以テ之ヲ組成スルコトヲ得

一 礦業權

二 土地及工作物

三 地上權及土地ノ使用權

四 貸貸人ノ承諾アルトキハ物ノ貸借權

五 機械、器具、車輛、船舶、牛馬其ノ他ノ附屬物

第三條 礦業財團ニ付テハ工場抵當法中工場財團ニ關スル規定ヲ準用ス

第四條 探掘權取消ノ登録アリタルトキハ礦山監督署長ハ直ニ之ヲ抵當權者ニ通知スヘシ

前項ノ場合ニ於テハ抵當權者ハ直ニ其ノ權利ヲ實行スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ抵當權ヲ實行セントスルトキハ抵當權者ハ第一項ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ六箇月内ニ其ノ手續ヲ爲スヘシ

探掘權ハ前項ノ期間内又ハ抵當權實行ノ終了ニ至ル迄抵當權實行ノ目的ノ範圍内ニ於テ仍存續スルモノト看做ス

競落人又ハ競落人ニ依リテ設立セラレタル法人ハ探掘權取消ノ登録アリタルトキニ於テ探掘權ヲ讓受ケタルモノト看做ス

前二項ノ規定ハ錯誤ニ因リ礦業ノ出願カ許可セラレタル場合又ハ礦業カ公益ヲ害スルモノト認

メラレタル場合ニ於ケル探掘權ノ取消ニ關シテハ之ヲ適用セス

第五條 前條ノ規定ハ探掘權者カ廢業シタル場合ニ之ヲ準用ス

第六條 競賣ニ付セラレタル礦業ヲ目的トシ帝國法律ニ從ヒ法人ヲ設立セムトスル者カ競賣ニ加

入スルトキハ競賣ノ申込ト同時ニ其ノ旨ヲ執行裁判所ニ申出ツヘシ

前項ノ規定ニ依リ競賣ニ加入スル者ハ競賣ノ申込ニ關シテハ連帶シテ其ノ責ニ任ス
 第七條 鐵業財團ノ競落人カ前條第一項ノ規定ニ依リ競賣ニ加入シタル者ナルトキハ競落ヲ許ス
 決定カ確定シタル日ヨリ三箇月内ニ法人ヲ設立シテ之ヲ執行裁判所ニ届出ツヘシ
 第八條 前條ノ競落人ハ法人設立ノ日ヨリ一週間以内ニ競落代金ヲ執行裁判所ニ支拂フヘシ但シ
 債權者カ競落人タル場合ニ於テハ自己カ競落代金中ヨリ受取ルヘキ金額ヲ控除シ其殘額ノヨリ
 支拂フヲ以テ足ル

第九條 前條ノ規定ニ依リ競落代金ノ支拂アリタルトキハ競賣ニ付セラレタル鐵業財團ノ所有權
 ハ競落人ニ依リテ設立セラレタル法人ニ移轉ス

第十條 第七條ノ期間内ニ法人設立ノ届出ナキトキ又ハ第八條ノ期間内ニ競落代金ノ支拂ナキト
 キハ執行裁判所ハ職權ヲ以テ鐵業財團ノ再競賣ヲ命スヘシ

前項ノ再競賣ニ關シテハ民事訴訟法第六百八十八條ノ規定ヲ準用ス
 第十一條 工場抵當法中工場財團ニ關スル罰則ハ鐵業財團ニ關シ之ヲ準用ス

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（此期日ハ明治三十八年六月勅令第百八十八號ヲ以テ明治
 三十八年七月一日ト指定シタリ）

鐵道抵當法（明治三十八年三月法律第五十三號）

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル鐵道抵當法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム
 鐵道抵當法

第一章 總則

第一條 本法ニ於テ會社ト稱スルハ私設鐵道株式會社ヲ謂フ

第二條 會社ハ抵當權ノ目的ト爲ス爲鐵道ノ全部又ハ一部ニ付鐵道財團ヲ設クルコトヲ得
 鐵道財團ニ屬スルモノハ同時ニ他ノ鐵道財團ニ屬スルコトヲ得ス

鐵道財團ハ之ヲ一箇ノ物ト看做ス
 鐵道財團ハ抵當權ノ消滅ニ因リテ消滅ス

第三條 鐵道財團ハ左ニ掲クルモノニシテ鐵道財團ノ所有者ニ屬スルモノヲ以テ之ヲ組成ス

- 一 鐵道線路、其ノ他ノ鐵道用地及其ノ上ニ存スル工作物並之ニ屬スル器具機械
 - 二 工場、倉庫、發電所、變壓所、配電所、事務所、舍宅及其ノ敷地並之ニ屬スル器具機械
 - 三 鐵道用水ニ關スル工作物及其ノ敷地並之ニ屬スル器具機械
 - 四 鐵道用通信、又ハ信號又ハ送電ニ要スル工作物及其ノ敷地並之ニ屬スル器具機械
 - 五 前四號ニ掲ケタル工作物ヲ所有シ又ハ使用スル爲他人ノ不動產ノ上ニ存スル地上權、登
 記シタル貸借權及前四號ニ掲ケタル土地ノ爲ニ存スル地役權
 - 六 車輛及之ニ屬スル器具機械
 - 七 保線ニ要スル材料及器具機械
- 第四條 鐵道財團ハ所有權及抵當權以外ノ物權又ハ差押、假差押若ハ假處分ノ目的ト爲スコトヲ
 得ス
 鐵道財團ニ屬スルモノハ所有權以外ノ物權又ハ差押、假差押若ハ假處分ノ目的ト爲スコトヲ得
 ス

鐵道財團ニ屬スヘキモノニシテ所有權以外ノ物權又ハ差押、假差押若ハ假處分ノ目的タルトキ又ハ鐵道財團ニ屬スヘキ不動產ニシテ賃借權ノ目的タルトキハ會社ハ鐵道財團ヲ設クルコトヲ得ス但シ不動產ニ關スル權利ニ付其ノ登記ナキトキハ此ノ限ニ在ラス

第五條 抵當權ノ設定又ハ變更ハ總株金四分ノ一以上ノ拂込アリタル後定款變更ト同一方法ノ決議ヲ經主務官廳ノ認可ヲ受クルニ因リテ其ノ効力ヲ生ス

第六條 鐵道財團ヲ抵當ト爲ス債務ノ額ハ社債ノ額ト合セテ總株金拂込額ヲ超ユルコトヲ得ス但シ舊債償還ノ爲ニスル場合ニ於テハ舊債務ノ額ハ之ヲ算入セス

第七條 抵當權設定ノ認可ヲ申請スルニハ抵當證書及鐵道財團目錄ヲ差出スヘシ但シ擔保附社債ヲ發行スル場合ニ在リテハ信託證書ヲ以テ抵當證書ニ代フ

抵當證書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

- 一 鐵道財團ニ屬スル線路ノ表示
- 二 抵當權者、債務者及鐵道財團ノ所有者ノ名稱及住所
- 三 抵當權ノ順位
- 四 債權額及償還ノ方法並期限
- 五 利率及利息支拂ノ方法並期限

抵當證書又ハ信託證書ニ記載シタル事項ニ變更ヲ生スヘキ契約ハ主務官廳ノ認可ヲ受クルニ非サレハ其ノ効力ヲ生セス

第八條 抵當權ノ設定認可ノ申請アリタルトキハ主務官廳ハ直ニ官報ヲ以テ鐵道財團ニ屬スヘキモノニ關シ第四條第三項ノ權利ヲ有スル者又ハ差押、假差押若ハ假處分ノ債權者ハ一定ノ期間

内ニ申出ツヘキ旨ヲ公告スヘシ但シ其ノ期間ハ一箇月ヲ下ルコトヲ得ス

主務官廳ハ抵當權ノ設定認可ノ申請前ニ於テ主務會入申請ニ因リ豫メ前項ノ公告ヲ爲スコトヲ得此ノ場合ニ於テ公告後六箇月内ニ抵當權設定認可ノ申請ナキトキハ公告ハ其ノ効力ヲ失フ

會社方前項ノ申請ヲ爲ストキハ鐵道財團目錄ヲ差出スヘシ

第九條 前條第二項ニ依ル公告ヲ爲シタルトキ又ハ抵當權ノ設定認可ノ申請ヲ爲シタルトキハ鐵道財團ニ屬スヘキモノハ之ヲ讓渡スコトヲ得ス

第十條 第八條ノ公告アリタル後ハ同條第二項ニ依ル公告ガ効力ヲ失ハサル間、抵當權ノ設定認可ノ申請力却下セラレサル間及其ノ認可ガ効力ヲ失ハサル間ハ鐵道財團ニ屬スヘキ不動產ニ關スル權利ニ付競落ヲ許ス決定ヲ爲スコトヲ得ス

前項ノ規定ハ動產ニ對スル競賣ノ場合ニ之ヲ準用ス

第十一條 抵當權設定ノ認可アリタルトキハ其ノ鐵道ニ關スルモノニシテ第三條ニ掲ケタルモノハ當然鐵道財團ニ屬ス其ノ抵當權設定後新ニ鐵道財團ノ所有者ニ屬シタルモノ亦同シ

前項ニ掲ケタルモノニ關シ第四條第三項ノ權利アルトキハ不動產ニ關スルモノノ登記ハ其ノ効力ヲ失ヒ動產ニ關スルモノハ存セサルモノト看做シ差押、假差押若ハ假處分ハ其ノ効力ヲ失フ

但シ抵當權設定ノ認可ガ効力ヲ失ヒタルトキハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ場合ニ於テハ第四條第三項ノ權利ヲ有スル者又ハ差押、假差押若ハ假處分ノ債權者ハ鐵道財團ノ所有者ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得但シ第八條ノ公告アリタルモノニ付期間内ニ申出ヲ爲ササル權利者並期間經過後ニ於テ登記ノ申請ヲ爲シタル者、動產ニ關シ所有權以外ノ物權ヲ取得シタル者又ハ差押、假差押若ハ假處分ヲ爲シタル者ハ此ノ限ニ在ラス

第十二條 第八條第二項ニ依ル公告カ効力ヲ失ヒタルトキ、抵當權ノ設定カ認可セラレタルトキ又ハ其ノ認可カ効力ヲ失ヒタルトキハ主務官廳ハ直ニ官報ヲ以テ其ノ旨ヲ公告スヘシ

第十三條 抵當權設定ノ認可アリタル後二箇月内ニ其ノ登録ノ申請ナキトキハ認可ハ其ノ効力ヲ失フ

第十四條 抵當權ハ債權成立以前ニ於テモ其ノ効力ヲ生ス

第十五條 抵當權ノ得喪若ハ變更又ハ鐵道財團ノ所有權ノ移轉ハ登録ヲ爲スニ非サレハ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

第十六條 數箇ノ債權ヲ擔保スル爲同一ノ鐵道財團ニ付抵當權ヲ設定シタルトキハ其ノ抵當權ノ順位ハ登録ノ前後ニ依ル

第十七條 抵當權者ハ鐵道財團ニ付他ノ債權者ニ先テ自己ノ債權ノ辨濟ヲ受クルコトヲ得

第十八條 抵當權者ハ債權ノ全部ノ辨濟ヲ受クル迄ハ鐵道財團ノ全部ニ付其ノ權利ヲ行フコトヲ得

第十九條 抵當權ハ鐵道財團又ハ之ニ屬スルモノノ讓渡、貸付、滅失又ハ毀損ニ因リテ會社カ受クヘキ金錢其ノ他ノ物ニ對シテモ之ヲ行フコトヲ得但シ抵當權者ハ其ノ拂渡又ハ引渡前ニ差押ヲ爲スコトヲ要ス

第二十條 會社カ鐵道財團ヲ讓渡シ、貸付シ若ハ抵當ト爲シ、鐵道財團ニ關スル營業ノ管理委託ヲ爲シ、其ノ線路ヲ變更シ又ハ其ノ線路ノ全部若ハ一部ニ付營業ヲ休止セムトスルトキ又ハ鐵道財團ニ屬スルモノヲ處分セムトスルトキハ抵當權者ニ對シ異議アラハ一定ノ期間内ニ之ヲ述

スヘキ旨ヲ催告スヘシ但シ其ノ期間ハ二箇月ヲ下ルコトヲ得ス

抵當權者カ前項ノ期間内ニ異議ヲ述ヘタルトキハ會社ハ主務官廳ノ裁定ヲ求ムヘシ此ノ裁定ハ終局トス

抵當權者カ外國ニ住所ヲ有スル場合ニ於テハ第一項ノ期間ハ四箇月ヲ下ルコトヲ得ス

本條ノ規定ハ抵當權者カ豫メ同意ヲ與ヘタル場合ニハ之ヲ適用セス

第三十一條 會社カ鐵道財團ニ關スル工事方法ノ變更ニ付認可ヲ申請シタル場合ニ於テ其ノ變更カ鐵道財團ノ價額ヲ著シク減スヘキ虞アリト認ムルトキハ主務官廳ハ會社ヲシテ抵當權者ニ對シ異議アラハ之ヲ述フヘキ旨ヲ催告セシムヘシ

前條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第三十二條 免許ノ失効又ハ取消ノ場合ニ於テハ抵當權者ハ其ノ權利ヲ實行スルコトヲ得

前項ニ依リ抵當權ヲ實行セムトスルトキハ抵當權者ハ免許ノ失効又ハ取消ノ日ヨリ六箇月内ニ其ノ手續ヲ爲スヘシ

免許ノ前項ノ期間及抵當權實行ノ終了ニ至ル迄仍存續スルモノト看做ス

第三十三條 債權者カ同一ノ債權ノ擔保トシテ數箇ノ鐵道財團ノ上ニ抵當權ヲ有スル場合ニ於テ同時ニ其ノ代價ヲ配當スヘキトキハ其ノ各鐵道財團ノ價額ニ準シテ其ノ債權ノ負擔ヲ分ツ

或鐵道財團ノ代價ノミヲ配當スヘキトキハ抵當權者ハ其ノ代價ニ付債權ノ全部ノ辨濟ヲ受クルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ次ノ順位ニ在ル抵當權者ハ前項ノ規定ニ從ヒ右ノ抵當權者カ他ノ鐵道財團ニ付辨濟ヲ受クヘキ金額ニ滿ツル迄之ニ代位シテ抵當權ヲ行フコトヲ得

第二十四條 前條ノ規定ニ從ヒ代位ニ因リテ抵當權ヲ行フ者ハ其ノ抵當權ノ登録ニ其ノ代位ヲ附記スルコトヲ得

第三十五條 抵當權者ハ鐵道財團ノ代價ヲ以テ辨濟ヲ受ケザル債權ノ部分ニ付テノ他ノ財產ヲ以テ辨濟ヲ受クルコトヲ得

前項ノ規定ハ鐵道財團ノ代價ニ先チテ他ノ財產ヲ代價ヲ配當スヘキ場合ニハ之ヲ適用セス但シ他ノ債權者ハ抵當權者ヲシテ前項ノ規定ニ從ヒ辨濟ヲ受ケシムルカ爲之ニ配當スヘキ金額ノ供託ヲ請求スルコトヲ得

第二十六條 政府力鐵道及附屬物件ヲ買上ケタル場合ニ於テ抵當權設定後二十箇年又ハ据置年限ヲ經過シタルトキハ抵當附債務ヲ辨濟スルコトヲ得但シ少クトモ一箇年前ニ豫告スヘシ

第三章 登錄

第二十七條 鐵道財團ニ關スル登錄ヲ爲ス爲主務官廳ニ鐵道抵當原簿ヲ備フ

鐵道抵當原簿ハ一箇ノ鐵道財團ニ付一用紙ヲ設ク

第二十八條 登錄ハ本法ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外當事者ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス

第二十九條 抵當權設定ノ登錄申請書ニハ左ノ書面ヲ添付スヘシ

- 一 抵當權ノ設定ニ關スル證書
 - 一 鐵道財團目錄
- 當事者ハ抵當權設定認可ノ申請書ニ添付シタル鐵道財團目錄ヲ前項第二號ノ書面トシテ引用スルコトヲ得

第一項第二號ノ書面ハ第二以下ノ順位ノ抵當權設定ノ登錄申請書ニハ之ヲ添付スルコトヲ要セス

第三十條 抵當權設定ノ登錄ハ鐵道抵當原簿ニ左ノ事項ヲ記載スルニ依リテ之ヲ爲ス

一 第七條第二項第一號乃至第五號ニ掲ケタル事項

二 免許ニ附シタル條件

三 抵當權ヲ設定シタルコト

四 抵當權設定認可ノ年月日

五 登錄ノ年月日

第七條第二項第一號及前項第二號ニ掲ケタル事項ハ第二以下ノ順位ノ抵當權ニ付テハ之ヲ登錄スルコトヲ要セス

第三十一條 登錄シタル事項ニ變更ヲ生シ又ハ其ノ事項消滅シタルトキハ當事者ハ遲滞ナク變更又ハ消滅ノ登錄ヲ申請スヘシ

前項ノ申請書ニハ變更又ハ消滅ノ事由ヲ記載シ之ヲ證スル書面ヲ添付スヘシ

變更又ハ消滅カ主務官廳ノ命令又ハ認可ニ因リテ生シタル場合ニ於テハ前項ノ證明書ハ之ヲ添付スルコトヲ要セス

第三十二條 同一ノ債權ノ擔保トシテ數箇ノ鐵道財團ノ上ニ抵當權ヲ設定シタル場合ニ於テハ其ノ各鐵道財團ノ用紙ニ他ノ鐵道財團ヲ表示シ之ト共ニ抵當權ノ目的タル旨ヲ記載スヘシ

他ノ鐵道財團ニ關スル變更又ハ消滅ノ登錄カ前項ノ記載ヲ變更スルコトヲ要スルニ至リタルトキハ其ノ記載ニ變更ヲ附記シ他ノ鐵道財團ニ關スル消滅ノ登錄カ前項ノ記載ヲ要セサルニ至リタルトキハ其ノ記載ヲ抹消スヘシ

第三十三條 鐵道抵當原簿ニ抵當權ノ設定ヲ登錄シタルトキハ鐵道財團目錄ニ爲シタル記載ハ登錄ト同一ノ效力ヲ生ス

第三十四條 鐵道財團目錄ニ記載シタル事項ニ變更ヲ生シ又ハ其ノ事項消滅シタルトキハ會社ハ
遲滯ナク其旨ヲ届出ヘシ

前項ノ届書ハ鐵道財團目錄ニ編綴スルニ依リテ前條ノ效力ヲ生ス

第三十五條 一用紙ノ抵當權ノ登錄カ全部抹消セラレタルトキハ主務官廳ハ其ノ用紙ヲ閉鎖スヘ
シ

第三十六條 左ノ場合ニ於テハ主務官廳ハ直ニ其ノ旨ヲ管轄登記所ニ通知スヘシ但シ第二號ノ場
合ニ於テハ新ナル管轄登記所ニノミ通知スヘシ

一 第一順位ノ抵當權ノ設定ヲ登錄シタルトキ

二 不動産ニ關スル權利カ新ニ鐵道財團ニ屬シタルトキ

三 鐵道財團ノ用紙ヲ閉鎖シタルトキ

前項第一號又ハ第三號ノ場合ニ於テハ主務官廳ハ直ニ官報ヲ以テ其ノ旨ヲ公告スヘシ

第三十七條 登記官吏カ前條第一號又ハ第二號ノ通知ヲ受ケタルトキハ第三號ノ通知ヲ受
ルハ鐵道財團ノ所有者ニ屬スルモノニ付所有權以外ノ物權、賃借權又ハ差押、假差押若ハ假處分
ノ登記ヲ爲スコトヲ得ス但シ所有權以外ノ物權、賃借權又ハ差押、假差押若ハ假處分ノ目的タ
ルモノカ主務官廳ノ證明書ニ依リ鐵道財團ニ屬セサルコト明白ナルトキハ此ノ限ニ在ラス

第三十八條 何人ト雖鐵道抵當原簿及鐵道財團目錄ノ閱覽ヲ請求シ又ハ手數料ヲ納付シテ鐵道抵
當原簿ノ謄本若ハ抄本ノ交付ヲ請求スルコトヲ得

第三十九條 鐵道抵當原簿ノ調製、鐵道財團目錄ノ様式其ノ他登錄ニ關スル細則ハ主務大臣之ヲ
定ム

第三章 強制競賣及強制管理

第四十條 鐵道財團ニ對スル抵當權ノ強制執行ハ強制競賣又ハ強制管理ニ依リテ之ヲ爲ス

抵當權者ハ自己ノ選擇ニ依リ前項ニ掲ケタル一箇ノ方法ヲ以テ又ハ二箇ノ方法ヲ併セテ強制執
行ヲ爲スコトヲ得

第四十一條 抵當證書又ハ信託證書及之ニ記載シタル事項ヲ變更スル契約證書ハ強制執行ニ關シ
テハ公證人ノ作成シタル債務名義ト看做ス但シ其ノ執行力アル正本ハ主務官廳ノ官吏之ヲ付與
ス

第四十二條 強制執行ハ鐵道財團ノ所有者タル會社ノ本店所在地ヲ管轄スル區裁判所ノ管轄ニ專
屬ス

第四十三條 強制競賣ノ申立ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

申立書ニハ左ノ事項ヲ記載シ申立人又ハ其ノ代理人之ニ署名捺印スヘシ

一 債務者タル會社及鐵道財團ノ所有者タル會社ノ商號及其ノ本店ノ所在地

二 競賣ニ付スヘキ鐵道財團ノ表示

三 競賣ノ原因タル事由

四 年月日

五 裁判所

申立書ニハ執行力アル正本ノ外鐵道抵當原簿ノ謄本ヲ添附スヘシ但シ強制管理ノ開始アリタル
場合ニ於テハ鐵道抵當原簿ノ謄本ヲ添付スルコトヲ要セス

第四十四條 強制競賣ノ申立ハ競落期日迄ニ競買人ノ同意アル場合ニ限り之ヲ取下クルコトヲ得

第四十五條 競賣手續ノ開始ハ決定ヲ以テ之ヲ爲ス

開始決定ニハ申立人ノ名稱、住所及第四十三條第二項第一號乃至第四號ニ掲ケタル事項ヲ記載シ決定ヲ爲シタル判事之ニ署名捺印スヘシ

第四十六條 裁判所カ競賣手續開始ノ決定ヲ爲シタルトキハ直ニ鐵道抵當原簿ニ競賣申立ノ登錄ヲ爲スヘキ旨ヲ主務官廳ニ囑託スヘシ

主務官廳ニ於テ前項ノ囑託ヲ受ケタルトキハ直ニ登錄ヲ爲シ其ノ旨ヲ裁判所ニ通知スヘシ

第四十七條 裁判所カ競賣手續開始ノ決定ヲ爲シタルトキハ官報ヲ以テ租稅其ノ他ノ公課ヲ主管スル官廳及公署ニ對シ一定ノ期間内ニ鐵道財團ノ所有者ニ對スル權利ノ有無及其ノ限度ヲ申出ツヘキ旨ヲ公告スヘシ

第四十八條 裁判所ハ主管官廳ノ意見ヲ聽キ鑑定人ヲ選定シ競賣ニ付スヘキ鐵道財團ヲ評價セシメ其ノ評價額ヲ以テ最低競賣價額ト爲スヘシ

第四十九條 裁判所ハ競賣期日ヲ定メ官報ヲ以テ之ヲ公告スヘシ

前項ノ公告ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

- 一 競賣ニ付スヘキ鐵道財團ノ表示
- 二 競賣期日ノ場所、日時及入札締切ノ時
- 三 最低競賣價額
- 四 競落期日ノ場所及日時
- 五 執行記録ヲ閱覽シ得ヘキ場所

第五十條 鐵道事業ヲ營ム者ニ非スシテ競賣ニ加入スルニハ競賣ニ付セラレタル鐵道ノ營業科目

的トシ會社ヲ發起セムトスル者七人以上合同スルコトヲ要ス

前項ニ依リ競賣ニ加入スル者ハ競賣ノ申込ニ關シテハ連帶シテ其ノ責ニ任ス

第五十一條 前條第一項ニ依リ競賣ニ加入スル者ハ競賣ノ申込下共ニ保證トシテ最低競賣價額百分ノ五ニ相當スル金額ヲ現金又ハ有價證券ヲ以テ供託スヘシ

前項ノ規定ハ競賣人ニシテ抵當權者力之ニ加ハルモノニ付テハ其ノ債權額力最低競賣額ノ百分ノ五以上ニ相當スル場合ニ限リ之ヲ適用セス

第五十二條 競賣ハ入札ノ方法ヲ以テ之ヲ行フ

第五十三條 裁判所ハ競賣人ノ面前ニ於テ入札ヲ開封スヘシ

競落ト爲ルヘキ同價額ノ入札三箇以上アルトキハ裁判所ハ同價額ノ競賣人ヲシテ直ニ再度ノ入札ヲ爲サシムヘシ

再度ノ入札ヲ爲スモ仍同價額ノ入札アルトキハ裁判所ハ直ニ抽籤ヲ以テ最高價競賣人ヲ定ムヘシ

第五十四條 競賣ニ加入スルコトヲ得サル者ノ爲シタル入札ハ無効トス

第五十五條 競賣期日ニ於テ入札ナキトキ、許スヘキ入札ナキトキ又ハ最低競賣價額ニ達スル入札ナキトキハ裁判所ハ職權ヲ以テ更ニ競賣期日ヲ定ムヘシ

前項ノ場合ニ於テ裁判所ハ鑑定人ノ意見ヲ聽キ最低競賣價額ヲ低減スルコトヲ得

第五十六條 入札ハ之ヲ變更シ又ハ取消スコトヲ得

入札ハ其ノ入札ヲ爲シタル競賣人以外ノ者ニ競落ヲ許ス決定カ確定シタルトキ、競落ヲ許ササル決定カ確定シタルトキ又ハ競落ヲ爲サスシテ競賣手續ヲ終了シタルトキハ其ノ效力ヲ失フ

第五十七條 裁判所ハ最高價競買人ノ名稱及其ノ競買價額ヲ表示シ競買ノ終局ヲ告知スヘシ

第五十八條 裁判所ハ競買ニ關スル調書ヲ作成シ左ノ事項ヲ記載スヘシ
一 競買ニ付セラレタル鐵道財團ノ表示

二 競買申立人ノ表示

三 入札及開札ノ日時

四 總テノ競買價額及競買人ノ名稱、住所又ハ入札ナキコト、許スヘキ入札ナキコト若ハ最低競買價額ニ達スル入札ナキコト並第百三十三條第二項又ハ第三項ノ手續ヲ爲シタルコト

五 競買ノ終局ヲ告知シタル日時並最高價競買人ノ名稱及其ノ競買價額

第五十九條 裁判所ハ競落期日ニ出頭シタル債務者、鐵道財團ノ所有者、抵當權者及競買人ニ競落ノ許可ニ付陳述ヲ爲サシムヘシ

第六十條 強制競買申立ノ取下若ハ強制執行ノ取消アリタル場合又ハ第四十八條乃至第五十四條若ハ第五十七條ノ規定ニ違反シテ競買ヲ爲シタル場合ニ限り債務者、鐵道財團ノ所有者、抵當權者又ハ競買人ハ競落ノ認可ニ付異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得

第六十一條 裁判所ハ異議ノ申立ヲ正當トスル場合ニ於テ更ニ競買ヲ許スヘキトキハ職權ヲ以テ競買期日ヲ定ムヘシ

前項ニ依リ競買期日ヲ定ムル場合ノ外競落ノ許否ハ決定ヲ以テ之ヲ言渡スヘシ

第六十二條 競落ノ許可ニ付異議ノ申立ヲ爲シタル者ハ第六十條ニ掲ケタル理由アル場合ニ限り競落ヲ許ス決定ニ對シ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

競落期日ニ出頭シ競落ノ許可ニ付異議ノ申立ヲ爲ササル者ハ競落ヲ許ササル理由ナキ場合ニ限

リ競落ヲ許ササル決定ニ對シ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

抗告ハ執行停止ノ效力ヲ有ス

第六十三條 裁判所ハ競落ニ關スル調書ヲ作成スヘシ

第六十四條 競落ヲ許ス決定カ確定シタルトキハ裁判所ハ其ノ決定ノ謄本ヲ主務官廳ハ送付スヘシ

第六十五條 競落代金ハ競落ヲ許ス決定カ確定シタル日又ハ本免許ヲ受クルコトヲ要スル者ニ在

リテハ本免許ヲ受ケタル日ヨリ一週間以内ニ之ヲ裁判所ニ支拂フヘシ但シ債權者カ競落人タル

場合ニ於テハ自己カ競落代金中ヨリ受取ルヘキ金額ヲ控除シ其ノ殘額ノミヲ支拂フヲ以テ足ル

第六十六條 競落代金ノ支拂アリタルトキハ競買ニ付セラレタル鐵道財團ニ關スル權利ハ競落人ニ、競落人カ第五十條第一項ニ依リ競買ニ加入シタル者ナルトキハ其ノ競落人ニ依リテ發起セラレタル會社ニ移轉ス

抵當權ハ前項ニ依リ鐵道財團ニ關スル權利カ移轉シタルトキニ消滅ス

第六十七條 本免許狀ノ下付ナキトキ、第七十三條ノ期間内ニ本免許ノ申請ナキトキ又ハ第六十五條ノ期間内ニ競落代金ノ支拂ナキトキハ裁判所ハ職權ヲ以テ競落ヲ許ス決定ヲ取消シ更ニ競

買期日ヲ定ムヘシ
前項ニ依リ競落ヲ許ス決定カ取消セラレタルトキハ本免許ハ取消サレタルモノトス

競落人ハ新競買ニ加入スルコトヲ得ス且新競買ニ於ケル競落代金カ最初ノ競落代金ヨリ少ナキトキハ其ノ不足額及手續ノ費用ヲ賠償スヘシ

第六十八條 裁判所ハ競落代金ノ中ヨリ順次ニ競買ノ費用及租稅其ノ他ノ公課ヲ控除シ其ノ殘額

ハ抵當權ノ順位ニ從ヒ之ヲ抵當權者ニ配當シ仍殘餘アルトキハ之ヲ鐵道財團ノ所有者ニ交付スヘシ

前項ノ場合ニ於テハ裁判所ハ其ノ旨ヲ主務官廳ニ通知シ競賣申立ノ登録ノ抹消ヲ囑託スヘシ
主務官廳ニ於テ前項ノ囑託ヲ受ケタルトキハ左ノ手續ヲ爲スヘシ

一 第四十六條第二項ニ依リテ爲シタル登録及抵當權ノ登録ヲ抹消スルコト

二 競落ヲ許ス決定アリタルコトヲ管轄登記所ニ通知シ競落人又ハ競落人ニ依リテ發起セラレタル會社カ取得シタル不動産ニ關スル權利ノ登記並第十二條第二項ニ依リテ效力ヲ失ヒタル登記ノ抹消ヲ囑託スルコト

第六十九條 競落ヲ爲サスシテ競賣手續ヲ終了シタルトキハ裁判所ハ其ノ旨ヲ主務官廳ニ通知シ競賣申立ノ登録ノ抹消ヲ囑託スヘシ

主務官廳ニ於テ前項ノ囑託ヲ受ケタルトキハ第四十六條第二項ニ依リテ爲シタル登録ヲ抹消スヘシ

第七十條 裁判所ハ二回以上競賣期日ヲ開始シタルモ入札ナキトキ、許スヘキ入札ナキトキ又ハ最低競賣價額ニ達スル入札ナキトキハ抵當權者ノ同意アル場合ニ限り競賣ニ付シタル鐵道財團ヲ簡箇ノモノトシテ競賣ニ付スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ裁判所ハ抵當權者ノ意見ヲ聽キ鐵道財團ニ屬スルモノヲ分割シテ競賣ニ付スルコトヲ得

第七十一條 前條ノ競賣ニ關シテハ第四十八條第四十九條第五十二條乃至第六十六條第六十七條第一項第三項第六十八條及第六十九條ノ規定ヲ準用ス

競買人ハ競買ノ申込ト共ニ保證トシテ最低競賣價額百分ノ五ニ相當スル金額ヲ現金又ハ有價證券ヲ以テ供託スヘシ

第七十二條 競落人カ第五十條第一項ニ依リ競賣ニ加入シタル者ナルトキハ發起人トナリテ會社ヲ設立スヘシ

第七十三條 競落人ニ依リテ發起セラレタル會社又ハ競落人タル會社ハ競落ヲ許ス決定カ確定シタル日ヨリ三箇月内ニ本免許ヲ申請スヘシ

第七十四條 競落人ニ依リテ發起セラレタル會社カ本免許ヲ申請スルニハ左ニ掲グル書類ヲ添付スヘシ

一定款

一 發起人ニ於テ株式ノ總數ヲ引受ケタルトキハ検査役カ裁判所ニ爲シタル報告書ノ謄本及裁判所カ検査役ノ報告ヲ聽キ爲シタル決定ノ謄本

二 株主ヲ募集シタルトキハ株式申込書ノ謄本、發起人、取締役、監査役又ハ検査役ヨリ創立總會ニ爲シタル報告ノ要領及創立總會ノ議事及決議ノ要領

第七十五條 競落人タル會社カ本免許ヲ申請スルニハ定款ノ變更ト同一方法ノ決議ニ依ルヘシ
本免許ノ申請ハ定款變更ノ決議認可ノ申請ト共ニ之ヲ爲スヘシ

第七十六條 主務官廳ハ前三條ノ規定ニ依ル申請アリタルトキハ本免許狀ヲ下付スヘシ

第七十七條 本免許ハ會社カ競落代金ヲ支拂ヒタルトキニ其ノ效力ヲ生ス
本免許カ效力ヲ生シタルトキハ會社ハ原免許ニ屬スル權利及義務ヲ承繼ス

第七十八條 強制管理ニ付テハ第四十三條第四十五條乃至第四十七條ノ規定ヲ準用ス

第七十九條 強制管理開始ノ決定確定シタルハ裁判所ハ其決定ノ謄本ヲ主務官廳ニ送付スヘシ
第八十條 前條決定ノ謄本ノ送付アリタルトキハ主務官廳ハ一人又ハ數人ノ管理人ヲ選任スヘシ
但シ強制管理ノ申立人ハ適當ノ人ヲ推薦スルコトヲ得

商事會社ハ管理人タルコトヲ得

第八十一條 主務官廳ハ管理人ヲ監督シ、管理方法ニ付指揮ヲ爲シ且管理人ニ與フヘキ報酬ノ額
ヲ定ムヘシ

主務官廳ハ前項ニ掲ケタル事項ニ付債務者、鐵道財團ノ所有者、抵當權者及鑑定人ノ意見ヲ聽ク
コトヲ得

主務官廳ハ管理人ニ擔保ヲ供スヘキコトヲ命シ又ハ之ヲ解任スルコトヲ得

第八十二條 主務官廳カ管理人ヲ任免シタルトキハ其ノ旨ヲ債務者、鐵道財團ノ所有者、抵當權者
及裁判所ニ通知スヘシ

第八十三條 鐵道財團ノ所有者カ管理人選任ノ通知ヲ受ケタルトキハ直ニ鐵道財團ヲ管理人ニ引
渡スヘシ

管理人ハ鐵道財團ノ所有者ニ對シ管理ニ必要ナル書類其ノ他ノ物ノ引渡ヲ求ムルコトヲ得

鐵道財團ノ所有者カ前二項ノ引渡ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ管理人ノ申立ニ因リ執達吏ヲシテ
其ノ引渡ヲ爲サシムヘシ

第八十四條 強制管理ノ申立人ハ管理ノ請求ニ因リ管理ノ費用ヲ立替支辨スヘシ

第八十五條 管理人ハ鐵道財團ノ管理及收益ニ付必要ナル裁判上又ハ裁判外ノ行爲ヲ爲スヘシ

第八十六條 鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對スル取締役ノ責任ハ管理人ノ之ヲ負フ

第八十七條 管理人ハ每營業年度ノ終ニ於テ鐵道財團ノ收入ヨリ順次ニ管理ノ費用、管理人ノ報
酬及租稅其ノ他ノ公課ヲ控除シ其ノ殘額ヲ抵當權者ニ交付スヘシ

第八十八條 管理人ハ每營業年度ノ終ニ於テ計算報告書ヲ主務官廳ニ差出スヘシ
主務官廳ハ前項計算報告ノ謄本ヲ債務者鐵道財團ノ所有者、抵當權者ニ送付シ且一定ノ期間内
ニ異議アラハ之ヲ申立ツヘキ旨ヲ催告スヘシ

前項ノ期間内ニ異議ヲ申立テサリシ者ハ計算ヲ承認シタルモノト看做ス
異議ヲ申出テタル者アリタルトキハ主務官廳ハ管理人ノ陳述ヲ聽キタル後之ヲ裁定ス此ノ裁定
ハ終局トス

第八十九條 管理人ハ前條第二項ノ期間ヲ過キ又ハ前條第四項ノ裁定ヲ經タル後ニ非サレハ抵當
權者ニ對シ配當額ノ交付ヲ爲スコトヲ得ス
管理人カ配當額ノ交付ヲ爲シタルトキハ抵當權者ノ名稱及配當額ヲ主務官廳及裁判所ニ通知ス
ヘシ

第九十條 強制管理ノ取消ハ裁判所ノ決定ヲ以テ之ヲ爲ス
強制管理ノ申立ヲ爲シタル抵當權者カ辨濟ヲ受ケタルハ裁判所ハ強制管理ノ取消ヲ命スヘシ
強制管理ノ申立人カ管理費用ノ立替支辨ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ管理人ノ申立ニ因リ強制管
理ノ取消ヲ命スルコトヲ得

第九十一條 前條第二項ノ場合ニ關シテハ第六十八條第二項及第三項ノ規定ヲ準用ス
前項ノ場合ヲ除クノ外強制管理ノ取消ニ關シテハ第六十九條ノ規定ヲ準用ス

第九十二條 左ノ場合ニ於テハ取締役又ハ管理人ヲ十圓以上千圓以下ノ過料ニ處ス

一 本法ニ定メタル裁定ヲ遵守セサルトキ

二 第九條ノ規定ニ違反シタルトキ

三 第二十條又ハ第二十一條ノ催告ヲ爲ササルトキ

四 登録ニ關シ不正ノ申請ヲ爲シタルトキ又ハ第三十一條ノ登録ノ申請ヲ爲ササルトキ

五 鐵道財團目錄ニ不正ノ記載ヲ爲シタルトキ、第三十四條ノ届出ヲ爲ササルトキ又ハ不正ノ届出ヲ爲シタルトキ

六 管理方法ニ付主務官聽ノ命令ニ違反シタルトキ

七 第八十八條ノ計算報告書ヲ差出ササルトキ又ハ不正ノ報告ヲ爲シタルトキ

八 配當額ノ交付ヲ爲ササルトキ又ハ第八十七條若ハ第八十九條第一項ノ規定ニ違反シテ配當額ノ交付ヲ爲シタルトキ

九 第八十九條第二項ノ通知ヲ爲ササルトキ

第九十三條 非訟事件手續法第二百六條乃至第二百八條ノ規定ハ前條ニ定タル過料ニ之ヲ準用ス

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（此期日ハ明治三十八年六月勅令第百八十六號ヲ以テ明治三十八年七月一日ト指定シタリ）

鐵道抵當法施行規則（明治三十八年五月遞信省令第三十七號）

鐵道抵當法施行規則左ノ通定ム

鐵道抵當法施行規則

第一條 鐵道抵當權設定ノ認可申請書ニハ左ノ事項ヲ記載シ會社ノ取締役之ニ署名捺印シテ差出スヘシ

一 抵當負債ヲ要スル事由

二 舊債償還ニ關スル場合ニ於テハ其ノ整理ニ要スル期間

第二條 鐵道抵當權設定ノ認可申請書ニハ抵當證書又ハ信託證書及鐵道財團目錄ノ外尙ホ左ノ書類ヲ添附スヘシ

一 抵當證書又ハ信託證書ノ謄本

二 株主總會ノ議事及決議ノ要領書

三 最終ノ貸借對照表

四 元利支拂ノ豫算

五 株金總額及拂込額ノ登記抄本

六 私設鐵道法ニ依リ認可ヲ受ケテ爲シタル鐵道及之ニ屬スル物件抵當ノ負債アルトキハ其ノ總額及償還ヲ了ヘサル金額ノ登記抄本

七 前ニ私設鐵道法ニ依リ認可ヲ受ケ社債ヲ募集シタルトキハ其ノ總額及償還ヲ了ヘサル金額ノ登記抄本

前項ニ依リ差出シタル抵當證書又ハ信託證書ハ抵當權設定ノ認可アリタルトキハ認可ノ證明ヲ附シテ之ヲ還付ス

第三條 鐵道抵當權設定ノ認可申請前會社ノ申請ニ因リ豫メ鐵道財團ノ公告ヲ爲シタル場合ニ於

鐵道抵當法第八條ニ依リ鐵道財團目錄ヲ差出シタルモノニ付テハ鐵道抵當權設定ノ認可申請書ニ鐵道財團目錄ヲ添付スルコトヲ要セス

第四條 第二以下ノ順位ノ抵當權設定ヲ認可申請書ニハ抵當權者ニ對スル催告ノ始末書及催告アリタルコトヲ證スル書面又ハ抵當權者ノ同意アリタルコトヲ證スル書面ヲ添付スヘシ

前條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五條 第一條第一號及第二號第三條第二項第四號ニ記載セル事項ヲ變更セントスルトキハ認可申請書ニ於テ變更ノ事項、株主總會ノ決議ヲ要スルモノニ係ルトキハ認可申請書ニ株主總會ノ議事及決議ノ要領書ヲ添付スルコトヲ要ス

第六條 抵當證書又ハ信託證書ニ記載シタル事項變更ノ認可申請書ニハ契約證書及其ノ謄本ヲ添付シ會社ノ取締役之ニ署名捺印スヘシ

第二條第二項及前條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

抵當證書又ハ信託證書ニ記載シタル事項ノ變更ニシテ契約ニ基カサル場合ニ於テハ變更ノ事由並年月日ヲ記載シ利害關係人署名捺印シテ届出ツベシ

第七條 鐵道抵當權設定ノ認可申請前ニ於ケル鐵道財團公告ノ申請書ニハ抵當負債ヲ要スル事由及其ノ總額ヲ記載シ會社ノ取締役之ニ署名捺印シテ差出スヘシ

前項ノ申請書ニハ鐵道財團目錄ノ外第二條第一項第三號及第四號ニ掲クル書類ヲ添付スヘシ

第八條 鐵道抵當法第二十六條ノ場合ニ於テ其ノ債務ニ付據置年限經過後ニ於ケル辨濟期ニ關シ特約アルモノキハ抵當權設定後二十箇年ニ滿ツル迄其ノ特約ニ依ルモノトス

第九條 鐵道抵當原簿ハ別記第一號様式ニ依リ之ヲ調製スヘシ

第十條 鐵道財團目錄ハ別記第二號様式ニ依リ之ヲ調製スヘシ

第十一條 鐵道財團目錄ニハ其ノ枚數ヲ表紙ノ裏面ニ記載シ會社ノ取締役之ニ署名捺印シ且毎葉ノ綴目ニ契印ヲ爲スコトヲ要ス

第十二條 鐵道財團目錄ニ記載シタル事項ノ變更又ハ消滅ノ届書ニハ變更又ハ消滅ノ事由ヲ記載シ會社ノ取締役之ニ署名捺印スヘシ

前項ノ届書ハ鐵道財團目錄ノ様式ニ依リ掲ヘキ事項ヲ記載シ目錄ノ部門及舊事項ヲ附記スヘシ

保線ニ要スル材料ニ付テハ決算期ニ於テ之ヲ調査シ爲シ變更又ハ消滅ノ届出ヲ爲スヘシ

第十三條 鐵道抵當權設定ノ登錄申請書ニハ左ノ事項ヲ記載シ債權者及會社ノ取締役之ニ署名捺印シ正本一通副本二通ヲ差出スヘシ

一 鐵道財團ニ關スル線路ノ表示

二 抵當權者、債務者及鐵道財團ノ所有者ノ名稱及住所

三 抵當權者ノ順位

四 債權額及償還ノ方法並期限

五 利率及利息支拂ノ方法並期限

六 免許ニ附シタル條件

七 抵當權ヲ設定シタルコト

八 抵當權設定認可シ年月日

九 登錄稅額

第十四條 登錄ハ申請書受附ノ順序ニ依リテ之ヲ爲ス
第十五條 登錄申請書其ノ他ノ書面ノ受領證ニハ受附ノ年月日及受附番號ヲ記載シ之ヲ申請者ニ交付スヘシ

前項ノ受領證ハ登錄済證ヲ交付スルトキハ之ヲ還納セシムヘシ

第十六條 第十三條ノ規定ハ登錄シタル事項ノ變更又ハ消滅ノ登錄申請ノ場合ニ之ヲ準用ス

第十七條 登錄ヲ完了シタルトキハ其ノ旨ヲ申請者ニ通知シ登錄申請書ノ副本ニ登錄済ノ旨ヲ記載シ印ヲ捺捺シテ之ヲ申請者ニ還付スヘシ

第十八條 登錄ヲ完了シタル後其ノ登錄ニ付錯誤又ハ遺漏ノ訂正ヲ申請スル場合ニ於テ登錄上利害ノ關係ヲ有スルモノアルトキハ申請書ニ署名捺印シ又ハ其ノ承諾書若ハ之ニ對抗スルコトヲ得ヘキ書類ヲ添付スヘシ

第十九條 鐵道抵當原簿ノ原本又ハ抄本ノ交付又ハ鐵道抵當原簿若ハ鐵道財團目錄ノ閱覽ヲ請求スル者ハ申請書ニ署名捺印シテ之ヲ差出スヘシ但シ抄本ヲ請求スル場合ニ於テハ抄本ノ交付ヲ請求スル部分ヲ記載スヘシ

第二十條 鐵道抵當原簿ノ原本又ハ抄本ノ交付ヲ請求スル者ハ其ノ用紙一枚ニ付手数料金十錢ヲ納ムヘシ但シ一枚ニ滿タサルモノト雖モ仍ホ之ヲ一枚ニ計算ス

手数料ハ收入印紙ヲ以テ申請書ニ貼附シテ之ヲ納ムヘシ

第二十一條 鐵道抵當法第二十條ニ依ル裁定申請書ニハ左ノ事項ヲ記載シ正副二通ヲ差出スヘシ

- 一 申請者及對手人ノ名稱、住所
- 二 裁定事件ノ表示

三 申請ノ要旨及理由

第二十二條 前條ノ申請書ヲ受取リタルトキハ其ノ副本ヲ對手人ニ送付シ相當ノ期限ヲ指定シ答辯書ヲ差出サシムヘシ但シ裁定申請方其ノ理由ヲ示シ認ムルトキハ此限ニ在ラス

必要ト認ムルキハ期限ヲ附シテ更ニ申請者、對手人ヨリ辯駁書、答辯書ヲ差出サシムルヲ得

- 第二十三條 答辯書又ハ辯駁書ニハ左ノ事項ヲ記載シ二通ヲ差出スヘシ
- 一 申請者及對手人ノ名稱、住所
- 二 裁定事件ノ表示
- 三 答辯又ハ辯駁ノ要旨及理由

第二十四條 必要ト認ムルトキ又ハ當事者一方ノ申立アルトキハ口頭審理ヲ爲スコトヲ得

第二十五條 裁定申請者若ハ對手人期間内ニ答辯書若ハ辯駁書ヲ差出ササルトキ又ハ指定ノ審理期日ニ出頭セザルトキハ相手方ノ意見ヲ聞キ裁定ヲ爲スコトヲ得

第二十六條 第二十一條乃至第二十五條ノ規定ハ管理人ノ計算報告書ニ對スル異議ノ裁定ニ之ヲ準用ス

第二十七條 執行方アル正本付與ノ申請書ニハ左ノ事項ヲ記載シ申請者署名捺印シ抵當證書又ハ

信託證書及之ニ記載ノ事項ヲ變更シタル契約書ヲ添附シテ之ヲ差出スヘシ

- 一 債務者及鐵道財團所有者ノ名稱及住所
- 二 強制執行ヲ要スル事由

第二十八條 管理人推薦ノ申立書ニハ左ノ事項ヲ記載シ申立人之ニ署名捺印スヘシ

- 一 管理人タルヘキ者ノ名稱及住所

二 管理人タルニ適當ト認メタル事由及經歷
第二十九條 競落人ニ於テ會社設立ノ行爲ニ著手シタルトキハ一週間内ニ假定款ヲ添付シ其ノ旨ヲ届出ツヘシ

附則

第三十條 本規則ハ鐵道抵當法施行ノ日ヨリ施行ス

(別記ハ之ヲ略ス)

軌道ノ抵當ニ關スル件

(明治四十二年四月法律第二十八號)

朕帝國議會ノ協贊ヲ經テ軌道ノ抵當ニ關スル法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

第一條 軌道ノ抵當ニ關シテハ本法ニ別段ノ規定アルモノヲ除ク外鐵道抵當法ヲ準用ス

第二條 軌道財團ハ左ニ掲ケルモノニシテ軌道財團ノ所有者ニ屬スルモノヲ以テ之ヲ組成ス

一 軌道線路、其ノ他ノ軌道用地及其ノ上ニ存スル工作物並之ニ屬スル器具機械

二 工場、倉庫、廠舎、發電所、變壓所、配電所、事務所、舍宅其ノ他工事又ハ運輸ニ要スル建物及其ノ敷地並之ニ屬スル器具機械

三 用水ニ關スル工作物及其敷地並之ニ屬スル器具機械

四 軌道用通信、信號又ハ送電ニ要スル工作物及其敷地並之ニ屬スル器具機械

五 前四號ニ掲ケタル工作物ヲ所有シ又ハ使用スル爲他人ノ不動産ノ上ニ存スル地上權、登記シタル貸借權及前四號ニ掲ケタル土地ノ爲ニ存スル地役權

六 車輛及馬匹並之ニ屬スル器具機械

七 保線其ノ他ノ修繕ニ要スル材料及器具機械

軌道營業者カ軌道ニ要スル電氣ノ餘力ヲ以テ電氣供給ノ業ヲ營ム場合ニ於テハ其ノ供給ノ爲要スル第二號乃至第五號及第七號ニ掲ケタルモノヲ軌道財團ニ屬セシムルコトヲ得

第三條 公共團體カ軌道及附屬物件ヲ買上ケタル場合ニ於テハ鐵道抵當法第二十六條ノ規定ヲ準用ス

特許ニ附シタル條件ニ依リ軌道財團ニ屬スルモノヲ無償ニテ國又ハ公共團體ニ引渡スヘキトキハ其ノ財團ヲ目的トスル抵當權ハ消滅ス

第四條 軌道營業者カ株式會社ニ非サル場合ニ於ケル軌道ノ抵當ニ關シテハ勅令ノ定ムル所ニ依ル

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

軌道抵當取扱規則

(明治四十二年七月閣令第六號)

軌道抵當取扱規則左ノ通定ム

第一條 軌道抵當ノ取扱ニ關シテハ鐵道抵當法施行規則ヲ準用ス

第二條 抵當權ノ設定若ハ變更又ハ抵當證書若ハ信託證書ニ記載セル事項ノ變更ニ關スル書類ハ内閣總理大臣及內務大臣宛トシ地方長官ヲ經由シテ之ヲ差出スヘシ但シ動力ニ電氣ヲ使用スル場合ニ於テハ内閣總理大臣、內務大臣及逓信大臣宛トス

第三條 左ノ書類ハ鐵道抵當法施行規則第二條第一項第六號及第七號ノ書類ニ代ハルモノトス
一 物件擔保ノ負債アルトキハ其ノ總額及償還ヲ了ヘサル金額ノ登記抄本又ハ證明書

二 前ニ社債ヲ募集シタルトキハ其ノ總額及償還ヲ了ヘサル金額ノ登記抄本
 第四條 軌道財團ニ關スル公告ノ申請書、抵當權ノ登録ニ關スル申請書及軌道財團目錄ニ關スル書類ハ内閣總理大臣宛トシ之ヲ差出スヘシ
 第五條 馬匹及電氣供給ノ爲要スルモノノ財團目錄ハ別記様式ニ依リ之ヲ調製スヘシ
 第六條 馬匹、保線其他ノ修繕ニ要スル材料ノ變更又ハ消滅ノ届出ハ決算期ニ於テ之ヲ爲スヘシ
 第七條 執行力アル正本付與ノ申請書ハ内閣總理大臣宛トシ之ヲ差出スヘシ
 第八條 競落人ニ依リテ發起セラレタル會社又ハ競落人タル會社ヨリ差出ス特許及許可ノ申請書ハ内閣總理大臣及内務大臣宛トシ地方長官ヲ經由スヘシ
 第九條 裁定申請書、管理人推薦ノ申立書、計算報告書及配當報告書ハ内閣總理大臣及内務大臣宛トシ之ヲ差出スヘシ
 第二條但書ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス
 第九條 裁定申請書、管理人推薦ノ申立書、計算報告書及配當報告書ハ内閣總理大臣及内務大臣宛トシ之ヲ差出スヘシ
 第二條但書ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

附則

本令ハ明治四十二年法律第二十八號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス
 (別記ハ之ヲ畧ス)

第十章 債權

第一節 讓渡

神社寺院寺廟等ノ財産ノ賣渡交換其他處分ヲ爲サン

トスル時ノ手續

(明治三十八年十一月臺灣總督府令第八十四號)

神社(臺灣神社ヲ除ク)寺院又ハ本島ノ舊慣ニ依ル寺廟等ノ所屬財産ヲ賣渡、讓與、交換又ハ其ノ他ノ處分ヲ爲シ或ハ之ヲ擔保ノ目的ニ供セントスルトキハ氏子、檀家又ハ信徒總代二名以上連署ノ上、神職、住職又ハ管理人ヨリ願出臺灣總督ノ許可ヲ受クヘシ
 明治三十一年八月臺灣縣令第九條ハ之ヲ廢止ス

第二節 貸借

社寺ノ負債ハ氏子檀家ノ連署必要

(明治十年五月布告第四十三號)

神社並寺院ニ於テ其ノ社寺ノ爲メ金穀ヲ借入ルルトキ若クハ金穀ヲ借入ルル爲メ社寺附地所(除稅地ヲ除クノ外)建物什器(寶物古文書類ヲ除クノ外)等ヲ抵當ト爲ストキハ必ス氏子檀家ト協議シ總代二名以上ノ連署ヲ要スヘシ若シ此ノ連署ナキトキハ總テ該社寺神官僧侶ノ私債ト看做シ縱令右ノ抵當アルモ其效ナキモノト爲スヘシ此旨布告候事

土地貸借ノ期間ニ關スル件

(明治二十三年一月律令第二號)

臺灣總督府評議會ノ議決ヲ經タル土地貸借ノ期間ニ關スル律令勅裁ヲ得テ茲ニ之ヲ發布ス
 土地貸借ノ期間ハ貸借ハ二十年其他ノモノハ百年ノ期間ヲ超ユルコトヲ得ス

前項ノ期間ヨリ長キ期間ヲ定メタルトキハ之ヲ前項ノ期間ニ短縮ス
附則
本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

利息制限法 (明治十年九月布告第六十六號)

利息制限法左之通相定候條此旨布告候事

- 第一條 凡ソ金銀貸借上ノ利息ヲ分テ契約上ノ利息ト法律上ノ利息トス
- 第二條 契約上ノ利息トハ人民相互ノ契約ヲ以テ定メ得ヘキ所ノ利息ニシテ元金百圓以下ハ一ケ年ニ付百分ノ二十(二割)百圓以上千圓以下百分ノ十五(一割五分)千圓以上百分ノ十二(一割二分)以下トス若シ此制限ヲ超過スル分ハ裁判上無効ノモノトシ各制限ニマテ引直サシムヘシ
- 第三條 (明治三十一年六月法律第十一號ヲ以テ民法施行ノ日ヨリ本條ヲ削ル)
- 第四條 第二條ニ依リ定限利息ノ外總テ人民相互ノ契約ヲ以テ禮金棹利等ノ名目ヲ用ル者アルトモ總テ裁判上無効ノ者トス
- 第五條 返還期限ヲ違フトキハ預債主ニ對シ若干ノ償金罰金違約金料等ヲ差出スヘキコトヲ約定スルコトアルモ概シテ損害ノ補償ト看做シ裁判官ニ於テ該債主ノ事實受ケタル損害ノ補償ニ不當ナリト思量スルトキハ之レニ相當ノ減少ヲ爲スコトヲ得

利息制限規則 (明治三十七年二月十八日律令第二號)

臺灣總督府評議會ノ議決ヲ經タル利息制限規則勅裁ヲ得テ茲ニ之ヲ發布ス

利息制限規則

- 第一條 金錢貸借ニ關スル契約ノ利息ハ左ノ制限ニ依ル
 - 一 元金百圓未満 年三割以下
 - 但シ質屋營業者ノ質物元金五十圓以下ノ利息ヲ除ク
 - 一 元金百圓以上千圓未満 年二割五分以下
 - 一 元金千圓以上 年二割以下
- 若此ノ制限ヲ超過シタルトキハ其ノ超過部分ヲ無効トス
- 第二條 禮金、割引、手数料、引去金、借替金其ノ他何等ノ名義ヲ以テスルニ抱ラス利息ト認ムヘキ給付ヲ受クルノ契約ハ之ヲ利息ト看做ス

附則

本令ハ明治三十七年二月二十日ヨリ施行ス

第三節 辨濟

臺灣島人及清國人ニ民法中適用 (明治十年十月律令第八號)

本島人及清國人、民法中適用ニ關スル件明治三十九年法律第三十一號第一條及第二條ニ依リ勅裁ヲ得テ茲ニ之ヲ發布ス
債務ノ辨濟ニ關シテハ本島人及清國人ノミノ間ニモ民法第四百九十四條乃至第四百九十八條ノ規定ニ依ル

附則
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第四節 確定日附

確定日附簿及日附アル印章調製方

(明治三十一年七月司法省令第七號)

確定日附簿及日附アル印章調製方左ノ通相定ム

第一條 登記所及ヒ公證人役場ニ備フヘキ確定日附簿及日附アル印章ハ左記雜形ニ依リ之ヲ調製スヘシ

第二條 登記所ニ備フヘキ確定日附簿ハ地方裁判所ニ於テ之ヲ調製シ登記所ノ請求ニ因リテ之ヲ渡スヘシ

第三條 公證人ニ於テ確定日附簿ヲ調製シタトキハ記入前管轄地方裁判所長ニ差出シ其契印ヲ請フヘシ

確定日附簿

紙數表紙ヲ除キ 枚

地方裁判所長

<p>第一號</p> <p>署名者ノ氏名</p> <p>件名</p>	<p>日附アル印章及ヒ割印</p>	<p>第三號</p> <p>署名者ノ氏名</p> <p>件名</p>	<p>日附アル印章及ヒ割印</p>
<p>第二號</p> <p>署名者ノ氏名</p> <p>件名</p>	<p>日附アル印章及ヒ割印</p>	<p>第四號</p> <p>署名者ノ氏名</p> <p>件名</p>	<p>日附アル印章及ヒ割印</p>

日附アル印章及割印		日附アル印章及割印		日附アル印章及割印		日附アル印章及割印	
第七號		第七號		第六號		第六號	
署名者ノ氏名	件名	署名者ノ氏名	件名	署名者ノ氏名	件名	署名者ノ氏名	件名
第八條		第八條		第八條		第八條	
署名者ノ氏名	件名	署名者ノ氏名	件名	署名者ノ氏名	件名	署名者ノ氏名	件名

日附アル印章雛形

一丁

私署證書ニ確定日附ヲ附スルコトヲ登記所ニ請求スル場合ニ於ケル手数料ニ關スル件

(明治四十二年司法省令第十六號)

私署證書ニ確定日附ヲ附スルコトヲ登記所ニ請求スル者ノ納ムル手数料ニ關スル件左ノ通相定ム私署證書ニ確定日附ヲ附スルコトヲ登記所ニ請求スル者ハ每一件ニ付手数料三十錢ヲ納ムヘシ前項ノ手数料ハ收入印紙ヲ請求書ニ貼附シテ之ヲ納ムヘシ

附 則

本令ハ明治四十二年八月十六日ヨリ之ヲ施行ス
 明治三十一年司法省令第十一號ハ之ヲ廢止ス



外圓徑 一寸
 内圓徑 六分



外圓徑 一寸
 内圓徑 六分

確定日附簿及日附アル印章調製方

(明治三十一年八月臺灣總督府令第七十四號)

確定日附簿及日附アル印章調製ハ明治三十一年(七月)司法省令第七號確定日附簿及日附アル印章調製方ニ依ル

〔參照〕

明治三十一年七月司法省令第七號ハ確定日附簿及日附アル印章調製方ナリ(前出)

私署證書ニ確定日附ヲ附スル事ヲ請求スル手数料

(明治三十一年八月臺灣總督府令第七十五號)

私署證書ニ確定日附ヲ附スルコトヲ請求スル者ハ每一件ニ付手数料金五十金ヲ納ムヘシ

第十一章 人事

第一節 戸主

戸主ニ非サル者爵ヲ授ケラレタル場合ニ關スル件

(明治三十八年三月法律第六十二號)

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル戸主ニ非サル者爵ヲ授ケラレタル場合ニ關スル法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

第一條 戸主ニ非サル者方爵ヲ授ケラレタルトキハ一家ヲ創立ス

民法中分家ニ關スル規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二條 前條ノ規定ニ依リ一家ヲ創立シタル者ハ授爵ノ日ヨリ十日内ニ左ノ諸件ヲ具シ辭令書ノ

謄本ヲ添ヘテ之ヲ届出ツヘシ

一 一家創立地

二 届出人カ家族タリシ家ノ戸主ノ氏名、族稱、職業、本籍地及其ノ戸主ト届出人トノ續柄

三 届出人ノ家ニ入ルヘキ者アルトキハ其ノ名、出生ノ年月日、職業及其ノ者ト届出人トノ續柄

四 届出人及其ノ家族ノ父母ノ氏名、職業、本籍地及父母ノ續柄

五 授爵ノ年月日

戸籍吏カ前項ノ届出ヲ受ケタルトキハ之ニ依リテ一家創立ノ身分登記ヲ爲スヘシ

本條ノ場合ニ於テハ戸籍法第百六十五條ノ届出ヲ爲スコトヲ要ス

第二節 婚姻

陸軍現役軍人婚姻條例

(明治三十七年二月勅令第四十五號)

朕陸軍現役軍人婚姻條例ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

陸軍現役軍人婚姻條例

第一條 陸軍現役軍人婚姻ヲ爲サムトスルトキハ將官同相當官ニ在リテハ陸軍大臣ノ奏請ニ依リ

勅許ヲ仰キ、上長官士官ニ在リテハ陸軍大臣、准士官以下ニ在リテハ所管長官ノ許可ヲ受ケヘシ

第二條 現役下士兵卒及諸生徒ハ婚姻ヲ爲スコトヲ許サス但シ滿六年以上服役ノ者ハ此ノ限ニ在

ラス

第三條 現役軍人婚姻ノ許可ヲ受ケムトスルトキハ所屬部隊長ヲ經テ出願スヘシ

部隊長前項ノ願出ヲ受ケタルトキハ其ノ配偶者ト爲ルヘキ者ノ身元、教育、性行、資産、其ノ他婚

姻ノ許可ニ付キ參考トナルヘキ事項ヲ調査シ意見ヲ附シ順序ヲ經テ進達スヘシ

附則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

陸軍武官婚姻條例ハ之ヲ廢止ス

陸軍現役軍人婚姻出願及許可手續

(明治三十七年二月陸軍省達第三十六號)

陸軍現役軍人婚姻出願及許可手續左ノ通定ム

第一條 陸軍現役軍人婚姻條例ニ依リ婚姻ノ許可ヲ受ケントスルトキハ婚姻願書(第一號書式)ニ通テ差出スヘシ

第二條 部隊長前條ノ願書ヲ受ケタルトキハ身元調書(第二號書式)ヲ添ヘ之ヲ進達スヘシ

第三條 陸軍大臣又ハ所管長官婚姻ヲ許可シタルトキハ婚姻願書ニ許可ノ旨ヲ記入シ部隊長ヲ經テ之ヲ本人ニ下付スルモノトス

第一號書式(料紙美濃紙)

婚姻願

府(縣)市(郡)區町(村)(字)(番地)

族籍職業

氏名何女(姉妹)

名

年月日生

右之者ト婚姻致度候間御許可被下度此段願上候也(將官同相當官ニ在リテハ「御許可」以下ヲ「勅許」ノ儀執奏相成度候也)トス

年月

陸軍大臣(所管長官)宛

〔注意〕 以下指令ヲ受クヘキ餘白ヲ存スヘシ

第二號書式(料紙美濃紙)

身元調書

所管(部隊)

官

氏

府(縣)族籍職業

氏名何女(姉妹)

名

一 教育ノ程度

二 平素ノ行狀

三 資産ノ狀況

四 父母(養父母トモ)ノ身分職業

五 實家(養家トモ)生計ノ概況

六 其ノ他婚姻ノ許可ニツキ參考トナルヘキ事項

〔注意〕 前諸項ハ部隊長適宜ノ方法ヲ以テ調査シ其結果ヲ記載スヘシ

七 婚姻ノ可否ニ關スル意見

年月日

部隊長

氏

名圖

海軍現役軍人結婚條例

(明治四十一年七月勅令第百八十號)

朕海軍現役軍人結婚條例ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム
海軍現役軍人結婚條例

第一條 海軍現役軍人結婚ヲ爲サムトスルトキハ將官同相當官ニ在リテハ海軍大臣ノ奏請ニ依リ勅許ヲ仰キ、上長官士官准士官ニ在リテハ海軍大臣、下士卒ニ在リテハ在籍鎮守府司令長官ノ許可ヲ受クヘシ

第二條 候補生及二等卒以下ハ結婚ヲ許サス

第三條 配偶者タルヘキ婦人ハ品行端正ノ者タルヘシ

附則

海軍軍人結婚條例ハ之ヲ廢止ス

同 施行細則

(明治四十一年七月海軍省令第六號)

海軍現役軍人結婚條例施行細則左ノ通定ム

海軍現役軍人結婚條例施行細則

第一條 海軍現役軍人結婚條例ニ依リ結婚ノ許可ヲ受ケントスルトキハ結婚願書(第一號書式)ニ配偶者タルヘキ婦人ノ身分證明書(第二號書式)及戶籍抄本(戶籍吏ノ作リタルモノ)ヲ添ヘ將官同相當官ニ在テハ直接海軍大臣ニ上長官士官准士官ニ在テハ順序ヲ經テ海軍大臣ニ下士卒ニ在テハ所轄長ヲ經テ在籍鎮守府司令長官ニ差出スヘシ

第二條 所管長官又ハ所轄長前條ノ願書ヲ受ケタルトキハ之ニ可否ノ意見ヲ附シ進達スヘシ
第三條 結婚ノ許可ヲ得タル者ハ戶籍上ノ手續ヲ爲シタル後准士官以上ニ在テハ其ノ旨ヲ海軍大臣ニ届出テ下士卒ニ在テハ海軍下士卒服役條例ニ依リ兵籍上異動ノ届出ヲ爲スヘシ
(第一號書式)

明治 年 月 日

官(職) 氏 名印

海軍大臣宛

(鎮守府司令長官宛)

結婚ノ件

府(縣)市區(郡)町(村)(字)番地

族籍職業氏名何女(姊妹等)

名

年 月 日生

右ノ者ト結婚致度ニ付御許可相成度候也

〔注意〕 將官同相當官ニ在テハ本文ノ(御許可)ヲ(勅許ノ義執奏)ニ作ル

(第二號書式)

身分證明書

府(縣)市區(郡)町(村)(字)番地
族籍職業氏名何女(姊妹等)

右品行端正ノ者ナルコトヲ證明ス

明治 年 月 日

府(縣)市區(郡)町(村)長 氏

名印

第三節 後見

教育所ニ在ル孤兒ノ後見職務ニ關スル件

(明治三十三年三月法律第五十一號)

朕帝國議會ノ協賛ヲ經タル教育所ニ在ル孤兒ノ後見職務ニ關スル法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

第一條 公設ノ教育所ニ在ル未成年ノ孤兒ニ付テハ其ノ所長後見人ノ職務ヲ行フ

私設ノ教育所ニ在ル未成年ノ孤兒ニ付テハ其ノ教育所所在地ノ地方長官ニ於テ後見人ノ職務ヲ行フヘキ者ヲ指定ス

第二條 前條ニ依ル後見人ノ職務執行ニ關シテハ勅令ヲ以テ別段ノ規定ヲ設クルコトヲ得

第三條 教育所ニ在ル未成年者ニシテ孤兒ニ非サル者ト雖本法ノ規定ヲ準用スヘキモノハ主務大臣之ヲ定ム

附則

本法ハ明治三十三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

教育所ニ在ル孤兒ノ後見職務執行ニ關スル特例ノ件

(明治三十三年四月勅令第四百四十四號)

朕教育所ニ在ル孤兒ノ後見職務執行ニ關スル特例ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

第一條 教育所ニ在ル孤兒ニ關シ後見人ノ職務ヲ行フ者カ其ノ職務ヲ執行スルニ當リ親族會ノ同意ヲ要スル事項ハ公設ノ教育所ニ在リテハ之ヲ設立セル公共團體ノ行政廳、私設ノ教育所ニ在リテハ其ノ教育所所在地ノ市町村長ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス

第二條 後見人ノ職務執行ニ關シ後見監督人及親族會ニ屬スル職務權限ハ公設ノ教育所ニ在ル孤兒ノ後見ニ付テハ其ノ教育所ヲ設立セル公共團體ノ行政廳、私設ノ教育所ニ在ル孤兒ニ付テハ其ノ教育所所在地ノ市町村長ニ屬ス

第三條 主務大臣又ハ地方長官ハ孤兒ノ後見職務ニ關シ監督上必要ナル命令ヲ發スルコトヲ得

第四條 孤兒ニ非スシテ教育所ニ在ル未成年者ニ對シ後見人ノ職務ヲ行フヘキ場合ニ於テ其ノ者ノ父母ノ所在分明ナルトキハ身分ニ關スル事件ニ限リ其ノ父母ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第五條 本令ニ規定スル市町村長ノ職務ハ市制町村制ヲ施行セサル地ニ於テハ之ニ準スヘキ者之ヲ行フ

棄兒、迷兒、遺兒其他父又ハ母ニ於テ親權ヲ行ヒ難キ
情況ニ在ル未成年者ニシテ教育所ニ在ル者ノ後見ニ

關スル件

(明治三十三年三月內務省令第十一號)

棄兒、迷兒、遺兒其ノ他父又ハ母ニ於テ親權ヲ行ヒ難キ情況ニアル未成年者ニシテ教育所ニ在ルモ
ノノ後見ニ關シテハ孤兒ニ非サル者ト雖明治三十三年法律第五十一號ノ規定ヲ準用ス

第四節 遺言

民法第七十九條及第八十一條ノ規定ニ依ル遺言

ノ確認ニ關スル件 (明治三十三年二月法律第十三號)

朕帝國議會ノ協賛ヲ經タル民法第七十九條及第八十一條ノ規定ニ依ル遺言ノ確認ニ關スル法
律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

第一條 民法第七十九條ノ規定ニ依リ軍人軍屬ノ爲シタル遺言ノ確認ハ左ノ區別ニ從ヒ之ヲ請
求スヘシ

- 一 陸軍ニ在リテハ遺言當時遺言者ノ屬シタル陸軍官衙團隊ノ軍法會議ノ理事又ハ遺言ヲ爲シ
タル地ヲ管轄スル陸軍軍法會議ノ理事ニ請求スヘシ若其ノ軍法會議ノ設置ナク若ハ廢セラレ
タル場合ニ於テハ遺言者ノ住所地又ハ相續開始地ヲ管轄スル陸軍軍法會議ノ理事ニ請求スヘ
シ
- 二 海軍ニ在リテハ遺言當時遺言者ノ屬シタル海軍官衙團隊所在地又ハ其ノ附近ノ軍法會議ノ

主理ニ請求スヘシ若遺言ヲ爲シタル者カ艦船乗込員ナル場合ニ於テハ便宜海軍軍法會議ノ主
理ニ請求スヘシ

第二條 民法第八十一條本文ノ場合ニ該當スル遺言ノ確認ハ便宜海軍軍法會議ノ主理ニ請求ス
ヘシ

第三條 民事訴訟法裁判所職員ノ除斥人證鑑定ニ關スル規定非訟事件手續法第六條第八條第九條
第十一條第十二條第十四條第十七條乃至第十九條第三十二條第九條第二項ノ規定及民事訴訟
費用法ノ規定ハ本法ノ事件ニ之ヲ準用シ其ノ規定中裁判所及判事ニ屬スル職務ハ理事又ハ主理
之ヲ行ヒ書記ニ屬スル職務ハ餘事之ヲ行フ但シ上訴ニ關スル規定ハ準用ノ限ニ在ラス

第五節 年齡計算

年齡計算ニ關スル件

(明治三十五年十二月法律第五十號)

朕帝國議會ノ協賛ヲ經タル年齡計算ニ關スル法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム
年齡ハ出生ノ日ヨリ之ヲ起算ス

民法第四百十三條ノ規定ハ年齡ノ計算ニ之ヲ準用ス
明治六年第三十六號布告ハ之ヲ廢止ス

〔參照〕 明治六年(二月)第三十六號布告

自今年齡ヲ計算候儀幾年幾月ト可相數事

但舊曆申ノ儀ハ千支ヲ以テ一年トシ其生年ノ月數ハ本年ノ月數ト通算シ十二ヶ月ヲ以テ

一年ト可致事

同上法律ヲ臺灣ニ施行ノ件 (明治三十六年二月勅令第十四號)

朕明治三十五年法律第五十號ヲ臺灣ニ施行スルノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム
明治三十五年法律第五十號ハ之ヲ臺灣ニ施行ス

附則

本令ハ明治三十六年三月一日ヨリ之ヲ施行ス

第六節 不法行爲

失火ノ責任ニ關スル件 (明治三十二年三月法律第四十號)

朕帝國議會ノ協賛ヲ經タル失火ノ責任ニ關スル法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム
民法第七百九條ノ規定ハ失火ノ場合ニハ之ヲ適用セス但シ失火者ニ重大ナル過失アリタルトキハ此ノ限ニ在ラス

〔參照〕 法律第八十九號民法第一編第二編第三編

第七百九條 故意又ハ過失ニ因リテ他人ノ權利ヲ侵害シタル者ハ之ニ因リテ生シタル損害ヲ賠償スル責ニ任ス

第三編 競 賣

競賣法 (明治三十一年六月法律第十五號)

朕帝國議會ノ協賛ヲ經タル競賣法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

第一章 通 則

第一條 競賣ノ申込ハ他ノ高價競買ノ申込アリタルトキ又ハ競落ヲ爲サスシテ競賣ヲ終了シタルトキハ當然其效力ヲ失フ

第二條 競買人ハ競落ニ因リテ競賣ノ目的タル權利ヲ取得ス

競賣ノ目的ノ上ニ存スル先取特權及ヒ抵當權ハ競賣ニ因リテ消滅ス

競買人ハ留置權者、競買人ニ對シテ優先權ヲ有スル質權者及ヒ其質權者ニ對シテ優先權ヲ有スル債權者ニ辨濟スルニ非サレハ競賣ノ目的物ヲ受取ルコトヲ得ス

第二章 動産ノ競賣

第三條 動産ノ競賣ハ留置權者、先取特權者、質權者其他民法又ハ商法ノ規定ニ依リテ其競賣ヲ爲サントスル者ノ委任ニ因リテ競賣ヲ爲スヘキ地ノ區裁判所所屬ノ執達吏之ヲ爲ス
前項ノ委任ハ書面ニ依リテ之ヲ爲スコトヲ要ス

第四條 競賣ノ委任ヲ受ケタル執達吏ハ其競買人ト爲ルコトヲ得ス

債權者ノ委任ニ因リテ競賣ヲ爲ス場合ニ於テハ債務者ハ現金ヲ以テ代價ヲ提供スルニ非サレハ其競賣ノ申込ヲ爲スコトヲ得ス

第五條 競賣ハ競賣ニ付スヘキ物ノ所在地ニ於テ之ヲ爲ス但其地ニ於テ相當ノ代價ヲ得ル見込ナキトキハ他所ニ於テ之ヲ爲スコトヲ得

第六條 競賣ノ日時ハ執達吏カ其委任ヲ受ケタルトキ直チニ之ヲ定ムルコトヲ要ス但直チニ之ヲ定ムルコト能ハサル事情アルトキハ此限ニ在ラス

第七條 競賣ノ場所及ヒ日時ハ豫メ之ヲ公告スルコトヲ要ス

公告ハ競賣ニ付スヘキ物ノ品質及ヒ價格ニ準シ競賣地ニ於ケル適當ノ方法ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

公告ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

- 一 競賣委任者ノ氏名、住所
- 二 競賣ニ付スヘキ物ノ種類、數量及ヒ品質
- 三 競賣ノ條件ヲ定メタルトキハ其條件
- 四 競賣ノ場所及ヒ年月日時
- 五 競賣ノ委任ヲ受ケタル執達吏ノ氏名、住所

委任者カ競賣ノ條件ヲ定メサリシトキハ民事訴訟法第五百七十七條第三項ノ規定ヲ準用ス

第八條 競賣ノ場所及ヒ日時ハ競賣ニ付キ利害ノ關係ヲ有スル者ニ對シテ其通知ヲ發スルコトヲ要ス但通知ヲ受クヘキ者ノ住所又ハ居所カ知レサルトキハ此限ニ在ラス

第九條 公告ト競賣トノ間ニハ五日以上ノ期間ヲ存スルコトヲ要ス但競賣ニ付スヘキ物ニ關シ之ヨリ速ニ競賣ヲ爲スコトヲ要スル特別ノ事情アルトキハ此限ニ在ラス

第十條 高價品ノ競賣ハ鑑定人ヲシテ其評價ヲ爲サシメタル後之ヲ爲スコトヲ要ス

第十一條 金銀及ヒ金銀ノ製品ハ地金銀ノ相場以下ノ代價ヲ以テ之ヲ競賣スルコトヲ得ス
取引所ノ相場アル物ハ其相場以下ノ代價ヲ以テ之ヲ競賣スルコトヲ得ス

第十二條 前條ニ掲ケタル物ヲ競賣スル場合ニ於テ競賣ノ日ニ相當ナル競買ノ申込ナキトキハ執

達吏ハ金銀及ヒ金銀ノ製品ニ付テハ地金銀ノ相場以上ノ代價、取引所ノ相場アル物ニ付テハ競賣ノ日ノ相場以上ノ代價ヲ以テ任意ニ之ヲ賣却スルコトヲ得

第十三條 競賣ハ其條件ヲ告知シ各競買物ニ付キ競買ノ申込ヲ催告スルニ始マリ最高價競買ノ申込人ニ對シ競落ノ告知ヲ爲スニ因リテ終了ス

競落ノ告知ハ最高價競買ノ申込ヲ三回呼上ケタル後之ヲ爲ス

第十四條 執達吏ハ競賣調書ヲ作り之ニ左ノ事項ヲ記載シ署名、捺印スヘシ

- 一 競賣委任者ノ氏名、住所
- 二 競賣ニ付スヘキ物ノ種類、數量及ヒ品質
- 三 鑑定人ヲシテ評價ヲ爲サシメタルトキハ其評價額
- 四 競賣ノ場所及ヒ日時
- 五 第九條但書ノ事由アリタルトキハ其事由
- 六 利害ノ關係ヲ有スル者ニ通知ヲ發シタルコト若シ之ヲ發セサリシトキハ其事由
- 七 告知シタル競賣ノ條件
- 八 各競買物ニ對スル競落人ノ氏名及ヒ其申込價額
- 九 競賣ヲ停止シタルトキ又ハ競落ヲ爲ササリシトキハ其事由
- 十 競賣ノ開始及完結ノ日時
- 十一 競賣調書ヲ作りタル場所及ヒ年月日

競賣調書ニハ委任者又ハ其代理人ヲシテ署名、捺印セシメ且競賣ノ公告ヲ爲シ及ヒ通知ヲ發シ

タルコトヲ説スル書面及ヒ委任狀ヲ添附スルコトヲ要ス

第十五條 執達吏ハ委任者ノ請求ニ因リ競賣調書ノ謄本ヲ交付スルコトヲ要ス

ハ遲滞ナク之ヲ受取ルヘキ者ニ交付シ又ハ其者ノ爲メニ之ヲ供託スルコトヲ要ス

第十六條 執達吏ハ競賣ニ付キ正副二通ノ計算書ヲ作り其正本ハ計算ニ關スル證明書ト共ニ之ヲ委任者ニ交付シ其副本ハ之ヲ競賣調書ニ添附スヘシ

第十七條 競賣ニ付キ利害ノ關係ヲ有スル者ハ競賣ノ完結ニ至ルマテ其手續ニ關スル執達吏ノ處分ニ付キ其所屬區裁判所ニ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得

異議ノ裁判ハ申立人ニ之ヲ通知スヘシ此裁判ニ對シテハ不服ヲ申立ツルコトヲ得ス

第十八條 前條ノ規定ニ依リテ異議ノ申立アリタルトキハ裁判所ハ競賣ノ停止ヲ命スルコトヲ得但停止ニ因リテ著シキ損害ヲ生スル虞アルトキハ此限ニ在ラス

第十九條 第三者カ競賣ノ目的物ニ關シテ訴ヲ提起シタルコトヲ證明シタルトキハ執達吏ハ其競賣ヲ停止スルコトヲ要ス

物ノ保管ニ付キ過分ノ費用ヲ要スルトキ又ハ遲滞ノ爲メ著シク物ノ價格ヲ減少スル虞アルトキハ執達吏ハ競賣ヲ續行シテ賣得金ヲ供託スルコトヲ得

第二十條 第二條ノ規定ニ依リテ競賣ヲ停止シタル場合ニ於テハ執達吏ハ相當ノ方法ヲ以テ競賣ノ目的物ヲ保管スルコトヲ要ス此場合ニ於ケル競賣手續及ヒ保管ノ費用ハ委任者ノ負擔トス

第二十一條 競落ノ委任ハ競落ノ告知アルマテ之ヲ取消スコトヲ得

前項ノ場合ニ於ケル競賣手續ノ費用ハ委任者ノ負擔トス

第三章 不動産ノ競賣

第二十二條 不動産ノ競賣ハ留置權者、先取特權者、質權者、抵當權者其他民法ノ規定ニ依リテ競賣ヲ爲サントスル者ノ申立ニ因リ不動産所在地ノ區裁判所之ヲ爲ス

民事訴訟法第六百四十一條第一項ノ規定ハ競賣ヲ爲スヘキ裁判所ノ管轄ニ之ヲ準用ス

第二十三條 申立人ハ競落期日マテハ最高價競買申込人ノ同意アル場合ニ限り其申立ノ取下ヲ爲スコトヲ得

第二十四條 競賣ノ申立ハ書面ヲ提出シテ之ヲ爲スコトヲ要ス
申立書ニハ左ノ事項ヲ記載シ申立人又ハ其代理人之ニ署名、捺印スヘシ

一 債務者及ヒ所有者ノ氏名、住所
二 競賣ニ付スヘキ不動産ノ表示

三 競賣ノ原因タル事由
四 年月日
五 裁判所

申立書ニハ競賣ニ付スヘキ不動産ニ關スル登記簿ノ謄本及ヒ代理人ニ依リテ申立ヲ爲ストキハ其委任狀ヲ添附スルコトヲ要ス

民事訴訟法第六百四十三條第一項第二號乃至第五號第二項及ヒ第三項ノ規定ハ第一項ノ申立ニ之ヲ準用ス

第二十五條 競賣手續ノ開始ハ決定ヲ以テ之ヲ爲ス

開始決定ニハ申立人ノ氏名、住所及ヒ前條第二項第一號乃至第四號ニ掲ケタル事項ヲ記載シ決定ヲ爲シタル判事之ニ署名、捺印スヘシ

民事訴訟法第二百三十九條ノ規定開始ハ決定ニ之ヲ準用ス

第二十六條 裁判所ハ開始決定ヲ爲スト同時ニ職權ヲ以テ競賣ノ申立アリタルコトヲ競賣ニ付スヘキ不動産ニ關スル登記簿ニ登記スヘキ旨ヲ其管轄登記所ニ囑託スヘシ

民事訴訟法第六百五十一條第二項第六百五十二條及ヒ第六百五十三條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二十七條 裁判所カ開始決定ヲ爲シタルトキハ競賣期日及ヒ競落期日ヲ定メテ之ヲ公告スルコトヲ要ス

競賣ノ期日ハ競賣手續ノ利害關係人ニ之ヲ通知スルコトヲ要ス

左ニ記載シタル者ヲ利害關係人トス

- 一 申立人
- 二 債務者及ヒ所有者
- 三 登記簿ニ登記シタル不動産上ノ權利者
- 四 不動産上ノ權利者トシテ其權利ヲ證明シタル者

第二十八條 裁判所ハ鑑定人ヲシテ競賣ニ付スヘキ不動産ノ評價ヲ爲サシメ其評價額ヲ以テ最低競賣價額トナスヘシ

第二十九條 競賣期日ノ公告ニハ第二十二條ニ掲ケタル者ノ申立ニ因リテ競賣ヲ爲ス旨ノ外民事訴訟法第六百五十八條第一號乃至第三號第五號乃至第七號第九號及ヒ第十號ニ掲ケタル事項ヲ

記載スルコトヲ要ス

民事訴訟法第六百六十一條ノ規定ハ前項ノ公告ニ之ヲ準用ス

第三十條 競賣期日、其開始、競賣調書及ヒ競賣終局ノ告知ニ關スル民事訴訟法第六百五十九條第六百六十二條乃至第六百六十九條ノ規定ハ本章ノ競賣ニ之ヲ準用ス

第三十一條 競賣期日ニ相當ノ競買申込ナキトキハ裁判所ハ更ニ期日ヲ定メテ競賣ヲ爲スヘシ此場合ニ於テハ民事訴訟法第六百七十條ノ規定ヲ準用ス

第三十二條 競落期日ハ民事訴訟法第六百六十條ノ規定ニ從ヒ裁判所ニ於テ之ヲ開ク

競落ノ手續、競落ヲ許サル場合ノ新競賣期日、競賣ノ履行及ヒ競落人ノ義務不履行ノ場合ニ於ケル再競賣ニ關スル民事訴訟法第六百七十一條乃至第六百七十四條第六百七十六條乃至第六百八十三條第六百八十七條及ヒ第六百八十八條ノ規定ハ本章ノ競賣ニ之ヲ準用ス

第三十三條 競落人ハ競落ヲ許ス決定力確定シタル後直チニ代價ヲ裁判所ニ支拂フコトヲ要ス此場合ニ於テハ裁判所ハ其裁判ノ謄本ヲ添ヘ競落人カ取得シタル權利ノ移轉ノ登記ヲ管轄登記所ニ囑託スヘシ

裁判所ハ前項ノ代價ノ中ヨリ競賣ノ費用ヲ控除シ其殘金ハ遲滞ナク之ヲ受取ルヘキ者ニ交付スルコトヲ要ス

第三十四條 裁判所ハ競賣期日ノ公告ヲ爲ス前申立ニ依リ競賣ニ代ヘテ入札拂ヲ爲スヘシ此場合ニ於テハ民事訴訟法第七百三條乃至第七百五條ノ規定ニ依ル外本章ノ規定ヲ準用ス

第三十五條 競落ヲ爲サシテ競賣手續ヲ完結シタルトキハ裁判所ハ第二十六條ノ規定ニ依リテ爲シタル登記ノ抹消ヲ囑託スヘシ

第四章 船舶ノ競賣

第三十六條 登記シタル船舶ノ競賣ハ申立ニ因リ其當時ノ碇泊港又ハ船舶ノ現在地ヲ管轄スル區裁判所之ヲ爲ス

第三十七條 競賣ノ申立書ニハ船舶所有者或ハ船長ノ氏名、住所、船舶ノ表示及ヒ競賣ノ原因ヲ記載シ且船舶登記簿ノ謄本及ヒ官ノ認可ヲ要スル場合ニ於テハ其認可ヲ得タルコトヲ證スル點面ヲ添附スルコトヲ要ス

第三十八條 競賣期日ノ公告ニハ申立ニ因リテ競賣ヲ爲ス旨ノ外船舶ノ表示及ヒ其碇泊港又ハ現在入場所ヲ記載スルコトヲ要ス

第三十九條 前章ノ規定及ヒ民事訴訟法第七百十九條第七百二十條第二項第七百二十三條第七百二十五條ノ規定ハ船舶ノ競賣ニ之ヲ準用ス

第五章 増價競賣

第四十條 民法第三百八十四條ノ規定ニ依リテ抵當不動産ノ増價競賣ヲ請求スル債權者ハ第三取得者ニ競賣ノ請求ヲ送達シタル日ヨリ三日内ニ抵當不動産所在地ノ區裁判所ニ競賣ノ申立ヲ爲シ且擔保ノ認許ヲ求ムルコトヲ要ス

前項ノ規定ニ依ラザルニ競賣ノ請求ハ無効トス

第四十一條 競賣ノ申立書ニハ左ノ事項ヲ記載シ請求債權者之ニ署名、捺印スヘシ

- 一 債務者ノ氏名、住所
- 二 抵當不動産ノ表示
- 三 第三取得者及讓渡人ノ氏名、住所

四 擔保ノ表示

第五 第三取得者力提供シタル金額

第六 請求者決定メタル増價金額

七年 年月日

八 裁判所

申立書ニハ民法第三百八十三條ノ送達ヲ受ケタル日ヲ證スル書面ヲ添付スルコトヲ要ス

民事訴訟法第六百四十三條第一項第三號乃至第五號第二項及ヒ第三項ノ規定ハ本條ノ申立ニ之ヲ準用ス

第四十二條 裁判所ハ擔保ノ許否ニ付キ期日ヲ定メ決定ヲ以テ其裁判ヲ爲スヘシ
期日ニハ請求債權者及ヒ第三取得者ヲ呼出タスヘシ
擔保ノ裁判ニ對シテハ不服ヲ申立ツルコトヲ得ス

第四十三條 競賣ノ請求ハ擔保ヲ認許セザル裁判ニ因リテ當然其效力ヲ失フ
民法第三百八十四條ニ定メタル期間内ニ第三取得者ニ對シテ競賣ノ請求書ヲ送達シタル他ノ債權者ハ前項ノ裁判アリタル日ヨリ三日内ニ第四十條ノ申立ヲ爲スコトヲ得

第四十四條 裁判所力擔保ヲ認許シタルトキハ競賣手續ノ開始ノ決定ヲ爲スヘシ
決定ニハ認許シタル擔保ヲ表示シ且第四十一條第一項第一號乃至第三號第六號及ヒ第七號ニ掲ケタル事項ヲ記載スヘシ

第二十五條第三項第三項及ヒ第二十六條第一項ノ規定ハ本條ノ決定ニ之ヲ準用ス

第四十五條 第二十七條第二項及ヒ第二項ノ規定ハ増價競賣ニ之ヲ準用ス

左ニ記載シタル者ヲ利害關係人トス

一 競買請求者

二 債務者

三 第三取得者及ヒ讓渡人

四 登記簿ニ登記シタル不動産上ノ權利者

五 不動産上ノ權利者トシテ其權利ヲ證明シタル者

第四十六條 競買ノ公告ニハ增價競買ノ申立ニ因リテ競買ヲ爲ス旨及ヒ請求者ノ定メタル增價金額ノ外民事訴訟法第六百五十八條第一號乃至第三號第五號第七號第九號及ヒ第十號ニ掲ケタル事項ヲ記載スヘシ

第三十三條及ヒ民事訴訟法第六百五十九條乃至第六百六十九條第六百七十一條乃至第六百七十四條第六百七十六條乃至第六百八十三條第六百八十七條ノ規定ハ本章ノ競買及ヒ競落ノ手續ニ之ヲ準用ス

第四十七條 競買期日ニ請求債權者カ定メタル增價金額ニ達スル競買ノ申込ナキトキハ請求債權者ヲ以テ競落人トス

民事訴訟法第六百七十八條ノ規定ニ依リ最高競買人カ其競買ヲ取消シタルトキハ裁判所ハ更ニ競買期日及ヒ競落期日ヲ定メテ之ヲ公告スルコトヲ要ス

第四十八條 增價競買ノ擔保ハ競落代價ノ完済ニ因リテ其效力ヲ失フ

第四十九條 裁判所ハ競買請求者ノ申立ニ因リテ競買ニ代ヘテ入札拂ヲ爲スヘシ此場合ニ於テハ民事訴訟法第七百三條乃至第七百五條ノ規定ニ依ル外本章ノ規定ヲ準用ス

附則

第五十條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム(明治三十一年六月勅令第百二十三號ヲ以テ本法施行ノ期日ヲ同年七月十六日ト定ム)

第五十一條 明治二十三年法律第九十二號增價競買法ハ本法發布ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

土地抵當權アル外國人增價競買請求ノ件

(明治三十二年三月法律第六十七號)

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル外國人ノ抵當權ニ關スル法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

土地ノ抵當權者ナル外國人カ土地ノ所有權ヲ享有スルコトヲ得サル場合ニ於テ該外國人カ增價競買ヲ請求スルニハ若シ競買ニ於テ第三取得者カ提供シタル金額ヨリ十分ノ一以上高價ニ抵當不動産ヲ賣却スルコト能ハサルトキハ提供金額ニ十分ノ一ヲ加ヘタルモノト競落價額トノ差額ヲ賣却スヘキ旨ヲ附言スルコトヲ要ス(明治四十三年法律第五十一號ニテ令中改正)

第四編 登記

第一章 不動産登記

第一節 本則

不動産登記法

(明治三十二年二月法律第二十四號)

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル不動産登記法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

不動産登記法

第一章 總則

第一條 登記ハ左ニ掲ケタル不動産ニ關スル權利ノ設定、保存、移轉、變更、處分ノ制限又ハ消滅ニ付キ之ヲ爲ス

- 一 所有權
- 二 地上權
- 三 永小作權
- 四 地役權
- 五 先取特權
- 六 質權
- 七 抵當權
- 八 賃借權

第二條 假登記ハ左ノ場合ニ於テ之ヲ爲ス

一 登記ノ申請ニ必要ナル手續上ノ條件カ具備セサルトキ

二 前條ニ掲ケタル權利ノ設定、移轉、變更又ハ消滅ノ請求權ヲ保全セントスルトキ

第三條 豫告登記ハ登記原因ノ無効又ハ取消ニ因ル登記ノ抹消又ハ回復ノ訴ノ提起アリタル場合ニ於テ之ヲ爲ス但登記原因ノ取消ニ因ル訴ニ付テハ其取消ヲ以テ善意ノ第三者ニ對抗スルコトヲ得ル場合ニ限ル

第四條 詐欺又ハ強迫ニ因リテ登記ノ申請ヲ妨ケタル第三者ハ登記ノ欠缺ヲ主張スルコトヲ得ス

第五條 他人ノ爲メ登記ヲ申請スル義務アル者ハ其登記ノ欠缺ヲ主張スルコトヲ得ス但其登記ノ原因カ自己ノ登記ノ原因ノ後ニ發生シタルトキハ此限ニ在ラス

第六條 同一ノ不動産ニ關シテ登記シタル權利ノ順位ニ付キ法律ニ別段ノ定ナキトキハ其順位ハ登記ノ前後ニ依ル

登記ノ前後ニ依ル

登記ノ前後ハ登記用紙中同區ニ爲シタル登記ニ付テハ順位番號ニ依リ別區ニ爲シタル登記ニ付テハ受附番號ニ依ル

第七條 附記登記ノ順位ハ主登記ノ順位ニ依ル但附記登記同ノ順位ハ其前後ニ依ル

假登記ヲ爲シタル場合ニ於テハ本登記ノ順位ハ假登記ノ順位ニ依ル

第二章 登記所及ヒ登記官吏

第八條 登記スヘキ權利ノ目的タル不動産ノ所在地ヲ管轄スル區裁判所又ハ其出張所ヲ以テ管轄登記所トス

不動産カ數箇ノ登記所ノ管轄地ニ跨カルトキハ其各登記所ヲ併セテ管轄スル直近上級ノ裁判所ニ於テ申請ニ因リ管轄登記所ヲ指定ス

第九條 町村其他登記簿ヲ分設シタル區畫カ甲登記所ノ管轄ヨリ乙登記所ノ管轄ニ轉屬シタルトキハ甲登記所ハ其區畫ニ關スル登記簿及ヒ其附屬書類ヲ乙登記所ニ移送スルコトヲ要ス

一箇又ハ數箇ノ不動産ノ所在地カ甲登記所ノ管轄ヨリ乙登記所ノ管轄ニ轉屬シタルトキハ甲登記所ハ其不動産ニ關スル登記簿ノ謄本及ヒ附屬書類又ハ其謄本ヲ乙登記所ニ移送スルコトヲ要ス但登記簿ノ謄本ニハ抹消ニ係ラサル登記ノミヲ寫シ其不動産ノ登記用紙ヲ閉鎖スルコトヲ要ス

第十條 登記所ニ於テ其事務ヲ停止セサルコトヲ得ザル事故ノ生シタルトキハ司法大臣ハ期間ヲ定メテ其停止ヲ命スルコトヲ得

第十一條 登記所ハ土地ニ付キ左ニ掲ケタル事項ノ登記ヲ爲シタルトキハ遲滯ナク其旨ヲ土地臺帳所管廳ニ通知スルコトヲ要ス(三八年二月法三九號ニテ本項改正)

一 所有權ノ保存若クハ移轉

二 質權ノ設定、移轉若クハ消滅

三 百年ヨリ長キ存續期間ノ定アル地上權ノ設定、移轉若クハ消滅又ハ百年ヨリ長キ存續期間ヲ百年以下ニ變更シ若クハ百年以下ノ存續期間ヲ百年ヨリ長キ期間ニ變更シ又ハ存續期間ノ定ナキ地上權ニ百年ヨリ長キ期間ヲ定メ若クハ百年ヨリ長キ存續期間ノ定アル地上權ヲ存續期間ノ定ナキモノト爲シタルコト

土地臺帳所管廳ハ土地ノ分合、滅失、段別若クハ坪數ノ増減又ハ地目、字、番號ノ變更アリタルトキハ遲滯ナク其旨ヲ登記所ニ通知スルコトヲ要ス

第十二條 登記官吏ハ自己、其妻又ハ四親等内ノ親族カ申請人ナルトキハ其登記所ニ於テ登記ヲ受ケタル成年者ニシテ且登記官吏ノ妻又ハ四親等内ノ親族ニ非サル者二人以上ノ立會アルニ非サレハ登記ヲ爲スコトヲ得ス但親族ニ付テハ親族關係力止ミタル後亦同シ

前項ノ場合ニ於テハ登記官吏ハ調書ヲ作り立會人ト共ニ之ニ署名捺印スルコトヲ要ス

第十三條 登記官吏カ其職務ノ執行ニ付キ申請人其他ノ者ニ損害ヲ加ヘタルトキハ其損害力登記官吏ノ故意又ハ重大ナル過失ニ因リテ生シタル場合ニ限り之ヲ賠償スル責ニ任ス

第三章 登記ニ關スル帳簿

第十四條 登記簿ハ土地登記簿及ヒ建物登記簿ノ二種トス

各種ノ登記簿ハ市ニ付テハ從前ノ區畫ニ從ヒ別冊ト爲シ町村ニ付テハ町村毎ニ別冊ト爲ス但登記事件夥多ナル町村ニ付テハ大字其他從前ノ區畫ニ從ヒ別冊ト爲スコトヲ得

第十五條 登記簿ハ一筆ノ土地又ハ一棟ノ建物ニ付キ一用紙ヲ備フ

同一ノ登記所ノ管轄ニ屬スル不動産カ登記簿ヲ分設シタル數箇ノ區畫ニ跨ルトキハ其一箇ノ區畫ノ登記簿ニノミ其不動産ニ關スル用紙ヲ備フ

第十六條 土地登記簿ハ其一用紙ヲ登記番號欄、表題部及ヒ甲乙丙丁戊ノ五區ニ分チ尙ホ表題部ニ表示欄、表示番號欄ヲ設ケ各區ニ事項欄、順位番號欄ヲ設ケ

登記番號欄ニハ各土地ニ付キ登記簿ニ始メテ登記ヲ爲シタル順序ヲ記載ス

表示欄ニハ土地ノ表示ヲ爲シ及ヒ其變更ニ關スル事項ヲ記載シ表示番號欄ニハ表示欄ニ登記事項ヲ記載シタル順序ヲ記載ス

甲區事項欄ニハ所有權ニ關スル事項ヲ記載ス

乙區事項欄ニハ地上權、永小作權及ヒ此等ノ權利ヲ目的トスル他ノ權利ニ關スル事項ヲ記載ス

丙區事項欄ニハ地役權ニ關スル事項ヲ記載ス

丁區事項欄ニハ先取特權、質權及ヒ抵當權ニ關スル事項ヲ記載ス

戊區事項欄ニハ賃借權ニ關スル事項ヲ記載ス

順位番號欄ニハ事項欄ニ登記事項ヲ記載シタル順序ヲ記載ス

第十七條 建物登記簿ハ其一用紙ヲ登記番號欄、表題部及ヒ甲乙丙丁ノ四區ニ分チ尙ホ表題部ニ表示欄、表示番號欄ヲ設ケ各區ニ事項欄、順位番號欄ヲ設ケ

登記番號欄ニハ各建物ニ付キ登記簿ニ始メテ登記ヲ爲シタル順序ヲ記載ス

表示欄ニハ建物及ヒ附屬建物ノ表示ヲ爲シ及ヒ其變更ニ關スル事項ヲ記載シ表示番號欄ニハ表示欄ニ登記事項ヲ記載シタル順序ヲ記載ス

甲區事項欄ニハ所有權ニ關スル事項ヲ記載ス

乙區事項欄ニハ地役權ニ關スル事項ヲ記載ス
 丙區事項欄ニハ先取特權、質權及ヒ抵當權ニ關スル事項ヲ記載ス
 丁區事項欄ニハ賃借權ニ關スル事項ヲ記載ス
 順位番號欄ニハ事項ニ登記事項欄ヲ記載シタル順序ヲ記載ス
 第十八條 登記簿ニハ地方裁判所長其枚數ヲ表紙ノ裏面ニ記載シ職氏名ヲ署シ職印ヲ捺捺シ且毎葉ノ綴目ニ職印ヲ以テ契印ヲ爲スコトヲ要ス
 第十九條 土地登記簿及ヒ建物登記簿ニ付キ各其見出帳ヲ設ク
 第二十條 登記簿、見出帳、共同人名簿及ヒ圖面ハ永久ニ之ヲ保存スルコトヲ要ス
 申請書其他ノ附屬書類ハ申請書受附ノ日ヨリ十年間之ヲ保存スルコトヲ要ス
 第二十一條 何人ト雖モ手数料ヲ納付シテ登記簿ノ謄本又ハ抄本ノ交付ヲ請求シ又利害ノ關係アル部分ニ限リ登記簿又ハ其附屬書類ノ閱覽ヲ請求スルコトヲ得
 手数料ノ外郵送料ヲ納付シテ登記簿ノ謄本又ハ抄本ノ送付ヲ請求スルコトヲ得
 第二十二條 登記簿及ヒ其附屬書類ハ事變ヲ避クル爲メニスル場合ヲ除ク外登記所外ニ持出スコトヲ得ス但第二十條第二項ニ掲ケタル書類ニ付テハ裁判所又ハ豫審判事ノ命令又ハ囑託アリタルトキハ此限ニ在ラス
 第二十三條 登記簿ノ全部又ハ一部ヲ滅失シタル場合ニ於テハ司法大臣ハ三箇月ヨリ少カラサル期間ヲ定メ其期間内ニ登記ノ回復ヲ申請スル者ハ仍ホ其登記簿ニ於ケル順位ヲ有スヘキ旨ヲ告示スルコトヲ要ス
 第二十四條 登記簿及ヒ其附屬書類ノ滅失スル虞アルトキハ司法大臣ハ必要ナル處分ヲ命スルコトヲ得

第四章 登記手續

第一節 通則

第二十五條 登記ハ法律ニ別段ノ定アル場合ヲ除ク外當事者ノ申請又ハ官廳若クハ公署ノ囑託アルニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ得ス
 囑託ニ因ル登記ノ手續ニ付テハ法令ニ別段ノ定アル場合ヲ除ク外申請ニ因ル登記ニ關スル規定ヲ準用ス
 第二十六條 登記ハ登記權利者及ヒ登記義務者又ハ其代理人登記所ニ出頭シテ之ヲ申請スルコトヲ要ス
 第二十七條 判決又ハ相續ニ因ル登記ハ登記權利者ノミニテ之ヲ申請スルコトヲ得
 第二十八條 登記名義人ノ表示ノ變更ノ登記ハ登記名義人ノミニテ之ヲ申請スルコトヲ得
 第二十九條 官廳又ハ公署ノ公賣處分ニ因ル權利移轉ノ登記ハ登記權利者ノ請求ニ因リ其官廳又ハ公署ヨリ遲滞ナク囑託書ニ登記原因ヲ證スル書面ヲ添附シテ之ヲ登記所ニ囑託スルコトヲ要ス
 第三十條 官有不動産又ハ府縣、郡、市、町村若クハ區ノ所有ニ係ル不動産ニ關スル權利ニ付キ爲スヘキ登記ハ登記權利者ノ請求ニ因リ官廳若クハ公署ヨリ遲滞ナク囑託書ニ登記原因ヲ證スル書面ヲ添附シテ之ヲ登記所ニ囑託スルコトヲ要ス
 第三十一條 官廳カ不動産ニ關スル權利ヲ取得シタルトキハ其權利ニ付キ爲スヘキ登記ハ某官廳ヨリ遲滞ナク囑託書ニ登記原因ヲ證スル書面及ヒ登記義務者ノ承記書ヲ添附シテ之ヲ登記所ニ

囑託スルコトヲ要ス

官廳カ取得シタル不動産ニ關スル權利ノ變更又ハ處分ノ制限ニ付キ爲スヘキ登記ハ官廳カ登記權利者ナルトキハ職權ヲ以テ、登記義務者ナルトキハ登記權利者ノ請求ニ因リ官廳ヨリ遲滯ナク囑託書ニ登記原因ヲ證スル書面ヲ添附シテ之ヲ登記所ニ囑託スルコトヲ要ス但官廳カ登記權利者ナルトキハ登記義務者ノ承諾書ヲモ添附スルコトヲ要ス

官廳カ取得シタル不動産ニ關スル權利ノ消滅ノ登記ハ登記權利者ノ請求ニ因リ官廳ヨリ遲滯ナク囑託書ニ登記原因ヲ證スル書面ヲ添附シテ之ヲ登記所ニ囑託スルコトヲ要ス

第三十二條 假登記ハ次條ノ場合ヲ除ク外假登記權利者ノ申請ニ因リ其目的タル不動産ノ所在地ヲ管轄スル區裁判所ヨリ遲滯ナク囑託書ニ假處分命令ノ正本ヲ添附シテ之ヲ登記所ニ囑託スルコトヲ要ス

前項ノ假處分命令ハ假登記權利者カ假登記原因ヲ疏明シタルトキハ區裁判所之ヲ發スルコトヲ要ス

申請ヲ却下シタル決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得
前項ノ即時抗告ニ付テハ非訟事件手續法ノ規定ヲ準用ス

第三十三條 假登記ハ假登記義務者ノ承諾アルトキハ申請書ニ其承諾書ヲ添附シテ假登記權利者ヨリ之ヲ登記所ニ申請スルコトヲ得

第三十四條 豫告登記ハ第三條ニ掲ケタル訴ヲ受理シタル裁判所ヨリ職權ヲ以テ遲滯ナク囑託書ニ訴狀ノ謄本又ハ抄本ヲ添附シテ之ヲ登記所ニ囑託スルコトヲ要ス

第三十五條 登記ヲ申請スルニハ左ノ書面ヲ提出スルコトヲ要ス

一 申請書

二 登記原因ヲ證スル書面

三 登記義務者ノ權利ニ關スル登記濟證

四 登記原因ニ付キ第三者ノ許可、同意又ハ承諾ヲ要スルトキハ之ヲ證スル書面

五 代理人ニ依リテ登記ヲ申請スルトキハ其權限ヲ證スル書面

登記原因ヲ證スル書面カ執行力アル判決ナルトキハ前項第三號及ヒ第四號ニ掲ケタル書面ヲ提出スルコトヲ要セス

第三十六條 申請書ニハ左ノ事項ヲ記載シ申請人之ニ署名、捺印スルコトヲ要ス

一 不動産所在ノ郡、市、區、町村、字及ヒ土地ノ番號

二 地目及ヒ段別又ハ坪數

三 申請人ノ氏名、住所若シ申請人カ法人ナルトキハ其名稱及ヒ事務所

四 代理人ニ依リテ登記ヲ申請スルトキハ其氏名、住所

五 登記原因及ヒ其日附

六 登記ノ目的

七 登記所ノ表示

八 年月日

第三十七條 登記スヘキ權利ノ目的カ建物ナル場合ニ於テハ申請書ニ其種類、構造及ヒ建坪ヲ記載シ若シ建物ノ番號アルトキハ其番號ヲ記載シ附屬建物アルトキハ其種類、構造及ヒ建坪ヲ記載スルコトヲ要ス

第三十八條 登記原因ニ買戻ノ特約其他登記ノ目的タル權利ノ消滅ニ關スル事項ノ定アルトキハ申請書ニ其事項ヲ記載スルコトヲ要ス
第三十九條 登記權利者カ多數ナル場合ニ於テ登記原因ニ其持分ノ定アルトキハ申請書ニ其持分ヲ記載スルコトヲ要ス

第四十條 登記原因ヲ證スル書面カ初ヨリ存在セス又ハ之ヲ提出スルコト能ハサルトキハ申請書ノ副本ヲ提出スルコトヲ要ス

第四十一條 登記原因カ相續ナルトキハ申請書ニ相續ヲ證スル戸籍吏ノ書面又ハ之ヲ證スルニ足ルヘキ書面ヲ添附スルコトヲ要ス

第四十二條 申請人カ登記權利者又ハ登記義務者ノ相續人ナルトキハ申請書ニ其身分ヲ證スル戸籍吏ノ書面又ハ之ヲ證スルニ足ルヘキ書面ヲ添附スルコトヲ要ス

第四十三條 登記名義人ノ表示ノ變更ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ其表示ノ變更ヲ證スル戸籍吏ノ書面又ハ之ヲ證スルニ足ルヘキ書面ヲ添附スルコトヲ要ス

第四十四條 登記義務者ノ權利ニ關スル登記濟證力滅失シタルトキハ申請書ニ其登記所ニ於テ登記ヲ受ケタル成年者二人以上カ登記義務者ノ人違ナキコトヲ保證シタル書面ニ通テ添附スルコトヲ要ス

第四十五條 申請書ニ第三者ノ許可、同意又ハ承諾ヲ證スル書面ヲ添附スルコトヲ要スル場合ニ於テハ第三者ヲシテ申請書ニ署名、捺印セシメテ其書面ニ代フルコトヲ得

第四十六條 同一ノ登記所ノ管轄内ニ在ル數個ノ不動産ニ關スル登記ヲ申請スル場合ニ於テハ登記原因及ヒ登記ノ目的カ同一ナルトキニ限り同一ノ申請書ヲ以テ登記ヲ申請スルコトヲ得

第四十七條 登記官吏カ申請書ヲ受取りタルトキハ受附帳ニ登記ノ目的、申請人ノ氏名、受附ノ年月日及ヒ受附番號ヲ記載シ申請書ニ受附ノ年月日及ヒ受附番號ヲ記載スルコトヲ要ス但シ同一ノ不動産ニ關シテ同時ニ數個ノ申請アリタルトキハ同一ノ受附番號ヲ記載スルコトヲ要ス
申請書其他ノ書面ノ受領證ニハ受附ノ年月日及ヒ受附番號ヲ記載シ之ヲ申請人ニ交付スルコトヲ要ス

第四十八條 登記官吏ハ受附番號ノ順序ニ從ヒテ登記ヲ爲スコトヲ要ス
第四十九條 登記官吏ハ左ノ場合ニ限り理由ヲ附シタル決定ヲ以テ申請ヲ却下スルコトヲ要ス但申請ノ欠缺カ補正スルコトヲ得ヘキモノナル場合ニ於テ申請人カ即日ニ之ヲ補正シタルトキハ此限ニ在ラス

- 一 事件カ其登記所ノ管轄ニ屬セサルトキ
- 二 事件カ登記スヘキモノニ非サルトキ
- 三 當事者カ出頭セサルトキ
- 四 申請書カ方式ニ適合セサルトキ
- 五 申請書ニ掲ケタル不動産又ハ登記ノ目的タル權利ノ表示カ登記簿ト牴觸スルトキ
- 六 第四十二條ニ掲ケタル書面ヲ提出シタル場合ヲ除ク外申請書ニ掲ケタル登記義務者ノ表示カ登記簿ト符合セサルトキ
- 七 申請書ニ掲ケタル事項カ登記原因ヲ證スル書面ト符合セサルトキ
- 八 申請書ニ必要ナル書面又ハ圖面ヲ添附セサルトキ
- 九 登録稅ヲ納付セサルトキ

第五十條 表示欄ニ登記ヲ爲スニハ申請書受附ノ年月日、登記ノ目的其他申請書ニ掲ケタル事項ニシテ不動産ノ表示ニ關スルモノヲ記載シテ登記官吏捺印スルコトヲ要ス
 事項欄ニ登記ヲ爲スニハ申請書受附ノ年月日、受附番號、登記權利者ノ氏名、住所、登記原因、其日附、登記ノ目的其他申請書ニ掲ケタル事項ニシテ登記スヘキ權利ニ關スルモノヲ記載シテ登記官吏捺印スルコトヲ要ス

第五十一條 登記權利者カ多數ナルトキハ申請書ニ掲ケタル筆頭ノ者ノミノ氏名、住所及ヒ他ノ人員ヲ登記用紙ニ記載シ其氏名、住所ヲ共同人名簿ニ記載スルコトヲ得登記義務者ノ氏名、住所ヲ登記用紙ニ記載スルコトヲ要スル場合ニ於テ登記義務者カ多數ナルトキ亦同シ

第五十二條 表示欄ニ登記ヲ爲ストキハ表示番號欄ニ番號ヲ記載シ事項欄ニ登記ヲ爲ストキハ順位番號欄ニ番號ヲ記載スルコトヲ要ス

第五十三條 附記ニ依ル登記ノ順位番號ヲ記載スルニハ主登記ノ番號ヲ屆キ其番號ノ左側ニ附記何號ト記載スルコトヲ要ス

第五十四條 假登記ハ登記用紙中相當區事項欄ニ之ヲ爲シ其左側ニ餘白ヲ存スルコトヲ要ス

第五十五條 假登記ヲ爲シタル後本登記ノ申請アリタルトキハ假登記ノ左側ノ餘白ニ其登記ヲ爲スコトヲ要ス

第五十六條 權利ノ變更ノ登記ニ付キ登記上利害ノ關係ヲ有スル第三者アル場合ニ於テハ申請書ニ其承諾書又ハ之ニ對抗スルコトヲ得ヘキ裁判ノ謄本ヲ添附シタルトキニ限り附記ニ依リテ其登記ヲ爲ス

第五十七條 權利ノ變更ノ登記ヲ爲ストキハ變更シタル登記事項ヲ朱抹スルコトヲ要ス

第五十八條 登記名義人ノ表示ノ變更ノ登記ハ附記ニ依リテ之ヲ爲ス

前項ノ登記ヲ爲ストキハ前ノ表示ヲ朱抹スルコトヲ要ス

第五十九條 行政區畫又ハ其名稱ノ變更アリタルトキハ登記簿ニ記載シタル行政區畫又ハ其名稱ハ當然之ヲ變更シタルモノト看做ス

第六十條 登記官吏カ登記ヲ完了シタルトキハ登記原因ヲ證スル書面又ハ申請書ノ副本ニ登記番號、申請書受附ノ年月日、受附番號、順位番號及ヒ登記簿ノ旨ヲ記載シ登記所ノ印ヲ捺捺シテ之ヲ登記權利者ニ還付スルコトヲ要ス

申請書ニ添附シタル登記簿又ハ第四十四條ニ掲ケタル書面ノ一通ニハ申請書受附ノ年月日、受附番號、順位番號、登記權利者ノ氏名、住所、登記原因、其日附、登記ノ目的及ヒ登記簿ノ旨ヲ記載シ登記所ノ印ヲ捺捺シテ之ヲ登記義務者ニ還付スルコトヲ要ス但登記名義人カ多數ナル場合ニ於テ其一部カ登記義務者ナルトキハ登記義務者ノ氏名、住所ヲモ記載スルコトヲ要ス

前項ノ場合ニ於テ登記權利者又ハ登記義務者カ多數ナルトキハ申請書ニ掲ケタル筆頭ノ者ノ氏名、住所及ヒ他ノ人員ヲ記載スルヲ以テ足ル

第六十一條 第四十四條ノ場合ニ於テ登記官吏カ登記ヲ完了シタルトキハ不動産ノ表示、登記原因、其日附、登記權利者ノ氏名、住所、登記ノ目的及ヒ登記簿ノ旨ヲ登記義務者又ハ其一人ニ通知スルコトヲ要ス

第六十二條 官廳又ハ公署カ登記權利者ノ爲メニ登記ヲ囑託シタル場合ニ於テ登記所ヨリ登記簿證ノ還付ヲ受ケタルトキハ遲滞ナク之ヲ登記權利者ニ交付スルコトヲ要ス

第六十三條 登記官吏カ登記ヲ完了シタル後其登記ニ付キ錯誤又ハ遺漏アルコトヲ發見シタルト

キハ遲滯ナク其旨ヲ登記權利者及ヒ登記義務者ニ通知スルコトヲ要ス但登記權利者又ハ登記義務者カ多數ナルトキハ其一人ニ通知スルヲ以テ足ル

第六十四條 第五十六條及ヒ第五十七條ノ規定ハ登記ノ更正ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第六十五條 抹消シタル登記ノ回復ヲ申請スル場合ニ於テ登記上利害ノ關係ヲ有スル第三者アルトキハ申請書ニ其承諾書又ハ之ニ對抗スルコトヲ得ヘキ裁判ノ謄本ヲ添附スルコトヲ要ス

第六十六條 登記回復ノ申請アリタル場合ニ於テ登記ノ回復スルトキハ回復ノ登記ヲ爲シタル後更ニ抹消ニ係ル登記ト同一ノ登記ヲ爲シ若シ或登記事項ノミカ抹消ニ係ルトキハ附記ニ依リ更ニ其事項ヲ登記スルコトヲ要ス

第六十七條 第九條第二項ノ場合ニ於テ乙登記所ハ移送ヲ受ケタル登記簿ノ謄本ニ依リ相當登記區畫ノ登記簿ニ登記ヲ移スコトヲ要ス

登記簿ニ登記ヲ移スコトキハ登記用紙中登記番號欄ニ其登記簿ニ於ケル登記ノ順序ヲ追ヒテ新ナル番號ヲ記載シ其左側ニ前登記區畫ノ表示ヲ爲シ前登記番號ヲ記載スルコトヲ要ス

前項ノ場合ニ於テハ表示欄及ヒ事項欄ニ移シタル登記ノ末尾ニ登記簿ノ謄本ニ於テ登記ヲ移シタル旨及ヒ其年月日ヲ記載シ登記官吏捺印スルコトヲ要ス

第六十八條 同一ノ登記所ノ管轄内ニ於テ一箇又ハ數箇ノ不動産ノ所在地カ甲登記區畫ヨリ乙登記區畫ニ轉屬シタルトキハ登記所ハ乙登記區畫ノ登記簿ニ其不動産ニ關スル登記ヲ移スコトヲ要ス

前條第二項及ヒ第三項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

登記簿ニ登記ヲ移シタルトキハ前登記用紙ヲ附置スルコトヲ要ス

第六十九條 第二十三條ノ場合ニ於テハ登記權利者ノミニテ登記ノ回復ヲ申請スルコトヲ得

第七十條 前條ノ申請ヲ爲ス場合ニ於テハ申請書ニ前登記ノ順位番號、申請書受附ノ年月日、受附番號ヲ記載シ前登記ノ登記簿ニ添附スルコトヲ要ス

第七十一條 第六十九條ノ申請アリタル場合ニ於テ登記ヲ爲スコトキハ登記用紙中登記番號欄ニ其登記簿ニ於ケル登記ノ順序ヲ追ヒテ新ナル番號ヲ記載シ表示欄ニ不動産ノ表示ヲ爲シ相當區畫位番號欄ニ前登記ノ番號ヲ記載シ事項欄ニ前登記ノ申請受附ノ年月日及ヒ受附番號ヲ記載スルコトヲ要ス

第七十二條 第二十三條ノ規定ニ依リテ定メタル期間中新登記ノ申請アリタルトキハ假設登記簿ニ其登記ヲ爲スコトヲ要ス

前項ノ場合ニ於テハ登記簿ニ假設登記簿ニ登記ヲ爲シタル旨ヲ記載スルコトヲ要ス

第七十三條 假設登記簿ニ爲シタル登記ハ第二十三條ノ規定ニ依リテ定メタル期間滿了ノ後遲滯ナク之ヲ登記簿ニ移スコトヲ要ス此場合ニ於テハ登記用紙中登記番號欄ニ其登記簿ニ於ケル登記ノ順序ヲ追ヒテ新ナル番號ヲ記載シ其左側ニ假設登記簿ニ於ケル登記番號ヲ記載スルコトヲ要ス

第六十七條第三項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

登記簿ニ登記ヲ移シタルトキハ其不動産ニ關スル假設登記簿ノ用紙ヲ閉鎖スルコトヲ要ス

第七十四條 假設登記簿ノ登記ヲ登記簿ニ移ス場合ニ於テ回復シタル登記アルトキハ新登記ノ順位番號欄ニハ回復シタル登記ノ順序ヲ追ヒテ新ナル番號ヲ記載スルコトヲ要ス

第七十五條 假設登記簿ノ登記ヲ登記簿ニ移シタルトキハ當事者ニ對シ之ニ本登記簿ニ與フヘ

キ旨ヲ通知シ若シ回復シタル登記ト假設登記簿ヨリ移シタル登記ト帳觸スルトキハ同時ニ其旨ヲ通知スルコトヲ要ス

當事者カ登記濟證ヲ申請スル場合ニ於テハ假設登記簿ニ於ケル登記ノ登記濟證ヲ提出スルコトヲ要ス

前項ノ申請アリタルトキハ第六十條ノ規定ヲ準用ス

第七十六條 登記用紙中表題部又ハ或區カ登記ヲ爲スヘキ餘白ナキニ至リタルトキハ新用紙中登記番號欄ニ前用紙ノ登記番號ヲ轉寫シ前用紙ヲ編綴セル登記簿ノ冊數、丁數及ヒ其繼續用紙ナルコトヲ記載シ且前用紙中登記番號欄ニ新用紙ヲ編綴セル登記簿ノ冊數、丁數及ヒ之ニ繼續スル旨ヲ記載スルコトヲ要ス

前用紙中表題部又ハ他ノ區ニ餘白アルトキハ表題部又ハ其區ニ登記スヘキ事項ニ付テハ仍ホ之ニ登記ヲ爲スコトヲ要ス

第七十七條 登記ヲ爲シ又ハ申請書其他登記ニ關スル書面ヲ作ルニハ字畫明瞭ナルコトヲ要ス金錢其他ノ物ノ數量、年月日及ヒ番號ヲ記載スルニハ壹貳參拾ノ字ヲ用ケルコトヲ要ス文字ハ之ヲ改竄スルコトヲ得ス若シ訂正、挿入又ハ削除ヲ爲シタルトキハ其字數ヲ欄外ニ記載シ又ハ文字ノ前後ニ括弧ヲ附シ之ニ捺印シ其削除ニ係ル文字ハ尙ホ讀得ヘキ爲メ字體ヲ存スルコトヲ要ス

第二節 所有權ニ關スル登記手續

第七十八條 所有權ノ一部移轉ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ其部分ノ表示ヲ爲シ若シ登記原因ニ民法第二百五十六條第一項但書ノ定アルトキハ之ヲ記載スルコトヲ要ス

第七十九條 土地ノ分合、滅失、段別若クハ坪數ノ増減又ハ地目、字若クハ番號ノ變更アリタルトキハ其土地ノ所有權ノ登記名義人ハ遲滯ナク其登記ヲ申請スルコトヲ要ス

第八十條 前條ノ規定ニ從ヒテ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ土地ノ分合、滅失若クハ増減シタル段別若クハ坪數並ニ現在ノ段別若クハ坪數ヲ記載シ又ハ新地目、新字若クハ新番號ヲ記載スルコトヲ要ス

第八十一條 土地ノ分合、滅失、段別若クハ坪數ノ減少又ハ地目ノ變更ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テ其土地ノ登記用紙ニ所有權以外ノ權利ニ關スル登記アルトキハ申請書ニ其登記名義人ノ承諾書又ハ之ニ對抗スルコトヲ得ヘキ裁判ノ謄本ヲ添附スルコトヲ要ス

第八十二條 甲地ヲ分割シテ其一部ヲ乙地ト爲シタル場合ニ於テ分筆ノ登記ヲ爲ストキハ登記用紙中登記番號欄ニ番號ヲ記載シ表示欄ニ分割ニ因リテ登記何號ヨリ移シタル旨ヲ記載スルコトヲ要ス

前項ノ手續ヲ爲シタルトキハ甲地ノ登記用紙中表示欄ニ殘餘部分ノ表示ヲ爲シ分割ニ因リテ他ノ部分ヲ登記何號ニ移シタル旨ヲ記載シ前ノ表示及ヒ其番號ヲ抹スルコトヲ要ス

第八十三條 前條第一項ノ場合ニ於テハ乙地ノ登記用紙中相當區事項欄ニ甲地ノ登記用紙ヨリ所有權其他ノ權利ニ關スル登記ヲ轉寫シ且所有權以外ノ權利ニ關スル登記中ニ甲地ト共ニ其權利ノ目的タル旨、申請書受附ノ年月日及ヒ受附番號ヲ記載シ登記官吏捺印スルコトヲ要ス

甲地ノ登記用紙ヨリ乙地ノ登記用紙ニ所有權以外ノ權利ニ關スル登記ヲ轉寫シタルトキハ甲地ノ登記用紙中其權利ニ關スル登記ニ乙地ト共ニ其權利ノ目的タル旨ヲ附記スルコトヲ要ス

申請書ニ所有權以外ノ權利ノ登記名義人カ乙地ニ關シ其權利ノ消滅ヲ承諾シタルコトヲ證スル

書面又ハ之ニ對抗スルコトヲ得ヘキ裁判ノ謄本ヲ添附シタルトキハ甲地ノ登記用紙中其權利ニ關スル登記ニ其旨ヲ附記スルコトヲ要ス

第八十四條 甲地ヲ分割シテ其一部ヲ乙地ト爲シタル場合ニ於テ乙地ノミカ所有權以外ノ權利ノ目的タルトキハ乙地ノ登記用紙中相當區事項欄ニ其權利ニ關スル登記ヲ移シ申請書受附ノ年月日及ヒ受附番號ヲ記載シ登記官吏捺印スルコトヲ要ス

前項ノ場合ニ於テハ甲地ノ登記用紙中所有權以外ノ權利ニ關スル登記ニ乙地ノ表示ヲ爲シ分割ニ因リテ登記何號ニ移シタル旨ヲ附記シ其登記ヲ朱抹スルコトヲ要ス

申請書ニ所有權以外ノ權利ノ登記名義人カ其權利ノ消滅ヲ承諾シタルコトヲ證スル書面又ハ之ニ對抗スルコトヲ得ヘキ裁判ノ謄本ヲ添附シタルトキハ甲地ノ登記用紙中其權利ニ關スル登記ニ其旨ヲ附記シ其登記ヲ朱抹スルコトヲ要ス

第八十五條 甲地ヲ分割シテ其一部ヲ乙地ニ合併シタル場合ニ於テ合併ノ登記ヲ爲ストキハ乙地ノ登記用紙中表示欄ニ合併ニ依リテ登記何號ヨリ移シタル旨ヲ記載シ前ノ表示及ヒ其番號ヲ朱抹スルコトヲ要ス

前項ノ場合ニ於テハ乙地ノ登記用紙中甲區事項欄ニ甲地ノ登記用紙ヨリ所有權ニ關スル登記ヲ轉寫シ其登記カ合併シタル部分ノミニ關スル旨、申請書受附ノ年月日及ヒ受附番號ヲ記載シ登記官吏捺印スルコトヲ要ス

甲地ノ登記用紙ニ所有權以外ノ權利ニ關スル登記アルトキハ乙地ノ登記用紙中相當區事項欄ニ其權利ニ關スル登記ヲ轉寫シ合併シタル部分ノミカ甲地ト共ニ其權利ノ目的タル旨、申請書受附ノ年月日及ヒ受附番號ヲ記載シ登記官吏捺印スルコトヲ要ス

第八十二條第二項第八十三條第二項第三項及ヒ前條ノ規定ハ第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第八十六條 甲地ヲ乙地ニ合併シタル場合ニ於テ合筆ノ登記ヲ爲ストキハ乙地ノ登記用紙中表示欄ニ合併ニ因リテ登記何號ヨリ移シタル旨ヲ記載シ前ノ表示及ヒ其番號ヲ朱抹スルコトヲ要ス

登

甲地ノ登記用紙中表示欄ニ合併ニ因リテ登記何號ニ移シタル旨ヲ記載シ甲地ノ表示、其番號及ヒ登記番號ヲ朱抹シ其登記用紙ヲ閉鎖スルコトヲ要ス

第八十七條 前條ノ場合ニ於テハ乙地ノ登記用紙中甲區事項欄ニ甲地ノ登記用紙ヨリ所有權ニ關スル登記ヲ移シ其登記カ甲地タリシ部分ノミニ關スル旨、申請書受附ノ年月日及ヒ受附番號ヲ記載シ登記官吏捺印スルコトヲ要ス

甲地ノ登記用紙ニ所有權以外ノ權利ニ關スル登記アルトキハ乙地ノ登記用紙中相當區事項欄ニ其權利ニ關スル登記ヲ移シ甲地タリシ部分ノミカ其權利ノ目的タル旨、申請書受附ノ年月日及ヒ受附番號ヲ記載シ登記官吏捺印スルコトヲ要ス

第八十三條第三項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第八十八條 土地ノ段別又ハ坪數ノ増減ノ登記ヲ爲ストキハ登記用紙中表示欄ニ増減ノ原因ヲ記載シ前ノ表示及ヒ其番號ヲ朱抹スルコトヲ要ス

第八十九條 地目、字又ハ土地ノ番號ノ變更ノ登記ヲ爲ストキハ前ノ表示及ヒ其番號ヲ朱抹スルコトヲ要ス

第九十條 土地ノ分合、滅失、段別若クハ坪數ノ増減又ハ地目、字若クハ番號ノ變更ノ登記ノ申請書ヲ受附タル時ニ於テ未タ土地臺帳所管廳ヨリ此等ノ人事ニ關スル通知ヲ受ケタルトキ又ハ其

記

申請書ニ記載シタル登記ノ目的カ土地發帳所管轄ノ通知ト符合セザルトキハ第四十九條ノ規定ヲ準用ス但登記ノ目的カ申請書ニ添附シタル土地發帳帳本ト符合スルトキハ此限ニ在ラス

第九十一條 建物ノ分合、其番號若クハ構造ノ變更、其滅失、其建坪ノ増減又ハ附屬建物ノ新築アリタルトキハ其建物ノ所有權ノ登記名義人ハ遑滞ナク登記ヲ申請スルコトヲ要ス

第九十二條 前條ノ規定ニ從ヒテ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ分合シタル建坪、新番號若クハ新構造又ハ滅失、減増若クハ新築シタル建坪竝ニ現在ノ建坪ヲ記載シ又ハ敷地ノ新地目、新字若クハ新番號又ハ増減シタル段別若クハ坪數竝ニ現在ノ段別若クハ坪數ヲ記載シ且建物ノ分合、構造ノ變更又ハ建坪ノ増減ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ其圖面ヲ添附スルコトヲ要ス

第九十三條 建物ノ分合、其構造ノ變更、其滅失又ハ其坪數ノ減少ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テ其建物ノ登記用紙ニ所有權以外ノ權利ニ關スル登記アルトキハ第八十一條ノ規定ヲ準用ス

第九十四條 甲建物又ハ其附屬建物ヲ分割又ハ區分シテ之ヲ乙建物ト爲シタル場合ニ於テ其登記ヲ爲ストキハ登記用紙中登記番號欄ニ番號ヲ記載シ表示欄ニ分割又ハ區分ニ因リテ登記何號ヨリ移シタル旨ヲ記載スルコトヲ要ス

前項ノ手續ヲ爲シタルトキハ甲建物ノ登記用紙中表示欄ニ殘餘部分ノ表示ヲ爲シ分割又ハ區分ニ因リテ他ノ部分ヲ登記何號ニ移シタル旨ヲ記載シ前ノ表示及ヒ其番號ヲ朱抹スルコトヲ要ス但分割又ハ區分シタル附屬建物ノミニ關スル表示番號アルトキハ其番號ヲモ朱抹スルコトヲ要ス

第九十五條 甲建物又ハ其附屬建物ヲ分割又ハ區分シテ之ヲ乙建物ノ附屬建物ト爲シタル場合ニ於テ其登記ヲ爲ストキハ乙建物ノ登記用紙中表示欄ニ合併ニ因リテ登記何號ヨリ移シタル旨ヲ記載スルコトヲ要ス

前條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第九十六條 第八十三條及ヒ第八十四條ノ規定ハ第九十四條ノ場合ニ之ヲ準用ス但甲建物ノ登記用紙中甲區事項欄ニ分割又ハ區分シタル附屬建物ニ關スル登記原因ノ記載ナキトキハ第八十三條ニ定メタル手續ヲ爲ス外乙建物ノ登記用紙中甲區事項欄ニ申請人ノ氏名、住所及ヒ分割又ハ區分ニ因リテ其者ノ所有權ノ登記ヲ爲ス旨ヲ記載スルコトヲ要ス

第九十七條 第八十五條第二項乃至第四項ノ規定ハ第九十五條ノ場合ニ之ヲ準用ス但甲建物ノ登記用紙中甲區事項欄ニ分割又ハ區分シタル附屬建物ニ關スル登記原因ノ記載ナキトキハ第八十五條第二項乃至第四項ニ定メタル手續ヲナス外乙建物ノ登記用紙中甲區事項欄ニ申請人ノ氏名住所及ヒ合併ニ因リテ其者ノ所有權ノ登記ヲ爲ス旨ヲ記載スルコトヲ要ス

第九十八條 甲建物ヲ乙建物又ハ其附屬建物ニ合併シタル場合ニ於テ其登記ヲ爲スニ付テハ第八十六條及ヒ第八十七條ノ規定ヲ準用ス但甲建物ヲ乙建物ノ附屬建物ニ合併シタル場合ニ於テハ乙建物ノ前ノ表示及ヒ其番號ヲ朱抹スルコトヲ要セス

第九十九條 第八十八條ノ規定ハ建物又ハ附屬建物ノ建坪ノ増減ノ登記ニ之ヲ準用ス附屬建物ノ新築ノ登記ヲ爲ストキハ主タル建物ノ登記用紙中表示欄ニ附屬建物ノ種類、構造及ヒ建坪ヲ記載スルコトヲ要ス

第一百條 第八十九條ノ規定ハ建物ノ番號ノ變更又ハ建物若クハ附屬建物ノ構造ノ變更ノ登記ニ之

ヲ準用ス

第八十八條及第八十九條ノ規定ハ建物ノ敷地ノ地目、字若クハ番號ノ變更又ハ段別若クハ坪數ノ増減ノ登記ニ之ヲ準用ス

第一百條 不動産ノ滅失ノ登記ヲ爲ストキハ登記用紙中表示欄ニ滅失ノ原因ヲ記載シ不動産ノ表示、表示番號及ヒ登記番號ヲ朱抹シ其登記用紙ヲ閉鎖スルコトヲ要ス

第一百二條 前條ノ場合ニ於テ滅失シタル不動産カ他ノ不動産ト共ニ所有權以外ノ權利ノ目的タリシトキハ他ノ不動産ノ登記用紙中相當事項欄ニ滅失シタル不動産ノ表示ヲ爲シ滅失ノ原因及ヒ其不動産ノ滅失シタルコトヲ附記シ其不動産ト共ニ所有權以外ノ權利ノ目的タル旨ヲ記載シタル登記中滅失シタル不動産ノ表示ヲ朱抹スルコトヲ要ス

前項ノ囑託ヲ受ケタル登記所ハ遲滯ナク第一項ニ定メタル手續ヲ爲スコトヲ要ス

第一百三條 土地收用ニ因ル所有權移轉ノ登記ハ登記權利者ノミニテ之ヲ申請スルコトヲ得其申請書ニハ收用シタル土地ノ全部又ハ一部カ不用ニ歸シタル場合ニ於テ舊所有者カ買戻權ヲ有スル旨ヲ記載シ補償金ノ受取證又ハ預證ヲ添附スルコトヲ要ス

官廳又ハ公署カ起業者ナルトキハ其官廳又ハ公署ハ遲滯ナク前項ノ登記ヲ登記所ニ囑託スルコトヲ要ス

第一百四條 不動産ヲ華族世襲財産ト爲スコトヲ認可シタルトキハ當該官廳ハ遲滯ナク世襲財産ノ創設ノ登記ヲ登記所ニ囑託スルコトヲ要ス

第一百五條 未登記ノ土地所有權ノ登記ハ左ニ掲ケタル者ヨリ之ヲ申請スルコトヲ得

一 土地臺帳謄本ニ依リ自己又ハ被相續人カ土地臺帳ニ所有者トシテ登錄セラレタルコトヲ證スル者

二 判決ニ依リ自己ノ所有權ヲ證スル者

第十六條 未登記ノ建物所有權ノ登記ハ左ニ掲ケタル者ヨリ之ヲ申請スルコトヲ得

一 建物ノ敷地ノ所有者又ハ地上權者トシテ登記簿ニ登記セラレタル者

二 土地臺帳謄本ニ依リ自己又ハ被相續人カ土地臺帳ニ敷地ノ所有者トシテ登錄セラレタルコトヲ證スル者

三 既登記ノ敷地ノ所有者又ハ地上權者ノ證明書ニ依リ自己ノ所有權ヲ證スル者

四 判決其他官廳又ハ公署ノ書面ニ依リ自己ノ所有權ヲ證スル者

第一百七條 前二條ノ規定ニ從ヒテ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ第一百五條第何號又ハ前條第何號ニ依リテ登記ヲ申請スル旨ヲ記載シ必要ナル證明書類ヲ添附シ前條ノ規定ニ依ル申請ニ付テハ圖面ヲ添附スルコトヲ要ス但登記原因及ヒ其日附ヲ記載シ又ハ第三十五條第二號乃至第四號ニ掲ケタル書面ヲ添附スルコトヲ要セス

第一百八條 未登記ノ不動産所有權ノ登記ヲ爲ストキハ登記用紙中登記番號欄ニ番號ヲ記載スルコトヲ要ス

第一百九條 第二百二十八條及ヒ第二百二十九條ノ規定ハ未登記ノ不動産所有權ノ變更又ハ處分ノ制限ノ登記ニ之ヲ準用ス

第一百十條 官廳又ハ公署カ未登記ノ不動産所有權ノ登記ヲ登記所ニ囑託スル場合ニ於テハ第五

條又ハ第六條ノ規定ニ依リテ證明ヲ爲スコトヲ要セス
第三節 所有權以外ノ權利ニ關スル登記手續

第一百一條 地上權ノ設定又ハ移轉ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ地上權設定ノ目的及範圍ヲ記載シ若シ登記原因ニ存續期間、地代又ハ其支拂時期ノ定アルトキハ之ヲ記載スルコトヲ要ス

第一百一十二條 永小作權ノ設定又ハ移轉ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ小作料ヲ記載シ若シ登記原因ニ存續期間、小作料ノ支拂時期其他永小作人ノ權利若クハ義務ニ關スル特約又ハ民法第二百七十二條但書ノ定アルトキハ之ヲ記載スルコトヲ要ス

第一百一十三條 地役權ノ設定ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ要役地ノ表示ヲ爲シ地役權設定ノ目的及七範圍ヲ記載シ若シ登記原因ニ民法第二百八十一條第一項但書第二百八十五條第一項但書又ハ第二百八十六條ノ定アルトキハ之ヲ記載スルコトヲ要ス

第一百一十四條 地役權ノ設定ノ登記ヲ爲シタルトキハ要役地タル不動産ノ登記用紙中相當區事項欄ニ承役地タル不動産ノ表示ヲ爲シ其不動産カ地役權ノ目的タル旨、地役權設定ノ目的及七範圍ヲ記載スルコトヲ要ス
要役地カ他ノ登記所ノ管轄ニ屬スルトキハ遲滞ナク其登記所ニ承役地、要役地、地役權設定ノ目的並ニ範圍及ヒ申請書受附ノ年月日ヲ通知スルコトヲ要ス

前項ノ通知ヲ受ケタル登記所ハ遲滞ナク要役地タル不動産ノ登記用紙中相當區事項欄ニ通知ヲ受ケタル事項ヲ記載スルコトヲ要ス

第一百一十五條 先取特權ノ保存ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ債權額ヲ記載シ若シ登記原因ニ辨濟期ノ定アルトキハ之ヲ記載スルコトヲ要ス但不動産工事ノ先取特權ノ保存ニ付テハ其工事費用ノ豫算額ヲ記載スルコトヲ要ス

第一百一十六條 質權ノ設定又ハ轉質ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ債權額ヲ記載シ若シ登記原因ニ存續期間若クハ辨濟期ノ定アルトキ、利息ニ關スル定アルトキ、違約金若クハ賠償額ノ定アルトキ、債權ニ條件ヲ附シタルトキ、民法第三百四十六條但書ノ定アルトキ、第三百五十六條若クハ第三百五十七條ノ規定ニ異ナリタル定アルトキ又ハ第三百七十條但書ノ定アルトキハ之ヲ記載スルコトヲ要ス

第一百一十七條 抵當權ノ設定ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ債權額ヲ記載シ若シ登記原因ニ辨濟期ノ定アルトキ、利息ニ關スル定アルトキ、其發生期若クハ支拂時期ノ定アルトキ、債權ニ條件ヲ附シタルトキ又ハ民法第三百七十條但書ノ定アルトキハ之ヲ記載スルコトヲ要ス

第一百一十八條 先取特權、質權又ハ抵當權ノ保存又ハ設定ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テ其權利ノ目的カ所有權以外ノ權利ナルトキハ申請書ニ其權利ノ表示ヲ爲スコトヲ要ス

第一百一十九條 質權又ハ抵當權ノ設定ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テ設定者カ債務者ニ非サルトキハ申請書ニ債務者ノ表示ヲ爲スコトヲ要ス

質權又ハ抵當權ノ移轉ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ質權又ハ抵當權カ債權ト共ニ移轉スルヤ否ヤヲ記載スルコトヲ要ス

第二百十條 一定ノ金額ヲ目的トセサル債權ノ擔保タル先取特權、質權又ハ抵當權ノ保存又ハ設定ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ其債權ノ價格ヲ記載スルコトヲ要ス

第二百十一條 官吏又ハ公吏ノ身元保證ヲ目的トスル抵當權ノ設定ノ登記ハ囑託書ニ其官吏又ハ

公吏カ差出シタル登記請求書ヲ添附シテ當該官廳又ハ公署ヨリ遲滯ナク之ヲ登記所ニ囑託スル
コトヲ要ス

第一百二十二條 數箇ノ不動産ニ關スル權利ヲ目的トスル先取特權、質權又ハ抵當權ノ保存又ハ設
定ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ各不動産ニ關スル權利ノ表示ヲ爲スコトヲ要ス

第一百二十三條 債權ノ一部ノ讓渡又ハ代位辨濟ニ因ル先取特權、質權又ハ抵當權ノ移轉ノ登記ヲ
申請スル場合ニ於テハ申請書ニ讓渡又ハ代位辨濟ノ目的タル債權額ヲ記載スルコトヲ要ス

第一百二十四條 第一百二十二條ノ規定ニ從ヒテ登記ノ申請アリタル場合ニ於テ其一箇ノ不動産ニ關
スル權利ニ付キ登記ヲ爲ストキハ其不動産ノ登記用紙中相當區事項欄ニ他ノ不動産ニ關スル權
利ノ表示ヲ爲シ其權利力共ニ擔保ノ目的タル旨ヲ記載スルコトヲ要ス

第一百二十五條 先取特權、質權又ハ抵當權ノ移轉ノ登記ハ附記ニ依リテ之ヲ爲ス

第一百二十六條 數箇ノ不動産ニ關スル權利力先取特權、質權又ハ抵當權ノ目的タル場合ニ於テ其
一箇ノ不動産ニ關スル權利ヲ目的トスル先取特權、質權又ハ抵當權ノ變更又ハ消滅ノ登記ヲ爲
シタルトキハ他ノ不動産ノ登記用紙中相當區事項欄ニ其權利ノ表示ヲ爲シ且其權利ノ變更又ハ
消滅シタル旨ヲ附記シ第百二十四條ノ規定ニ從ヒテ爲シタル登記中變更又ハ消滅ニ係ル事項ヲ
朱抹スルコトヲ要ス其一箇ノ不動産ニ關スル權利ノ表示ニ付キ變更ノ登記ヲ爲シタルトキ亦同
シ

第一百十四條第二項及ヒ第三項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第一百二十七條 質借權ノ設定又ハ質借物ノ轉貸ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ借貸ノ記
載シ若シ登記原因ニ存續期間若クハ借貸ノ支拂時期ノ定アルトキ又ハ質借權ノ移轉若クハ質借

物ノ轉貸ヲ許シタルトキハ之ヲ記載シ質借借主爲ス者カ處分ノ能力若クハ權限ヲ有セザル者ナ
ルトキハ其旨ヲ記載スルコトヲ要ス

質借權ノ移轉又ハ質借物ノ轉貸ヲ許シタル旨ノ登記アラサル場合ニ於テ質借權ノ移轉又ハ質借
物ノ轉貸ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ質借人ノ承諾書ヲ添附スルコトヲ要ス

第一百二十八條 未登記ノ不動産ノ所有權以外ノ權利ニ關スル登記ハ之ヲ命スル裁判ニ依リテ自己
ノ權利ヲ證スル者ニヨリ之ヲ申請スルコトヲ得

第一百二十九條 前條ノ申請アリタル場合ニ於テ登記ヲ爲ストキハ登記用紙中登記番號欄ニ番號ヲ
記載シ表示欄ニ不動産ノ表示ヲ爲シ且甲區事項欄ニ所有者ノ氏名、住所及ヒ何權利ノ登記ヲ命
スル裁判ニ因リテ所有權ノ登記ヲ爲ス旨ヲ記載スルコトヲ要ス

第一百三十條 未登記ノ不動産ノ所有權以外ノ權利ヲ目的トスル權利ニ關スル登記ハ之ヲ命スル裁
判ニ依リテ自己ノ權利ヲ證スル者ヨリ之ヲ申請スルコトヲ得

第一百三十一條 前條ノ申請アリタル場合ニ於テ登記ヲ爲ストキハ登記用紙中登記番號欄ニ番號ヲ
記載シ表示欄ニ不動産ノ表示ヲ爲シ甲區事項欄ニ何權利ヲ目的トスル何權利ノ登記ヲ命スル裁
判ニ因リテ所有權ノ登記ヲ爲ス旨ヲ記載シ且所有權以外ノ權利ヲ登記スルキ相當區事項欄ニ權
利者ノ氏名、住所及ヒ何權利ノ登記ヲ命スル裁判ニ因リテ何權利ノ登記ヲ爲ス旨ヲ記載スルコ
トヲ得

第一百三十二條 既登記ノ不動産ニ付キ未登記ノ所有權以外ノ權利ヲ目的トスル權利ニ關スル登記
ハ之ヲ命スル裁判ニ依リテ自己ノ權利ヲ證スル者ヨリ之ヲ申請スルコトヲ得

第一百三十三條 前條ノ申請アリタル場合ニ於テ登記ヲ爲ストキハ登記用紙中所有權以外ノ權利ヲ

登記スヘキ相當區事項欄ニ權利者ノ氏名、住所及ヒ何權利ノ登記ヲ命スル裁判ニ因リテ何權利ノ登記ヲ爲ス旨ヲ記載スルコトヲ要ス

第三百三十四條 前四條ノ規定ハ所有權以外ノ權利又ハ其權利ヲ目的トスル權利ノ變更又ハ處分ノ制限ノ登記ニ之ヲ準用ス

第三百三十五條 官廳又ハ公署カ未登記ノ不動産ニ付キ所有權以外ノ權利若クハ其權利ヲ目的トスル權利ニ關スル登記又ハ既登記ノ不動産ニ付キ未登記ノ所有權以外ノ權利ヲ目的トスル權利ニ關スル登記ヲ登記所ニ囑託スル場合ニ於テハ裁判ニ依リテ其權利ヲ證スルコトヲ要セス

第三百三十六條 建物ヲ新築スル場合ニ於テ不動産工事ノ先取特權ノ保存ノ登記ヲ申請スルトキハ申請書ニ設計書ニ定メタル其建物ノ種類、構造、建坪、建物ヲ新築スヘキ郡、市、區、町村、字、土地ノ番號及ヒ工事費用ノ豫算額ヲ記載シ若シ登記原因ニ辨濟期ノ定アルトキハ之ヲ記載シ設計書及ヒ圖面ヲ添附スルコトヲ要ス

第三百三十七條 前條ノ申請アリタル場合ニ於テ登記ヲ爲ストキハ登記用紙中登記番號欄ニ番號ヲ記載シ表示欄ニ新築スヘキ建物ノ表示ヲ爲シ且其建物ノ種類、構造及ヒ建坪ハ設計書ニ依ル旨ヲ記載シ甲區事項欄ニ登記義務者ノ氏名、住所及ヒ不動産工事ノ先取特權ノ保存ノ登記ヲ爲スニ因リテ登記ヲ爲ス旨ヲ記載スルコトヲ要ス

第三百三十八條 既登記ノ主タル建物ノ附屬建物ヲ新築スル場合ニ於テ不動産工事ノ先取特權ノ保存ノ登記ヲ爲ストキハ主タル建物ノ登記用紙中表示欄ニ新築スヘキ附屬建物ノ表示ヲ爲シ且其建物ノ種類、構造及ヒ建坪ハ設計書ニ依ル旨ヲ記載スルコトヲ要ス

第三百三十九條 建物ヲ新築スルニ付キ不動産工事ノ先取特權ノ保存ノ登記ヲ爲シタル場合ニ於テ其建物ノ建築力終ハリタルトキハ其建物ノ所有者ハ遲滞ナク所有權ノ登記ヲ申請スルコトヲ要ス但第百六條及ヒ第百七條ノ適用ヲ妨ケス

附屬建物ヲ新築スルニ付キ不動産工事ノ先取特權ノ保存ノ登記ヲ爲シタル場合ニ於テ其建物ノ建築力終ハリタルトキハ其建物ノ所有者ハ遲滞ナク新築ノ登記ヲ申請スルコトヲ要ス

第四百十條 前條ノ申請アリタル場合ニ於テ登記ヲ爲ストキハ登記用紙中表示欄ニ更ニ建物ノ表示ヲ爲シ前ノ表示及ヒ其番號ヲ抹スルコトヲ要ス但前條第一項ノ申請ニ因リテ登記ヲ爲ス場合ニ於テハ不動産工事ノ先取特權ノ保存ニ關シテ甲區事項欄ニ爲シタル登記ヲモ抹スルコトヲ要ス

第四節 抹消ニ關スル登記手續

第四百十一條 登記シタル權利カ或人ノ死亡ニ因リテ消滅シタル場合ニ於テ申請書ニ其死亡ヲ證スル戸籍吏ノ書面其他ノ公正證書ヲ添附スルトキハ登記權利者ノミニテ登記ノ抹消ヲ申請スルコトヲ得

第四百十二條 登記權利者カ登記義務者ノ行方ノ知レサルニ因リ之ト共ニ登記ノ抹消ヲ申請スルコト能ハサルトキハ民事訴訟法ノ規定ニ從ヒテ公示催告ノ申立ヲ爲スコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ除權判決アリタルトキハ申請書ニ其謄本ヲ添附シ登記權利者ノミニテ登記ノ抹消ヲ申請スルコトヲ得

第一項ノ場合ニ於テ申請書ニ債權證書及ヒ債權立ニ最後ノ二年分ノ定期金ノ受取證書ヲ添附シタルトキハ登記權利者ノミニテ先取特權質權、又ハ抵當權ニ關スル登記ノ抹消ヲ申請スルコトヲ得

第四百三條 華族世襲財産ノ解除ヲ認可シタルトキハ當該官廳ハ遲滯ナク華族世襲財産ノ創設ノ登記ノ抹消ヲ登記所ニ囑託スルコトヲ要ス

第四百四條 假登記ノ抹消ハ假登記名義人ヨリ之ヲ申請スルコトヲ得

申請書ニ假登記名義人ノ承諾書又ハ之ニ對抗スルコトヲ得ヘキ裁判ノ謄本ヲ添附シタルトキハ登記上ノ利害關係人ヨリ假登記ノ抹消ヲ申請スルコトヲ得

第四百五條 第三條ニ掲ケタル訴ヲ却下シタル裁判若クハ之ヲ提起シタル者ニ對シテ敗訴ヲ言渡シタル裁判力確定シタルトキ、訴ノ取下アリタルトキ、請求ノ拋棄アリタルトキ又ハ請求ノ目的ニ付キ和解アリタルトキハ第一審裁判所ハ遲滯ナク囑託書ニ裁判ノ謄本若クハ抄本又ハ訴ノ取下、請求ノ拋棄若クハ和解ヲ證スル裁判所書記ノ書面ヲ添附シテ豫告登記ノ抹消ヲ登記所ニ囑託スルコトヲ要ス

第四百六條 登記ノ抹消ヲ申請スル場合ニ於テ其抹消ニ付キ登記上利害ノ關係ヲ有スル第三者アルトキハ申請書ニ其承諾書又ハ之ニ對抗スルコトヲ得ヘキ裁判ノ謄本ヲ添附スルコトヲ要ス

第四百七條 登記ヲ抹消スルニハ抹消ノ登記ヲ爲シタル後抹消スヘキ登記ヲ抹消スルコトヲ要ス

前項ノ場合ニ於テ抹消ニ係ル權利ノ目的トスル第三者ノ權利ニ關スル登記アルトキハ登記用紙中相當區事項欄ニ其第三者ノ權利ノ表示ヲ爲シ何權利ノ登記ヲ抹消シタルニ因リテ抹消ヲ爲ス旨ヲ記載スルコトヲ要ス

第四百八條 第二十九條ノ規定ニ從ヒ官廳又ハ公署ヨリ公賣處分ニ因ル權利移轉ノ登記ノ囑託アリタル場合ニ於テハ滯納處分ニ關スル差押ノ登記ヲ抹消シ若シ其權利ノ目的トセル先取特權、質權又ハ抵當權ノ登記アルトキハ其登記ヲ抹消スルコトヲ要ス

第四百九條 第三百三條ノ規定ニ從ヒ土地收用ニ因ル所有權移轉ノ登記ノ申請又ハ囑託アリタル場合ニ於テ其不動産ノ登記用紙中所有權又ハ所有權以外ノ權利ニ關スル登記アルトキハ其登記ヲ抹消スルコトヲ要ス但其不動産ノ爲メニ存スル地役權ノ登記ハ此限ニ在ラズ

第五節 抗告

第五百十條 登記官吏ノ決定又ハ處分ヲ不當トスル者ハ管轄地方裁判所ニ抗告ヲ爲スコトヲ得

第五百十一條 抗告ハ登記所ニ抗告狀ヲ差出シテ之ヲ爲ス

第五百十二條 抗告ハ新ナル事實及ヒ證據方法ヲ以テ其證據ト爲スコトヲ得ス

第五百十三條 登記官吏カ抗告ヲ理由ナシトスルトキハ三日内ニ意見ヲ附シテ事件ヲ抗告裁判所ニ送付スルコトヲ要ス

登記官吏カ抗告ヲ理由アリトスルトキハ相當ノ處分ヲ爲スコトヲ要ス若シ登記完了ノ後ナルトキハ其登記ニ付キ異議アル旨ノ附記ヲ爲シ之ヲ登記上ノ利害關係人ニ通知シ且前項ノ手續ヲ爲スコトヲ要ス

第五百十四條 抗告ハ執行ヲ停止スル效力ヲ有セス

抗告裁判所ハ抗告ニ付キ決定ヲ爲ス前登記官吏ニ假登記ヲ命スルコトヲ得

第五百十五條 抗告裁判所カ抗告ヲ理由アリトスルトキハ決定ヲ以テ登記官吏ニ相當ノ處分ヲ命スルコトヲ要ス

抗告裁判所ハ登記上ノ利害關係人ニ決定ノ謄本ヲ送達スルコトヲ要ス

第五百十六條 抗告裁判所ハ決定ニハ理由ヲ付スルコトヲ要ス

第五百五十七條 登記官吏が抗告裁判所ノ命令ニ依リテ登記ヲ爲ストキハ命令ヲ爲シタル裁判所、命令ノ年月日、命令ニ依リテ登記ヲ爲ス旨及ヒ登記ノ年月日ヲ記載シ登記官吏捺印スルコトヲ要ス

第五百五十八條 抗告裁判所ノ決定ニ對シテハ法律ニ違背シタル決定ナルコトヲ理由トスルトキニ限リ抗告ヲ爲スコトヲ得

第五百五十四條乃至第五百五十七條ノ規定ハ前項ノ抗告ニ之ヲ準用ス

第五百五十九條 送達ニ付テハ民事訴訟法ノ規定ヲ準用シ抗告ノ費用ニ付テハ非訟事件手續法ノ規定ヲ準用ス

附則

第六十條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（明治三十二年四月勅令第三百三十四號ヲ以テ明治三十二年六月十六日ヨリ施行スル旨ヲ定メタリ）

第六十一條 明治十九年法律第一號登記法中地所及ヒ建物ノ登記ニ關スル規定ハ本法施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

第六十二條 明治六年第十八號布告地所買入書入規則又ハ同八年第四百八號布告建物書入買入規則ニ從ヒテ公證ヲ經タル證書面ノ權利ニ付テハ本法施行ノ日ヨリ一年內ニ債權者ヨリ其登記ヲ申請セサルトキハ其權利ハ公證ノ效力ヲ失フ

第六十三條 本法施行前ニ登記シタル不動産ニ付キ本法施行ノ後登記ノ申請アリタル場合ニ於テ

テ登記ヲ爲ストキハ登記用紙中登記番欄ニ其登記簿ニ於ケル登記ノ順序ヲ追ヒテ新ナル番號ヲ記載シ其左側ニ前登記番號ヲ記載シ表示欄ニ不動産ノ表示ヲ移シ相當區順位番號欄及ヒ事項欄ニ舊登記簿ノ用紙中抹消ニ係ラサル番號及ヒ事項ヲ移シ舊登記簿ノ用紙中新登記簿ノ用紙ニ移シタル番號及ヒ事項ヲ朱抹スルコトヲ要ス

第六十四條 本法ノ施行ニ關スル細則ハ司法大臣之ヲ定ム

不動産登記法施行細則

（明治三十二年五月司法省令第十一號）

不動産登記法施行細則左ノ通相定ム

不動産登記法施行細則

第一章 登記ニ關スル帳簿

第一條 土地登記簿ハ附錄第一號雛形ニ依リ建物登記簿ハ附錄第二號雛形ニ依リ地方裁判所ニ於テ之ヲ調製スヘシ

第二條 共同人名簿ハ土地共同人名簿及ヒ建物共同人名簿ノ二種トス

共同人名簿ハ登記簿ヲ分設シタル區畫ニ從ヒ別冊ト爲ス但便宜ニ依リ之ヲ合綴スルコトヲ得

共同人名簿ヲ合綴シタル場合ニ於テハ登記簿ヲ分設シタル區畫毎ニ見出ヲ附スヘシ

第三條 土地共同人名簿ハ附錄第三號雛形ニ依リ建物共同人名簿ハ附錄第四號雛形ニ依リ地方裁判所ニ於テ之ヲ調製スヘシ

第四條 登記簿及ヒ共同人名簿ハ登記所ノ請求ニ因リ地方裁判所長之ヲ交付スヘシ

登記所ハ翌年中ニ必要ナル帳簿ノ冊數及ヒ各冊ノ枚數ヲ見積リ毎年十一月中ニ請求ヲ爲スヘシ

但高裁判所出張所ノ帳簿ハ管轄區裁判所ヨリ之ヲ請求スヘシ
豫定外ニ帳簿ノ必要ヲ生シタルトキハ臨時其請求ヲ爲スコトヲ得

第五條 登記簿及ヒ共同人名簿ノ用紙ニハ豫メ丁數ヲ記入スヘシ

第六條 土地登記見出帳ハ附録第五號雜形ニ依リ土地分合登記見出帳ハ附録第六號雜形ニ依リ建
物登記見出帳ハ附録第七號雜形ニ依リ之ヲ調製スヘシ

第七條 土地登記見出帳ニハ土地ノ番號ヲ逐ヒ豫メ各筆ノ見出欄ヲ設ケ置キ登記用紙ニ登記番號
ヲ記載スル毎ニ其登記用紙ヲ編綴セル登記簿ノ冊數、丁數及ヒ登記番號ヲ記入スヘシ

第八條 土地分合登記見出帳ニハ豫メ一ノ部ヨリ九ノ部マテテ設ケ置キ土地ノ分合ニ關スル登記
ヲ爲ス毎ニ其土地ノ番號ノ頭字ニ依リ相當ノ部(十百千ノ數ヲ冠スルモノハ一ノ部ニ記入スル
ノ類)ニ土地ノ番號、登記用紙ヲ編綴セル登記簿ノ冊數、丁數及ヒ登記番號ヲ記入スヘシ但土
地カ合併ニ因リ二箇以上ノ番號ヲ有スルトキハ其少キ番號ノ部ニノミ記入スヘシ

前項ノ記入ヲ爲シタルトキハ土地登記見出帳ノ備考欄ニ事由ヲ記入シ其見出ヲ朱沫スヘシ

第九條 建物登記見出帳ニハ豫メ一ノ部ヨリ九ノ部マテテ設ケ置キ登記用紙ニ登記番號ヲ記載ス
ル毎ニ數地ノ番號ノ頭字ニ依リ相當ノ部ニ數地ノ番號、登記用紙ヲ編綴セル登記簿ノ冊數、丁數
及ヒ登記番號ヲ記入シ若シ建物ノ番號アルトキハ其番號ヲモ記入スヘシ但數地カ二个以上ノ番
號ヲ有スルトキハ其少キ番號ノ部ニノミ記入スヘシ

第十條 登記用紙ヲ閉鎖シタルトキハ見出帳ノ備考欄ニ事由ヲ記入シ其見出ヲ朱沫スヘシ

第十一條 受附帳ハ附録第八號雜形ニ依リ毎年之ヲ調製スヘシ

第十二條 受附番號ハ一个年毎ニ更新スヘシ

第十三條 受附帳ニ申請人ノ氏名ヲ記載スル場合ニ於テ登記權利者又ハ登記義務者カ多數ナルト
キハ申請書ニ掲ケタル筆頭ノ者ノミノ氏名及ヒ他ノ人員ヲ記載スルヲ以テ足ル

第十四條 登記所ニハ登記簿、共同人名簿、見出帳及ヒ受附帳ノ外左ノ帳簿ヲ備フ
一 謄本抄本交付帳

二 申請書囑託書通知書附屬書類送達帳(明治三十五年七月司法省令第十三號ヲ以テ本號ヲ改
A)

三 圖面綴込帳

四 受領證原符元帳

五 各種通知簿

六 登記立會調書綴込帳

七 決定原本綴込帳

八 登記簿謄本綴込帳

九 土地貸帳謄本

十 土地異動通知書綴込帳

十一 土地登記簿通知簿

十二 抗告書類綴込帳

十三 本登記簿送交付帳

十四 印鑑簿

十五 印鑑證明書綴込帳(同上法令ヲ以テ本號ヲ追加ス)

十六 還納受領證綴込帳(同上)

第十四條ノ二 前條第一號第二號第四號乃至第八號第十號乃至第十三條第十五號及ヒ第十六號ノ帳簿ハ一年毎ニ別冊ト爲スヘシ(同上法令ヲ以テ本條ヲ追加ス)

第十五條 申請書、囑託書並ニ附屬書類ハ受附番號ノ順序ニ依リテ之ヲ編綴スヘシ

第十六條 圖面ニハ申請書受附ノ年月日、受附番號及ヒ登記番號ヲ記載シ受附番號ノ順序ニ依リテ之ヲ編綴シ丁數ヲ附スヘシ

第十七條 不動産登記法第四十四條ノ規定ニ依リ申請書ニ添附シタル書面ニ通ノ内一通ハ登記所ニ之ヲ保存スヘシ

第十八條 第十四條第五號ノ通知簿ニハ不動産登記法第六十一號第六十三條第七十七條第一項第一百十四條第二項第二百二十七條第二項第五百三十三條第二項及ヒ本令第六十二條第一項第六十三條第一項第六十九條ノ通知事項、通知ヲ受クル者及ヒ通知ヲ發スル年月日ヲ記入シ通知書ト契印スヘシ(同上法令ヲ以テ本條ヲ改ム)

第十九條 不動産登記法第十一條第二項ノ規定ニ依リ土地臺帳所管廳ヨリ受ケタル通知書ハ登記簿ヲ分設シタル區畫ニ從ヒ之ヲ編綴シ丁數ヲ附スヘシ但便宜ニ依リ之ヲ合綴スルコトヲ得

第二十條 事務ヲ避クル爲メ登記簿又ハ其附屬書類ヲ登記所外ニ持出シタルトキハ登記官吏ハ速ニ其旨ヲ司法大臣ニ具申スヘシ

第二十一條 裁判所又ハ豫審判事ヨリ申請書其他ノ附屬書類ヲ送附スヘキ命令又ハ囑託アリタルトキハ登記官吏ハ其關係アル部分ニ限り之ヲ送付スヘシ

第二十二條 登記簿ノ全部又ハ一部ガ滅失シタルトキハ登記官吏ハ遲滞ナク其事由、年月日、滅失

セシ登記簿ノ冊數其他不動産登記法第二十三條ノ告示ヲ爲スニ必要ナル事項ヲ詳細ニ記載シ且回復登記期間ヲ豫定シ地方裁判所長ニ申報スヘシ但區裁判所出張所ノ申報ハ管轄區裁判所ヲ經由スヘシ

地方裁判所長カ前項ノ申報ヲ受ケタルトキハ相當ノ調査ヲ爲シタル後司法大臣ニ具申ヲ爲スヘシ

第二十三條 登記簿及ヒ其附屬書類ノ滅失スル虞アルトキハ詳細其狀況ヲ取調ヘ且處分方法ヲ具シ前條ノ例ニ準シ申報又ハ具申ヲ爲スヘシ

第二十四條 登記所ニ於テ登記ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ廢毀セントスルトキハ目錄ヲ作り地方裁判所長ノ認可ヲ受クヘシ但區裁判所出張所カ認可ヲ請フトキハ管轄區裁判所ヲ經由スヘシ

第二十五條 不動産ノ所有者ハ其本籍地又ハ所在地ノ市、區、町村長(市、區、町村長ナキ地ニ於テハ其職務ヲ行フ吏員)ノ證明ヲ得タル印鑑ヲ不動産所在地ヲ管轄スル登記所ニ提出スヘシ改印ヲ爲シタルトキ亦同シ

不動産ヲ所有スル法人又ハ外國會社ノ代表者ハ法人又ハ外國會社ノ登記ニ關シ印鑑ヲ提出シタル登記所ノ證明ヲ得タル印鑑ヲ不動産所在地ヲ管轄スル登記所ニ提出スヘシ但法人又ハ外國會社ノ登記ニ關シ印鑑ヲ提出シタル登記所ト不動産所在地ヲ管轄スル登記所ト同一ナルトキハ此限ニ在ラス

第二十六條 印鑑ハ附錄第九號雜形ニ依リ之ヲ調製スヘシ

第二十七條 印鑑調製ノ様式及ヒ貼付ノ方法等ハ地方裁判所長之ヲ定ムヘシ

第二十八條 第二十五條ノ規定ハ官廳及ヒ公署ニハ之ヲ適用セズ

第二十九條 登記簿ノ謄本若クハ抄本ノ交付又ハ登記簿若クハ附屬書類ノ閱覽ヲ請求スル者ハ申請書ヲ提出スヘシ

代理人カ前項ノ請求ヲ爲ストキハ申請書ニ其權限ヲ證スル書面ヲ添付スヘシ

第三十條 土地登記簿謄本ノ交付又ハ土地登記簿若クハ附屬書類ノ閱覽ヲ請求スル場合ニ於テハ其申請書ニ左ノ事項ヲ記載シ申請人署名捺印スヘシ但閱覽ヲ請求スル申請書ニハ利害ノ關係アル事由ヲ記載シ又ハ其事由ヲ記載シタル書面ヲ添付スヘシ

- 一 土地所在ノ郡、市、區、町村、字及ヒ土地ノ番號
- 二 手数料ノ金額
- 三 登記所ノ表示
- 四 年月日

第三十一條 土地登記簿抄本ノ交付ヲ請求スル場合ニ於テハ其申請書ニ前條ニ掲ケタル事項ノ外抄本ノ交付ヲ請求スル部分ヲ記載シ申請人署名捺印スヘシ

第三十二條 前二條ノ規定ハ建物登記簿ノ謄本若クハ抄本ノ交付又ハ建物登記簿若クハ附屬書類ノ閱覽ノ請求ニ之ヲ準用ス但建物ノ番號アルトキハ申請書ニ其番號ヲモ記載スヘシ

第三十三條 不動産登記法第二十一條第二項ノ郵送料ハ郵便切手ヲ以テ之ヲ納付スヘシ

第三十四條 登記官吏カ第二十九條ノ申請書ヲ受取リタルトキハ受附帳ニ請求ノ目的、申請人ノ氏名、受附ノ年月日及ヒ受附番號ヲ記載シタル上受附番號ノ順序ニ從ヒテ相當ノ處分ヲ爲スヘシ

第三十五條 登記簿ノ謄本ハ登記簿ト同一様式ノ用紙ヲ以テ之ヲ作り其末尾ニ左ノ認證文ヲ記載シ

シタルモノヲ添附シテ契印ヲ爲シ登記官吏之ニ年月日ヲ記載シ且登記所ノ印ヲ押捺スヘシ
此謄本ハ登記簿ニ依リ之ヲ作り茲ニ登記簿ト相違ナキコトヲ認證ス

前項ノ規定ハ登記簿ノ抄本ニ之ヲ準用ス但抄本用紙ハ美濃紙ヲ用ユヘシ

第三十六條 登記簿ノ謄本又ハ抄本ヲ交付スルトキハ謄本抄本交付帳ニ謄本又ハ抄本ノ區別、交付ノ年月日及ヒ申請人ノ氏名ヲ記載シ謄本又ハ抄本ト契印スヘシ

前項ノ規定ハ登記簿ノ謄本ヲ他ノ登記所ニ移送スル場合ニ之ヲ準用ス

第三十七條 登記簿又ハ附屬書類ノ閱覽ハ登記官吏ノ面前ニ於テ之ヲ爲サシムヘシ

第三十七條ノ二 土地臺帳謄本及ヒ印鑑簿ハ永久ニ之ヲ保存スヘシ(同上法令ヲ以テ本條ヲ追加ス)

受附帳、登記立會調書綴込帳、登記簿謄本綴込帳及ヒ土地異動通知書綴込帳ハ十年間之ヲ保存スヘシ

決定原本綴込帳、抗告書類綴込帳及ヒ印鑑證明書綴込帳ハ五年間之ヲ保存スヘシ

謄本抄本交付帳、受領證原符元帳、各種通知簿、土地登記濟證通知簿、本登記濟證交付帳及ヒ還納受領綴込帳ハ三年間之ヲ保存スヘシ

前三項ノ帳簿ノ保存期間ハ當該年度ノ翌年ヨリ之ヲ起算ス

第二章 登記申請ノ手續

第三十八條 登記ヲ申請スルニハ申請書ニ其登記ヲ申請スルニ必要ナル事項ノ外登録稅額ヲ記載スヘシ但登録稅法第二條第一項第一號乃至第十七號ノ登記ニ付テハ課稅標準ノ價格ヲモ記載スヘシ

第三十九條 申請書カ數葉ニ滲ルトキハ申請人ハ每葉ノ綴目ニ契印スヘシ但登記権利者又ハ登記義務者カ多數ナルトキハ其一人ノ契印ヲ以テ足ル

第四十條 登記原因ヲ證スル書面カ初ヨリ存在セス又ハ之ヲ提出スルコト能ハサルトキハ申請書ニ其旨ヲ記載スヘシ

第四十一條 不動産カ數箇ノ登記所ノ管轄地ニ跨カル場合ニ於テ裁判所ノ指定シタル管轄登記所ニ登記ヲ申請スルトキハ申請書ニ裁判ノ謄本添附スヘシ

第四十二條 不動産登記法第二百二十八條又ハ第三百十條ノ規定ニ依リテ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ於テ登記スヘキ權利ノ目的タル不動産カ建物ナルトキハ申請書ニ圖面ヲ添附スヘシ

第四十三條 建物ノ圖面ニハ不動産登記法第三十六條第一號第二號並ニ第三十七條ニ掲ケタル事項及ヒ敷地ノ方法並ニ建物ノ形状、間尺、位置ヲ記載シテ申請人署名捺印スヘシ

圖面ハ總テ墨引、墨字ト爲シ若シ登記ノ目的外ナル建物アルトキハ其圖ハ朱引、朱字ト爲スヘシ

圖面ハ美濃紙ヲ以テ之ヲ調製スヘシ

第四十四條 登記原因及ヒ登記ノ目的カ同一ニシテ且登錄稅法第二條第一項第十號第十二號乃至第十六號第二十一號但書及ヒ第二十二號但書ノ規定ニ依リ登錄稅ヲ納付スヘキ場合ニ於テ數箇ノ登記所ノ管轄内ニ在ル數箇ノ不動産ニ關スル權利ノ登記ヲ申請スルトキハ最初ニ登記ヲ申請スル登記所ニ登錄稅ノ全額ヲ納付スヘシ(明治三十六年十月司法省令第二十五號ヲ以テ本條ヲ改ム)

前項ノ規定ニ從ヒ登錄稅ヲ納付シタルトキハ登記官吏ハ登記ヲ申請スヘキ登記所ノ數ニ應シ登錄稅ノ受領證ヲ申請人ニ交付スヘシ但二通以上ノ受領證ヲ交付スルトキハ各通ニ番號ヲ附スヘシ

申請人カ他ノ登記所ニ登記ヲ申請スルニハ申請書ニ受領證ヲ添附スヘシ

第四十五條 不動産登記法第四十四條ノ場合ニ於テハ申請書ニ登記濟證カ滅失シタル旨ヲ記載スヘシ

第四十六條 不動産登記法第四十四條ニ掲ケタル書面ニハ左ノ諸件ヲ記載シ保護人署名捺印スヘシ

- 一 登記ヲ受クヘキ不動産ノ表示及ヒ登記ノ目的
- 二 登記義務者ノ人連ナキコト
- 三 保護人カ其登記所ニ於テ登記ヲ受ケタル不動産ノ表示及ヒ年月日又ハ登記番號
- 四 保護人ノ住所、年齢
- 五 年月日

第三章 登記手續

第四十七條 登記官吏カ申請書ヲ受取リタルトキハ遲滯ナク申請ニ關スル總テノ事項ヲ調査スヘシ

第四十八條 登記番號ハ不動産登記法施行ノ日ヨリ更ニ新ナル番號ヲ附スヘシ

第四十九條 表示欄ニ登記ヲ爲シタルトキハ表示番號欄及ヒ表示欄ニ縦線ヲ劃シ事項欄ニ登記ヲ爲シタルトキハ順位番號及ヒ事項欄ニ縦線ヲ劃シテ餘白ト分界スヘシ

假登記ヲ爲シタルトキハ事項欄ノミニ縦線ヲ劃シ其左側ニ本登記ヲ爲シ得ヘキ相當ノ餘白ヲ存

シタル上順位番號欄及ヒ事項欄ニ從線ヲ劃スヘシ

第五十條 登記ノ申請書ニ圖面ヲ添附シタル場合ニ於テハ登記用紙中表示欄ニ爲シタル登記ノ末尾ニ圖面綴込帳ノ冊數及ヒ丁數ヲ記載スヘシ

第五十一條 申請書ニ記載シタル代理人ノ氏名、住所ハ登記簿ニ之ヲ記載スルコトヲ要セス

第五十二條 不動産登記法第七十六條第一項ノ場合ニ於テハ新用紙中登記番號ノ左側ニ其番號ノ第二ナルコトヲ附記シ前用紙中登記番號ノ左側ニ第一ノ文字ヲ追記スヘシ

前項ノ規定ハ第三以下繼續用紙ヲ設クル場合ニ之ヲ準用ス

第五十三條 不動産登記法第五十一條ノ規定ニ依リ共同人名簿ニ記載ヲ爲スニハ番號欄ニ番號ヲ記載シ氏名、住所欄ニ登記權利者又ハ登記義務者ノ全員ノ氏名、住所ヲ記載シ豫備欄ニ登記番號、申請書受附ノ年月日受附番號及ヒ順位番號ヲ記載シテ登記官吏捺印スヘシ

第五十四條 共同人名簿ニ登記權利者又ハ登記義務者ノ氏名、住所等ヲ記載シタルトキハ氏名、住所欄及ヒ持分欄ニ於ケル縱線ヲ番號欄及ヒ豫備欄ニ延長シテ餘白ト分界スヘシ

登記原因ニ持分ノ定ナキトキハ持分欄ニハ朱線ヲ交又スヘシ

第五十五條 共同人名簿ニ記載シタル登記權利者又ハ登記義務者ノ氏名、住所ノ變更又ハ持分ノ移轉若クハ變更ニ付キ登記簿ニ登記ヲ爲シタルトキハ人名簿中豫備欄ニ登記ノ目的タル新ナル事項、申請書受附ノ年月日、受附番號及ヒ順位番號ヲ記載シ登記官吏捺印シ前ニ記載シタル事項ヲ朱抹スヘシ

第五十六條 前條ノ場合ニ於テ豫備欄ニ餘白ナキトキハ新ニ番號欄ニ前番號ヲ轉寫シ其左側ニ第二ノ文字、前番號ノ用紙ヲ編綴セル共同人名簿ノ冊數、丁數及ヒ其繼續用紙ナルコトヲ記載シ

氏名、住所欄ニ登記權利者又ハ登記義務者ノ氏名ノミヲ記載シ持分欄ニハ朱線ヲ交又シ豫備欄ニ登記ノ目的タル新ナル事項、申請書受附ノ年月日、受附番號及ヒ順位番號ヲ記載シ登記官吏捺印スヘシ

前項ノ手續ヲ爲シタルトキハ前用紙ノ番號ノ左側ニ第一ノ文字、繼續用紙ヲ編綴セル共同人名簿ノ冊數、丁數及ヒ之ニ繼續スル旨ヲ記載スヘシ

前二項ノ規定ハ第三以下ノ繼續用紙ヲ設クル場合ニ之ヲ準用ス

第五十七條 共同人名簿ニ記載ヲ爲シタル場合ニ於テハ登記用紙中相當區事項欄ニ爲シタル登記ノ末尾ニ共同人名簿ニ於ケル番號ヲ記載スヘシ

第五十八條 登記シタル權利ノ順位ヲ讓渡シ又ハ拋棄シタル場合ニ於テ變更登記ヲ爲シタルトキハ其權利ノ登記ノ順位番號ノ左側ニ變更登記ノ順位番號ヲ記載スヘシ

第五十九條 附記登記ヲ爲シタルトキハ主登記ノ順位番號ノ左側ニ附記番號ヲ記載スヘシ

第六十條 登記簿ノ全部又ハ一部ヲ滅失シタルニ因リ登記回復ノ登記ヲ爲シタルトキハ前登記ノ登記簿ニ不動産登記法第六十條第一項ノ手續ヲ爲シタル上之ヲ申請人ニ還付スヘシ

第六十一條 土地臺帳所管廳ヨリ土地ノ異動ニ關スル通知アリタル場合ニ於テ其土地カ既登記ナルトキハ見出帳中相當欄ニ其通知書ヲ編綴セル土地異動通知書綴込帳ノ冊數及ヒ丁數ヲ記入シ其土地カ未登記ナルトキハ土地臺帳簿本ノ別冊ニ其土地ニ關スル事項ヲ記載シ備考欄ニ土地臺帳簿本原簿第何冊第何丁第何行ヨリ移シタル旨ヲ記入シ土地臺帳簿本原簿ノ備考欄ニハ別冊第何冊第何丁第何行ニ移シタル旨ヲ記入スヘシ

異動ノ通知ヲ受ケタル既登記ノ土地ニ付キ其異動ニ關シ變更登記ヲ爲シタルトキハ見出帳中其

異動ニ關シ土地異動通知書ノ冊數、丁數欄ニ爲シタル記入ヲ抹スヘシ

第六十二條 不動産カ數箇ノ登記所ノ管轄地ニ跨カル場合ニ於テ裁判所ノ指定ニ因リ登記ヲ爲シタルトキハ登記所ハ速ニ其旨ヲ他ノ登記所ニ通知スヘシ

前項ノ通知ヲ受タル登記所ハ見出帳中備考欄ニ其通知事項ヲ記入スヘシ

第六十三條 地役權ノ變更又ハ消滅ノ登記ヲ爲シタル場合ニ於テ其要役地カ他ノ登記所ノ管轄ニ屬スルトキハ遲滞ナク其登記所ニ變更又ハ消滅ノ事由及ヒ申請書受附ノ年月日ヲ通知スヘシ

前項ノ通知ヲ受ケタル登記所ハ遲滞ナク要役地タル不動産ノ登記用紙中相當區事項欄ニ通知ヲ受ケタル事項ヲ記載スヘシ

第六十四條 登記用紙ヲ閉鎖スルニハ表示欄ニ閉鎖ノ事由及其年月日ヲ記載シ登記官吏捺印シ不動産ノ表示、表示番號及ヒ登記番號ヲ抹スヘシ

第六十五條 不動産登記法第四十七條第二項ノ規定ニ依リ受領證ヲ交付スル場合ニ於テ登記權利者又ハ登記義務者カ多數ナルトキハ申請書ニ掲ケタル筆頭ノ者ノミノ氏名及ヒ他ノ人員ヲ記載スルヲ以テ足ル

第六十六條 不動産登記法第四十七條第二號ノ受領證ハ登記簿ヲ交付スルトキ之ヲ還納セシムヘシ

第六十七條 不動産登記法第十二條第二項ノ調書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一 申請人ノ氏名、住所

二 申請人カ登記官吏ナルコト又ハ登記官吏ノ妻若クハ登記官吏ノ四親等内ノ親族ナルコト

三 登記ヲ爲スヘキ不動産ノ表示及ヒ登記ノ目的

四 申請書受附ノ年月日及ヒ受附番號

五 立會人ノ氏名住所及ヒ年齡

六 立會人カ其登記所ニ於テ登記ヲ受ケタル不動産ノ表示及ヒ年月日又ハ登記番號

第六十八條 不動産登記法第十一條第一項ノ通知ニハ土地所在ノ郡、市、區、町村、字、土地ノ番號、地目、段別若クハ坪數、申請書受附ノ年月日、登記ノ目的及ヒ申請人ノ氏名、住所ヲ記載スヘシ

前項ノ通知ハ登記ヲ完了シタル日ヨリ十日内ニ之ヲ爲スヘシ但地租每納期終盡ノ前十日内ハ其部度通知ヲ爲スヘシ

第六十九條 登記官吏カ不動産登記法第二百二十九條第三百一十一條又ハ第三百三十三條ノ規定ニ依リ登記ヲ爲シタルトキハ不動産ノ表示、登記原因、其日附、登記權利者ノ氏名、住所、登記ノ目的及ヒ登記簿ノ旨ヲ不動産ノ所有者ニ通知スヘシ但第三百三十一條又ハ第三百三十三條ノ規定ニ依リ登記ヲ爲シタル場合ニ於テハ所有權以外ノ權利者ニモ其通知ヲ爲スヘシ

第七十條 不動産登記法第六十一條第六十三條第七十五條第一項及ヒ前條ノ通知ハ郵便其他便宜ノ方法ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

第七十一條 不動産登記法第一項第九條ノ場合ニ於テハ登記簿ノ表紙ニ管轄ノ變更アリタルコト及ヒ其年月日ヲ記載シ其表紙ニ記載シタル登記所ノ名稱ヲ變更スヘシ

同法第五十九條ノ場合ニ於テハ登記簿ノ表紙ニ行政區畫又ハ其名稱ノ變更アリタルコト及ヒ其年月日ヲ記載シ其表紙ニ記載シタル行政區畫又ハ其名稱ヲ變更スヘシ

附則

第七十二條 不動産登記法第六十三條ノ規定ニ依リ舊登記簿ヨリ登記ヲ移シタルトキハ表示欄及ヒ事項欄ニ移シタル登記ノ末尾ニ舊登記簿第何冊第何丁ヨリ移シタル旨及ヒ年月日ヲ記載シ登記官吏捺印スヘシ

前項ノ手續ヲ爲シタルトキハ舊登記簿表題部取消欄ニ新登記簿第何冊第何丁ニ移シタル旨、新登記番號及ヒ年月日ヲ記載シ登記官吏捺印スヘシ

第七十三條 不動産登記法第六十三條ノ第記ヲ爲ササル不動産ニ付キ其滅失ノ登記ノ申請アリトキハ舊登記簿ニ其登記ヲ爲スヘシ

第七十四條 愛付番號ハ明治三十二年分ニ限り六月十六日ヨリ之ヲ更新シ十二月三十一日ニ止ムヘシ

第七十五條 舊登記簿ノ謄本ハ舊謄本用紙ヲ以テ之ヲ作成スヘシ

第七十六條 明治二十六年(三月)司法省令第三號ニ依リ既ニ印鑑ヲ提出シタル者ハ更ニ之ヲ提出スルコト要セス

(附錄第一號乃至第八號ハ之ヲ略ス)

附錄第九號、用紙厚紙(五寸横一寸)

印鑑 氏名 郡市町村番地

(注意) 法人ノ代表者トナルトキハ氏名ノ肩ニ事務所又ハ營業所ノ所在地、法人ノ名稱並ニ代表者ノ資格ヲ記載スベシ

一定ノ町村又ハ其大字ノ土地登記簿ニ關スル件

(明治三十九年七月司法省令第十七號)

一定ノ町村又ハ其大字ノ土地登記簿ニ關スル件左ノ通相定ム

第一條 一定ノ町村又ハ其大字ノ土地登記簿ハ附錄第一號雜形ニ依リ之ヲ調製スルコトヲ得

前項ノ町村又ハ其ノ大字ハ地方裁判所長ノ具申ニ因リ司法大臣之ヲ定ム

第二條 前條ノ土地登記簿ヲ備ヘタル登記所ニハ地上權登記索引簿ヲ備フルコトヲ得

地上權登記索引簿ハ附錄第二號雜形ニ依リ之ヲ調製スヘシ

(附錄ハ之ヲ略ス)

土地ヲ分合シテ賣買讓與質入スル者登記請求以前

ニ爲スヘキ手續 (明治二十二年大藏省訓令第十三號)

一筆ノ土地ヲ分合シテ賣買讓與質入ヲ爲サントスル者ハ其登記請求者ニ於テ明治二十二年(四月)當省訓令第二十五號ノ手續ヲ爲サシムヘシ

(參照) 明治二十二年四月大藏省訓令第二十五號ハ土地分合筆取扱手續ナリ

同上 (明治二十二年十一月司法省訓令第十三號)

一筆ノ土地ニシテ之ヲ分合シ賣買讓與スルモノハ明治二十年大藏省訓令第二十五號ニ依リ行政廳ノ分合處分ヲ經タル上登記ヲナスヘキモノトス

(參照) 明治二十二年大藏省訓令第二十五號ハ土地分合筆取扱手續ナリ

債務者ニ代位スル債權者ノ登記申請ニ關スル件

(明治三十九年六月法律第五十五號)

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル債務者ニ代位スル債權者ノ登記申請ニ關スル法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

- 第一條 債權者カ民法第四百二十三條ニ依リ債務者ニ代位シテ登記ヲ申請スルニハ不動産登記法第三十五條第一項ニ掲ケタル書面ノ外代位原因ヲ證スル書面ヲ提出シ且申請書ニ同法第三十六條ニ記載シタル事項ノ外債權者ノ氏名住所若ハ債權者カ法人ナルトキハ其名稱並事務所及代位原因ヲ記載シ之ニ署名捺印スルコトヲ要ス
- 第二條 前條ノ申請アリタル場合ニ於テ事項欄ニ登記ヲ爲スニハ不動産登記法第五十條第二項ニ依ルノ外債權者ノ氏名住所又ハ各稱並事務所及代位原因ヲ記載スルコトヲ要ス
- 第三條 登記官吏カ登記ヲ完了シタルトキハ不動産登記法第六十條第一項ニ掲ケタル書類ヲ債權者ニ還付シ且登記簿ノ旨ヲ登記權利者ニ通知スルコトヲ要ス
- 不動産登記法第六十三條ノ通知ハ債權者ニモ亦之ヲ爲スコトヲ要ス

第二節 特別

工場抵當登記取扱手續

(明明三十八年六月司法省令第十八號)

工場抵當登記取扱手續左ノ通相定ム

工場抵當登記取扱手續

- 第一條 工場抵當法ニ依ル登記ニ付テハ本令ニ別段ノ定アルモノヲ除ク外不動産登記法施行細則ノ規定ニ依ル
- 第二條 工場財團登記簿ハ附錄第一號雛形ニ依リ地方裁判所ニ於テ之ヲ調製スヘシ
- 第三條 工場財團共同人名簿ハ附錄第二號雛形ニ依リ地方裁判所ニ於テ之ヲ調製スヘシ
- 第四條 工場財團所有權保存ノ登記ヲ申請スルニハ工場抵當法第二十二條ニ掲ケタル書面ノ外工場ノ圖面ヲ提出スヘシ
- 第五條 各別ノ所有者ニ屬スル數箇ノ工場ニ付工場財團所有權保存ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ工場抵當法第二十一條第一號乃至第三號ノ事項ニ付各所有者ノ氏名又ハ名稱ヲ記載スヘシ
- 第六條 工場財團目錄ノ記載ハ第九條ノ規定ニ從フヘシ
- 第七條 土地ニ付テハ郡、市、區、町村、字、土地ノ番號、地目、段別又ハ坪數及用方ヲ記載スヘシ
- 第八條 工作物ニ付テハ其ノ種類、構造及建坪又ハ延長ヲ記載シ且其ノ所在ノ土地ヲ表示スヘシ
- 第九條 機械、器具、電柱、電線、配置諸管、軌條其ノ他ノ附屬物ニ付テハ其ノ種類、構造、箇數又ハ延長ヲ記載シ若製作者ノ氏名又ハ名稱、製造ノ年月、記號、番號其ノ他同種類ノ他ノ物ト區別スルニ足ルヘキ特質アルトキハ其ノ特質ヲモ記載スヘシ
- 數箇ノ土地又ハ工作物ノ一ニ附屬スル物ニ付テハ其ノ附屬スル土地又ハ工作物ヲ表示スヘシ
- 輕微ナル附屬物ノ記載ハ概括シテ之ヲ爲スコトヲ得

第十條 登記シタル船舶ニ付テハ船舶登記規則十六條ニ掲ケタル事項ヲ記載スヘシ

第十一條 地上權ニ付テハ第七條ニ掲ケタル事項ノ外設定ノ目的及範圍、存續期間、地代及其ノ支拂時間ノ設定ノ年月日竝ニ所有者ノ氏名又ハ名稱及住所ヲ記載スヘシ

第十二條 賃借權ニ付テハ第七條、第八條、第九條又ハ第十條ニ掲ケタル事項ノ外存續期間、借賃及其ノ支拂時期、設定ノ年月日竝ニ貸賃人ノ氏名又ハ名稱及住所ヲ記載スヘシ

第十三條 工場抵當法第十六條第二項ニ依リ抵當權ノ目的タルヘキ地役權ニ付テハ承役地ノ表示設定ノ目的及範圍、設定ノ年月日竝ニ所有者ノ氏名又ハ名稱及住所ヲ記載スヘシ

第十四條 工業所有權ニ付テハ其ノ權利種類、名稱、番號及原簿登錄ノ年月日ヲ記載スヘシ

工業所有權ニ關スル實施權ニ付テハ實施權ノ範圍竝ニ本權ノ種類、名稱、番號、原簿登錄ノ年月日其及ノ權利者ノ氏名又ハ名稱及住所ヲ記載スヘシ

第十五條 數箇ノ工場ニ付工場財團ヲ設クル場合ニ於テハ各工場ニ屬スル者ヲ區分シ記載スヘシ

數箇ノ工場カ各別ノ所有者ニ屬スル場合ニ於テハ各所有者ニ屬スルモノヲ區分シテ記載スヘシ

第十六條 工場財團目錄ヲ作成スルニハ美濃列大ノ紙料ヲ用ユヘシ

第十七條 工場財團目錄ニハ其ノ每葉ノ綴目ニ契印スヘシ但シ申請人カ多數ナルトキハ其ノ一人ノ契印ヲ以テ足ル

第十八條 工場ノ圖面ニハ工場ニ屬スル土地及工作物ノ方位、形狀及間尺竝ニ重要ナル附屬物ノ配置ヲ記載シ申請人之ニ署名捺印スヘシ

地上權ノ目的タル土地、賃借權ノ目的タル土地及工作物竝ニ承役地ニ付テハ各其ノ方位形狀及間尺ヲ記載スヘシ

工場ノ一部ヲ以テ工場財團ヲ設クル場合ニ於テハ財團ニ屬スル部分ト之ニ屬セサル部分トヲ區分スヘシ

第十九條 登記官吏カ工場抵當法第二十條第三項ニ依リ表示欄ニ工場財團ノ表示ヲ爲スニハ工場ノ名稱、位置、主タル營業所及營業ノ種類ヲ記載スヘシ

第五條ノ場合ニ於テハ所有者ノ氏名又ハ名稱ヲモ記載スヘシ

第二十條 登記官吏カ登記ヲ爲シタルトキハ工場財團目錄及工場ノ圖面ニ申請書受付ノ年月日、受付番號及登記番號ヲ記載スヘシ

工場抵當法第三十九條ニ依リ提出シタル目錄ニハ申請書受付ノ年月日及受付番號ヲ記載スルヲ以テ足ル

第二十一條 登記官吏カ工場抵當法第二十三條第二項、第四項、第二十六條、第二十八條第二項、第三十四條第二項、第三十七條第二項、第四十三條、第四十四條第二項、第四項及第四十八條第二項ニ依リ通知ヲ爲ストキハ其ノ要旨、通知ヲ受クル者及通知ヲ發スル年月日ヲ不動産登記法施行細則第十四條第五號ノ通知簿ニ記入シ通知書ト契印スヘシ

第二十二條 登記官吏カ工場抵當法第二十三條第二項、第二十八條第二項、第三十四條第二項、第三十七條第二項、第四十三條、第四十四條第二項及第四十八條第二項ニ依リ通知ヲ受ケタルトキハ受付帳ニ通知事項ノ要旨、通知ヲ爲シタル登記所ノ名稱、受付ノ年月日及受付番號ヲ記載シ通知書ニ受付ノ年月日及受付番號ヲ記載スヘシ但シ通知事項ノ要旨ハ登記ノ目的欄ニ、通知ヲ爲シタル登記所ノ名稱ハ申請人ノ氏名欄ニ之ヲ記載スヘシ

第二十三條 工場財團目錄及工場ノ圖面ハ永久ニ之ヲ保存スヘシ

第二十四條 工場抵當法第三條ノ場合ニ於テハ土地又ハ建物カ同法第一條ノ工場ニ屬スルモノナルコトヲ證スルニ足ルヘキ書面ヲ提出スヘシ

第二十五條 前條ノ場合ニ於テ土地又ハ建物ノ登記用紙中相當區事項欄ニ其ノ登記ヲ爲ストキハ工場抵當法第三條ニ依リテ目錄ノ提出アリタルコトヲ記載スヘシ

第二十六條 第九條、第十六條、第十七條、第二十條及第二十三條ノ規定ハ工場抵當法第三條ノ目錄ニ之ヲ準用ス

附則

本令ハ工場抵當法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス
(附録ハ之ヲ略ス)

鑛業抵當登記取扱手續

(明治三十八年六月司法省令第十九號)

鑛業抵當登記取扱手續左ノ通相定ム

鑛業抵當登記取扱手續

第一條 鑛業抵當法ニ依ル鑛業財團ノ登記ニ付テハ本令ニ別段ノ定アルモノヲ除ク外工場抵當登記取扱手續中工場財團ニ關スル規定ヲ準用ス

第二條 鑛業財團所有權保存ノ登記ヲ申請スルニハ鑛業抵當法第三條及工場抵當法第二十二條ニ掲ケタル書面ノ外工作物ノ配置ヲ記載シタル圖面ヲ提出スヘシ

前項ノ圖面ニハ申請人署名、捺印スヘシ

第三條 鑛業財團目錄ニ掲クヘキ鑛業權ニ付テハ鑛區ノ位置、鑛物ノ名稱、鑛區ノ面積、鑛業權

設定ノ年月日及其ノ登録番號ヲ記載スヘシ

探掘權ニ付期限アルモノニ付テハ其ノ期限ヲモ記載スヘシ

第四條 鑛業財團目錄ニ掲クヘキ土地ノ使用權ニ付テハ土地所在ノ郡、市、區、町、村、字、土地ノ番號、地目、段別又ハ坪數、使用ノ目的、使用ノ時期、使用ノ期間、使用料及其ノ支拂時期並ニ土地所有者及關係人ノ氏名又ハ名稱及住所ヲ記載スヘシ

第五條 數箇ノ鑛業權ニ付鑛業財團ヲ設ケル場合ニ於テ鑛業財團目錄ヲ作成スルニハ各鑛區ニ屬スルモノヲ區分シテ記載スヘシ但シ數箇ノ鑛區ニ付合併施業ヲ爲ス場合ハ此ノ限ニアラス

第六條 登記官吏カ鑛業財團登記簿ノ用紙中表示欄ニ鑛業財團ノ表示ヲ爲スニハ鑛區ノ位置、鑛物ノ名稱、鑛區ノ面積、鑛業權ノ登録番號及鑛業事務所ヲ記載スヘシ

第七條 鑛業財團目錄及第二條ニ依リ提出シタル圖面ハ永久ニ保存スヘシ

附則

本令ハ鑛業抵當法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

立木登記規則

(明治四十三年四月司法省令第五號)

立木登記規則左ノ通相定ム

立木登記規則

第一條 明治四十二年法律第二十二號ニ依ル立木ノ登記ニ付テハ本令ニ別段ノ定アルモノヲ除ク外不動産登記法施行細則ノ規定ニ依ル

第二條 立木登記簿ハ附録第一號雛形ニ依リ地方裁判所ニ於テ之ヲ調製スヘシ

第三條 立木共同人名簿ハ附錄號ニ依リ地方裁判所ニ於テ之ヲ調製スヘシ

第四條 立木登記見出帳ハ附錄第三號雛形ニ依リテ之ヲ調製スヘシ

第五條 立木登記見出帳ニハ豫メ一ノ部ヨリ九ノ部マテヲ設ケ置キ登記用紙ニ登記番號ヲ記載スル毎ニ立木ノ存スル土地ノ番號ノ頭字ニ依リ相當ノ部ニ其ノ土地ノ番號、登記用紙ヲ編綴セル登記簿ノ冊數、丁數及登記番號ヲ記入シ若樹木ノ生立スル部分ヲ表示スヘキ名稱又ハ番號アルトキハ其ノ名稱又ハ番號ヲモ記入スヘシ但シ立木ノ存スル土地カ二箇以上ノ番號ヲ有スルトキハ其ノ少ナキ番號ノ部ノミニ記入スヘシ

第六條 第四條ニ定メタル雛形ノ見出帳ヲ使用スルヲ不便トスル地方ニ在リテハ地方裁判所長ハ既登記ノ地上權者ノ申請ニ因リ立木ニ付所有權保存ノ登記ヲ爲シタル場合ニ於テハ前項ノ外其ノ地上權ノ順位番號ヲモ記入スヘシ

第七條 不動產登記法施行細則第三十條及第三十一條ノ規定ハ立木登記簿ノ謄本若ハ抄本ノ交付特別ノ見出帳ヲ調製セシムルコトヲ得

第八條 樹木ノ數量ハ材積及本數ヲ記載スヘシ但シ三十年生以下ノ樹木ニアリテハ本數ヲ記載スルヲ以テ足ル

材積ノ單位、呼稱及測定方法ハ各地方ノ慣習ニ從フ

第九條 一集團ニ二種以上ノ樹木生立スル場合ニ於テハ各種毎ニ材積及本數ヲ記載スヘシ

第十條 樹齡ハ一集團ニ年齡ノ異ナル樹木ノ生立スル場合ニ於テハ何年生以上何年生以下ト記載スルヲ以テ足ル

第十一條 樹種、數量及樹齡ヲ申請書ニ記載スル場合ニ於テハ之ヲ調査シタル年度ヲ記載スヘシ

第十二條 既登記ノ地上權者カ立木ニ付所有權保存ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ其ノ地上權ノ順位番號ヲ記載スヘシ

第十三條 登記ノ申請書ニ添附スヘキ圖面ハ附錄第四號雛形ニ準シテ調製シ之ニ左ノ事項ヲ記載シ申請人署名捺印スヘシ

一 立木所在ノ郡、市、區、町村、字及土地ノ番號

二 地目及段別

三 樹木カ一筆ノ土地ノ一部分ニ生立スル場合ニ於テハ其ノ部分ノ位置及段別其ノ部分ヲ表示スヘキ名稱又ハ番號アルトキハ其ノ名稱又ハ番號

四 立木ノ存スル土地又ハ土地ノ部分ノ境界ニ道路、河川、湖海、沼池其ノ他境界ノ目標タルヘキモノアルトキハ其ノ名稱及位置

五 隣接地ノ番號並地目及其ノ所有者ノ氏名

六 立木カ一筆ノ土地ノ一部分ニ存スル場合ニ於テハ其ノ部分ニ隣接スル他ノ部分ノ表示

七 隣接スル土地又ハ土地ノ部分ニ生立スル樹木ノ所有者カ土地ノ所有者ト異ナルトキハ其ノ樹木ノ所有者ノ氏名

第十四條 市區町村ニ地方長官ノ認可ヲ得テ作製シタル立木ニ關スル實測圖面及公簿ノ備アルト

キハ登記ノ申請書ニ其ノ圖面及公簿ノ謄本ヲ添附スヘシ但シ此ノ圖面ハ前條ニ掲ケタル事項ヲ具備スルコトヲ要ス

第十五條 抵當權設定ノ登記ノ申請書ニ記載スヘキ施業方法カ詳密ニ涉ルトキハ申請書ノ記載ニ代ヘ其ノ方法ヲ記載シタル書面ヲ添附スヘシ

第十六條 前條ノ添附書面ニハ申請人之ニ署名捺印シ且其ノ書面カ數葉ニ涉ルトキハ每葉ノ綴目ニ契印スヘシ但シ登記權利者又ハ登記義務者カ多數ナルトキハ其ノ一人ノ署名捺印又ハ契印ヲ以テ足ル

第十七條 第十五條ノ添附書面ハ受附番號ノ順序ニ依リテ之ヲ編綴シ且之ニ丁數ヲ附スヘシ

第十八條 第十五條ノ場合ニ於テ登記官吏カ乙區事項欄ニ抵當權設定ノ登記ヲ爲ストキハ施業方法ヲ記載シタル添附書面ノ提出アリタル旨ヲ記載シ登記ノ末尾ニ其ノ書面ノ綴込帳ノ冊數及丁數ヲ記載シ且添附書面ニ申請書受附ノ年月日受附番號、登記番號及順位番號ヲ記載スヘシ

前項ノ記載ヲ爲シタルトキハ添附書面ニ掲ケタル施業方法ハ乙區事項欄ニ記載セラレタルモノト看做ス

第十九條 添附書面ニ掲ケタル施業方法ノ變更ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ其ノ變更ヲ記載シタル書面ヲ添附スヘシ

第二十條 第十六條乃至第十八條ノ規定ハ前條ノ登記ニ之ヲ準用ス

第二十一條 登記官吏カ添附書面ニ掲ケタル施業方法ノ變更ノ登記ヲ爲シタルハ添附書面中變更シタル事項ヲ朱抹シ其餘白ニ變更ヲ記載シタル書面ノ冊數及丁數ヲ記入スヘシ

第二十二條 前三條ノ規定ハ添附書面ニ掲ケタル事項ノ更正ノ登記ニ之ヲ準用ス

附則

本令ハ明治四十二年法律第二十二號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

(附錄第四號圖式ハ之ヲ略ス)

第三節 登記ノ囑託

各省ノ所管ニ係ル不動産ノ登記ノ囑託ニ關スル件

(明治三十五年一月勅令第五號)

朕各省ノ所管ニ係ル不動産ノ登記ノ囑託ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

各省大臣カ其ノ所管ニ係ル不動産ノ登記ノ囑託ヲ爲ス場合ニ於テ省令ヲ以テ指定シタル官吏ハ不動産登記法第三十五條第五號ノ書面ヲ提出スルヲ要セス

同上法令ニ依ル囑託官吏指定 (明治三十五年四月內務省令第十三號)

當省所管ニ係ル不動産ノ登記ノ囑託ニ就テハ左ノ官吏ヲ指定ス

- 北海道廳長官 樺太廳長官 府縣知事 神宮大宮司 本省「總務局」會計局長
- 本省衛生局長 「警察監獄學校幹事」 土木監督署長 衛生試驗所長 「血清藥院長」
- 「痘苗製造所長」 傳染病研究所長 北海道廳支廳長 樺太廳支廳長
- 島司、郡長(明治三十七年內務省令第九號、同三十八年同省令第三號、第十九號及同四十一年同省令第十九號ヲ以テ令中改正)

キハ登記ノ申請書ニ其ノ圖面及公簿ノ謄本ヲ添附スヘシ但シ此ノ圖面ハ前條ニ掲ケタル事項ヲ具備スルコトヲ要ス

第十五條 抵當權設定ノ登記ノ申請書ニ記載スヘキ施業方法カ詳密ニ涉ルトキハ申請書ノ記載ニ代ヘ其ノ方法ヲ記載シタル書面ヲ添附スヘシ

第十六條 前條ノ添附書面ニハ申請人ノ署名捺印シ且其ノ書面カ數葉ニ涉ルトキハ每葉ノ綴目ニ契印スヘシ但シ登記權利者又ハ登記義務者カ多數ナルトキハ其ノ一人ノ署名捺印又ハ契印ヲ以テ足ル

第十七條 第十五條ノ添附書面ハ受附番號ノ順序ニ依リテ之ヲ編綴シ且之ニ丁數ヲ附スヘシ

第十八條 第十五條ノ場合ニ於テ登記官吏カ乙區事項欄ニ抵當權設定ノ登記ヲ爲ストキハ施業方法ヲ記載シタル添附書面ノ提出アリタル旨ヲ記載シ登記ノ末尾ニ其ノ書面ノ綴込帳ノ冊數及丁數ヲ記載シ且添附書面ニ申請書受附ノ年月日受附番號、登記番號及順位番號ヲ記載スヘシ
前項ノ記載ヲ爲シタルトキハ添附書面ニ掲ケタル施業方法ハ乙區事項欄ニ記載セラレタルモノト看做ス

第十九條 添附書面ニ掲ケタル施業方法ノ變更ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ其ノ變更ヲ記載シタル書面ヲ添附スヘシ

第二十條 第十六條乃至第十八條ノ規定ハ前條ノ登記ニ之ヲ準用ス

第二十一條 登記官吏カ添附書面ニ掲ケタル施業方法ノ變更ノ登記ヲ爲シタルハ添附書面中變更シタル事項ヲ朱抹シ其餘白ニ變更ヲ記載シタル書面ノ冊數及丁數ヲ記入スヘシ

第二十二條 前三條ノ規定ハ添附書面ニ掲ケタル事項ノ更正ノ登記ニ之ヲ準用ス

附則

本令ハ明治四十二年法律第二十二號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

(附錄第四號圖式ハ之ヲ略ス)

第三節 登記ノ囑託

各省ノ所管ニ係ル不動産ノ登記ノ囑託ニ關スル件

(明治三十五年一月勅令第五號)

朕各省ノ所管ニ係ル不動産ノ登記ノ囑託ニ關スル件ヲ裁可シ竝ニ之ヲ公布セシム

各省大臣カ其ノ所管ニ係ル不動産ノ登記ノ囑託ヲ爲ス場合ニ於テ省令ヲ以テ指定シタル官吏ハ不動産登記法第三十五條第五號ノ書面ヲ提出スルヲ要セス

同上法令ニ依ル囑託官吏指定 (明治三十五年四月内務省令第十三號)

當省所管ニ係ル不動産ノ登記ノ囑託ニ就テハ左ノ官吏ヲ指定ス

- 北海道廳長官 樺太廳長官 府縣知事 神宮大宮司 本省「總務局」會計局長
- 本省衛生局長 「警察監獄學校幹事」 土木監督署長 衛生試驗所長 「血清藥院長」 「痘苗製造所長」 傳染病研究所長 北海道廳支廳長 樺太廳支廳長
- 島司、郡長(明治三十七年内務省令第九號、同三十八年同省令第三號、第十九號及同四十一年同省令第十九號ヲ以テ令中改正)

同上 (明治三十五年大藏省令第十號)

當省ノ所管ニ係ル不動産登記ノ囑託ニ付テハ左ノ官吏ヲ指定ス(明治三十五年大藏省令第三三號、三六年同令第三六號、三七年同令第二〇號、第三五號、三八年同令第二三號、第四〇號、三九年同令第二七號、四〇年同令第四五號、四一年同令第四九號、四三年同令第二五號ニテ改正ヲ加フ)
警視總監 北海道廳長官 府縣知事 大臣官房會計課長 大臣官房營繕課長 專賣局長官 專賣局收納所長 專賣局製造所長 專賣局販賣所長 專賣局收納所出張所長 印刷局長 造幣局長 稅關長 稅務監督局長 稅務署長 樟腦事務局長 鹽務局長 大藏省臨時建築部長 馬政長官 種馬牧場長 種馬育成所長 種馬所長 鐵道院總裁 鐵道院建設部長 鐵道管理局長 鐵道院出張所長 鐵道院建設事務所長 鹽務省出張所長 臨時沖繩縣土地整理事務局長官 臨時稅關工事部長

同上 (明治三十五年二月陸軍省令第四號)

本年勅令第五號ニ依リ當省所管ニ係ル不動産ノ登記囑託ニ關シ左ノ巡指定ス
師團經理部長 臺灣陸軍經理部長 臨時陸軍建築部本部長兼支部長 砲兵工廠提理 築城部本部長並同支部長 要塞司令部及對馬警備隊司令部工兵科將校 千住製絨所長 陸地測量部長 (明治四十年四月陸軍省令第七號ヲ以テ本令中改刪)

同上 (明治三十五年一月海軍省令第三號)

本年勅令第五號ニ依リ當省所管ニ係ル不動産ノ登記ノ囑託ニ就テハ東京府下ニ在テハ海軍省經理局長其ノ他ハ所管鎮守府「經理部長」ヲ指定ス

同上 (明治三十六年五月司法省令第十八號)

當省所管ニ係ル不動産登記ノ囑託ニ付テハ左ノ官吏ヲ指定ス
司法省「總務局」營繕課長 控訴院長(東京控訴院長ヲ除ク) 地方裁判所長 典獄

同上 (明治四十年十一月文部省令第三十二號)

當省所管ニ係ル不動産登記ノ囑託ニ付テハ左ノ官吏ヲ指定ス(明治四十一年六月文部省令第二十二號ヲ以テ本令中ニ追加ス)
北海道廳長官 府縣知事 文部大臣官房會計課長 帝國大學總長 東北帝國大學農科大學長 文部省直轄諸學校長

同上 (明治四十年五月農商務省令第十四號)

明治三十五年(三月)農商務省令第四號ヲ左ノ通改正シ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス(明治四十年九月農商務省令第十八號ヲ以テ改正ヲ加フ)
當省所管ニ係ル不動産登記囑託ニ關シ本官ノ代理トシテ左ノ通り指定ス

- 大臣官房會計課長
- 山林局長
- 製鐵所長官
- 特許局長
- 大林區署長
- 鑛山監督署長
- 農事試驗場長
- 工業試驗所長
- 生絲検査所長
- 花蒞検査所長
- 種牛牧場長
- 蠶業講習所長
- 水産講習所長
- 糖業改良事務所長
- 沖繩縣知事
- 日本大博覽會長

同上 (明治三十五年二月逕信省令第五號)

當省所管ニ係ル不動産ノ登記ノ囑託ニ就テハ左ノ官職ニ在ルモノヲ以テ本官ノ代理ニ指定ス (明治三十六年九月逕信省令第四十一號、同四十年同令第十五號ヲ以テ令中改正)

但明治三十二年(七月)逕信省令第三十一號、同三十三年(九月)逕信省令第五十三號ハ廢止ス

- 本省各局長
- 總務局會計課長
- 通信管理局長
- 一等郵便局長
- 郵便爲替貯金管理所長
- 電信燈臺用品製造所長
- 帝國鐵道廳總裁
- 航路標識管理所長
- 海軍局長
- 帝國鐵道廳工務部長
- 帝國鐵道廳出張所長
- 東京郵便電信學校長
- 帝國鐵道廳經理局長
- 帝國鐵道廳建設事務所長
- 商船學校長
- 鐵道作業局工務部長
- 鐵道作業局出張所長
- 東京郵便電信學校長
- 商船學校長

第四節 雜則

登記事務ノ取扱ニ關スル件

(明治二十一年十二月司法省訓令第十九號)

登記事務ノ儀ハ情况ニヨリ必要ト認ムルトキハ十二月三十一日マテ取扱ハシム可シ

登記事務費ハ國庫ノ支出トス (明治二十年六月勅令第二十四號)

朕登記事務費國庫支出ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

登記法第三條ニ依リ郡區役所其他司法大臣ノ指定スル所ニ於テ取扱フ登記事務ノ費用ハ本年七月一日ヨリ國庫ノ支出トス

土地登記簿建物登記簿及商業登記簿ノ謄本又ハ抄本

ノ請求ニ關スル手数料 (明治三十二年五月司法省令第十四號)

土地登記簿建物登記簿工場財團登記簿、鑛業財團登記簿、立木登記簿及ヒ商業登記簿ノ謄本又ハ抄本ノ請求等ニ關スル手数料左ノ通相定ム(明治三十八年司法省令第二十號、同四十三年同省令第六號ヲ以テ令中ニ改正ナ加フ)

第一條 不動産登記法第二十一條又ハ非訟事件手續法第一百四十二條ノ規定ニ依リ登記簿ノ謄本又ハ抄本ノ交付ヲ請求スル者ハ其用紙一枚ニ付キ手数料金十錢ヲ約ムヘシ但一枚ニ滿タサルモノ

ト雖モ仍ホ之ヲ一枚ニ計算ス

第二條 不動産登記法第二十一條ノ規定ニ依リ登記簿又ハ其附屬書類ノ閱覽ヲ請求スル者ハ手数料金十錢ヲ納ムヘシ

第三條 非訟事件手續法第四百十三號ノ規定ニ依リ登記事項ニ變更ナキコト又ハ或事項ノ登記ナキコトノ證明ヲ請求スル者ハ每一件手数料金十錢ヲ納ムヘシ

第四條 明治三十二年司法省令第十三號第二十七條ノ規定ニ依リ商業登記ニ付キ登記證書ノ交付ノ請求スル者ハ手数料金五錢ヲ納ムヘシ

第五條 手数料ハ收入印紙ヲ申請書ニ貼附シテ之ヲ納ムヘシ

第六條 第一條乃至第三條ノ規定ハ官吏又ハ公吏カ政府ノ利益ノ爲メ其職務ヲ以テ請求スル場合ニハ之ヲ適用セス

第二章 永代借地權登記

外國人又ハ外國法人ノ物權登記ニ關スル件

(明治三十二年三月法律第七十一號)

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル外國人又ハ外國法人ノ物權ノ登記ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

外國人又ハ外國法人カ改正條約實施前ニ爲シタル不動産又ハ船舶ニ關スル物權ノ得喪及ヒ其變更ニ付キ登記ヲ爲スヘキ場合及ヒ其登記ノ手續ニ付テハ勅令ヲ以テ別段ノ規定ヲ設クルコトヲ得

永代借地ニ關スル件 (明治三十四年九月勅令第七十八號)

朕永代借地權ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

第一條 永代借地ノ所在地ヲ管轄スル地方廳ニ於テ永代借地權ノ移轉ヲ地券ニ記載スルコトノ申請ヲ受ケタルトキ又ハ永代借地權ニ關スル届出ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク其ノ永代借地ノ所在地ヲ管轄スル登記所ニ其ノ旨ヲ通知スヘシ

永代借地權ノ移轉ニ關スル通知ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ通知書ニ永代借地券ノ謄本ヲ添附スヘシ但シ既ニ通知ヲ爲シタル永代借地ニ關シ更ニ通知ヲ爲ス場合ニ於テハ地券ノ謄本ヲ添附スルコトヲ要セス此ノ場合ニ於テハ通知書ニ永代借地ノ表示、當事者ノ氏名、國籍、住所、權利移轉ノ原因及ヒ其年月日ヲ記載スヘシ

第二條 永代借地及ヒ永代借地ノ上ニ存スル建物ノ登記ニ付テハ特別ノ登記簿ヲ設ケ之ヲ登記所ニ備フヘシ

第三條 登記簿ハ永代借地登記簿及ヒ建物登記簿ノ二種トス

第四條 永代借地登記簿ハ其一用紙ヲ登記番號欄、表題部及ヒ甲乙丙丁戊ノ五區ニ分チ尙表題部ニ表示欄、表示番號欄ヲ設ケ各區ニ事項欄、順位番號欄ヲ設ケ

登記番號欄ニハ各永代借地ニ付登記簿ニ始メテ登記ヲ爲シタル順序ヲ記載ス

表示欄ニハ永代借地ノ表示ヲ爲シ及ヒ其變更ニ關スル事項ヲ記載シ表示番號欄ニハ表示欄ニ登記事項ヲ記載シタル順序ヲ記載ス

甲區事項欄ニハ永代借地權ニ關スル事項ヲ記載ス

乙區事項欄ニハ地上權、永小作權及此等ノ權利ヲ目的トスル他ノ權利ニ關スル事項ヲ記載ス

丙區事項欄ニハ地役權ニ關スル事項ヲ記載ス

丁區事項欄ニハ先取特權、質權及抵當權ニ關スル事項ヲ記載ス

戊區事項欄ニハ賃借權ニ關スル事項ヲ記載ス

第五條 永代借地權登記簿ハ其用紙ヲ登記番號欄、表題部及甲乙丙丁ノ四區ニ分テ尙表題部ニ表示欄、表示番號欄ヲ設ケ各區ニ事項欄、順位番號欄ヲ設ケ

登記番號欄ニハ各建物ニ付登記簿ニ始メテ登記ヲ爲シタル順序ヲ記載ス
表示欄ニハ建物及附屬建物ノ表示ヲ爲シ及其ノ變更ニ關スル事項ヲ記載シ表示番號欄ニハ表示欄ニ登記事項ヲ記載シタル順序ヲ記載ス

甲區事項欄ニハ所有權ニ關スル事項ヲ記載ス

乙區事項欄ニハ地役權ニ關スル事項ヲ記載ス

丙區事項欄ニハ先取特權、質權及抵當權ニ關スル事項ヲ記載ス

丁區事項欄ニハ賃借權ニ關スル事項ヲ記載ス

順位番號欄ニハ事項欄ニ登記事項ヲ記載シタル順序ヲ記載ス

第六條 未登記ノ永代借地權ヲ目的トスル權利ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ永代借地權ヲ證スルニ足ルヘキ書面ヲ添附スヘシ

第七條 登記所ニ於テ永代借地權ノ移轉ニ關スル通知ヲ受ケタルトキハ其ノ永代借地權ヲ既登記ナルト未登記ナルトヲ問ハズ職權ヲ以テ永代借地權移轉ノ登記ヲ爲スヘシ

既登記ノ永代借地權ニ關スル届出ノ通知ヲ受ケタル場合ニ於テ登記ニ變更ヲ生スヘキトキハ職權ヲ以テ變更ノ登記ヲ爲スヘシ

未登記ノ永代借地權ヲ目的トスル權利ニ付登記ノ申請アリタルトキハ職權ヲ以テ永代借地權ノ登記ヲ爲スヘシ

第八條 明治三十二年勅令第二百五十一號ヲ以テ定メタル期日前ニ永代借地及永代借地ノ上ニ存スル建物ニ關シ外國領事廳ニ於テ爲シタル登記ハ領事廳ヨリ登記簿又ハ其ノ謄本ヲ登記所ニ引渡シタルモノニ限り本令ニ依リテ爲シタル登記ト同一ノ效力ヲ有ス

第九條 明治三十二年勅令第三百廿五號ニ依リ登記セラレタル不動産ニ付本令施行ノ後登記ヲ爲ス場合ニ於テハ本令ニ依リテ備ヘタル登記簿ノ用紙中登記番號欄ニ其登記簿ニ於ケル登記ノ順序ヲ追ヒテ新ナル番號ヲ記載シ其ノ左側ニ前登記番號ヲ記載シ表示欄ニ不動産ノ表示ヲ移シ相當區順位番號欄及事項欄ニ舊登記簿ノ用紙ニ爲シタル登記ヲ移シ舊登記簿ノ用紙ヲ閉鎖スヘシ前項ノ規定ハ外國領事廳ニ於テ登記セラレタル不動産ニ付本令施行ノ後登記ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第十條 永代借地權ハ他ノ名稱ニテ登記セラレタルモノト雖前條ノ規定ニ依リ登記ヲ移ス場合ニ於テハ之ヲ永代借地權ト記載スヘシ

第十一條 永代借地權又ハ永代借地ノ上ニ存スル建物ノ所有權ヲ目的トスル權利ニ付登記ヲ爲ス場合ニ於テ登記スヘキ權利第四條又ハ第五條ノ規定ニ適合セサルトキハ登記用紙ノ各區中其ノ權利ト最モ類似スル權利ヲ登記スヘキ區ニ其ノ登記ヲ爲スヘシ

第十二條 本令ニ規定セサル事項ニ付テハ不動産登記法ノ規定ヲ準用ス

附則

第十三條 本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第十四條 明治三十二年勅令第三百二十九號ハ之ヲ廢止ス

帝國ノ臣民又ハ法人ニ於テ政府ノ永代借地券ヲ以テ國人又ハ外國法人ノ爲ニ設定シタル永代借地權ヲ取得シタル場合ニ關スル件 (明治三十四年九月勅令第百七十九號)

朕帝國ノ臣民又ハ法人ニ於テ政府ノ永代借地券ヲ以テ外國人又ハ外國法人ノ爲ニ設定シタル永代借地權ヲ取得シタル場合ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

第一條 帝國ノ臣民又ハ法人ガ政府ノ永代借地券ヲ以テ外國人又ハ外國法人ノ爲ニ設定シタル永代借地權ヲ取得シタルトキハ遲滯ナク其ノ土地所在地ヲ管轄スル地方廳ニ永代借地券ヲ提出シテ抹消ヲ受クヘシ

前項ニ依リ永代借地券ノ抹消ヲ受ケタルトキハ帝國ノ臣民又ハ法人ハ其ノ土地ノ所有權ヲ取得ス

第二條 帝國ノ臣民又ハ法人ガ前條第一項ノ規定ニ依リ永代借地券ノ抹消ヲ受ケタルトキハ地方廳ハ其ノ土地所在地ヲ管轄スル登記所ニ其ノ旨ヲ通知スヘシ

第三條 第一條ノ場合ニ於テ永代借地權ヲ目的トシタル權利ヲ有スル第三者アルトキハ其ノ權利ハ所有權ヲ目的トシタルモノトシテ存續ス

附則

第四條 本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第五條 明治三十二年勅令第三百三十三號ハ之ヲ廢止ス

第六條 政府ノ永代借地券ヲ以テ外國人又ハ外國法人ノ爲ニ設定シタル永代借地權ニシテ本令施行前帝國法人ノ取得シタルモノハ其ノ土地ニ付既ニ所有權ノ登記アリタル場合ヲ除キ永代借地權トシテ存續ス但シ第一條ニ依リ所有權ヲ取得スルコトヲ妨ケス

〔參照〕 明治三十二年(七月)勅令第三百三十三號ハ帝國ノ臣民又ハ法人ニ於テ外國人又ハ外國法人ノ爲ニ永久存續ノ意思ヲ以テ設定シタル地上權又ハ賃借權ヲ取得シタル場合ニ關スル件ナリ

永代借地及永代借地ノ上ニ存スル建物ニ關スル登記

取扱手續 (明治三十四年九月司法省令第十五號)

永代借地及ヒ永代借地ノ上ニ存スル建物ニ關スル登記取扱手續左ノ通相定ム

第一條 永代借地及ヒ永代借地ノ上ニ存スル建物ニ關スル登記ニ付テハ本令ニ別段ノ定アルモノヲ除ク外不動産登記法施行細則ノ規定ヲ準用ス

第二條 永代借地登記簿ハ附錄第一號雜形ニ依リ借地建物登記簿ハ附錄第二號雜形ニ依リ地方裁判所ニ於テ之ヲ調製スヘシ

第三條 外國領事廳ノ登記簿謄本及ヒ其譯文ハ之ヲ登記所ニ備フヘシ

第四條 登記ノ申請書ニ添附スル書面カ外國語ヲ以テ記載シタルモノナルトキハ申請人ハ之ニ其譯文ヲ附スヘシ

第五條 外國領事廳ノ登記ヲ登記簿ニ移スニハ其譯文ニ依ルヘシ

外國領事廳ノ登記ヲ登記簿ニ移シタルトキハ外國領事廳ノ登記簿ノ謄本及ヒ其譯文ニ登記簿第何冊第何丁ニ移シタル旨登記番號及ヒ年月日ヲ記載シ登記官吏捺印スヘシ

第六條 明治三十四年勅令第百七十九號第二條ニ依リ地方廳ヨリ永代借地券ノ抹消ノ通知アリタルトキハ登記官吏ハ永代借地登記簿ノ用紙ヲ閉鎖スヘシ

前項ノ場合ニ於テ其登記用紙中永代借地權ヲ目的トスル他ノ權利ニ關スル登記アルトキハ表示欄ニ地券抹消ノ通知アリタル旨ヲ記載シ置キ他ノ權利ニ關スル總テノ登記ニ付キ抹消ノ登記ヲ爲シタル後又ハ所有權保存ノ登記ヲ爲スニ因リ他ノ權利ニ關スル登記ヲ普通登記簿ニ移シタル後登記用紙ヲ閉鎖スヘシ

第七條 前條第一項ノ通知アリタル場合ニ於テ永代借地ノ上ニ存スル建物ニ關スル登記アルトキハ登記官吏又ハ其登記ヲ普通登記簿ニ移シ前登記簿ノ用紙ヲ閉鎖スヘシ

附則

第八條 本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第九條 明治三十二年司法省令第四十一號外國人又ハ外國法人ノ權利ノ目的タル不動産ニ關スル登記取扱手續ハ之ヲ廢止ス

(附錄ハ之ヲ略ス)

政府ノ永代借地券ヲ以テ外國人又ハ外國法人ノタメニ設定シタル永代借地權ヲ取得シ又ハ其土地ノ所有權ヲ取得シタルキ通知ノ件 (明治三十四年九月內務省令第二十四號)

政府ノ永代借地券ヲ以テ外國人又ハ外國法人ノ爲ニ設定シタル永代借地權ヲ取得シタル帝國ノ臣民又ハ法人明治三十四年勅令第百七十九號第一條ニ依リ借地券ノ抹消ヲ受ケ其ノ土地ノ所有權ヲ取得シタルトキハ地方廳ハ遲滞ナク其ノ土地所在地ヲ管轄スル稅務署ニ其ノ旨ヲ通知スヘシ

同上法令ニ依ル通知ヲ受ケタルキ土地臺帳登錄ノ件

(明治三十四年九月大藏省訓令第三十四號)

稅務管理局 函館札幌樺室那 釧四局ヲ除ク

明治三十四年內務省令第二十四號ニ依ル通知ヲ受ケタルトキハ稅務署ハ其ノ土地ニ付土地臺帳登錄ノ手續ヲ爲スヘシ

永代借地及永代借地ノ上ニ存スル建物登記ノ謄本抄本ノ交付等ニ關スル手数料ノ件

(明治三十四年九月司法省令第十六號)

永代借地及永代借地ノ上ニ存スル建物ノ登記簿ノ謄本若ハ抄本ノ交付ノ請求又ハ登記簿若クハ其

ノ附屬書類閱覽ノ請求ニ關スル手数料ニ付テハ明治三十二年司法省令第十四號ノ規定ヲ準用ス
本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

明治三十二年司法省令第四十二號ハ之ヲ廢止ス

〔參照〕 明治三十二年(七月)司法省令第四十二號ハ同年勅令第三百二十九號ニ依ル登記ノ贖
本、抄本等交付ノ請求ニ關スル手数料ニ付テハ同年司法省令第十四號ノ規定ヲ準用スルノ
件ナリ

第三章 整地理登記

整地理登記規則 (明治三十三年一月勅令第二號)

朕整地理登記規則ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

整地理登記規則

第一條 耕地整理法ニ依リ整地理地區ニ編入シタル土地ノ登記ニ付テハ本令ニ別段ノ定アルモノヲ
除クノ外不動産登記法ニ依ル

第二條 整理ヲ施行シタル從前ノ土地既登記ナルトキハ整理委員ハ耕地整理法第四十八條ノ認可
アリタルコトノ公告及通知ヲ爲シタル後遲滞ナク登記ヲ申請スルコトヲ要ス從前ノ土地數箇ニ
對シ一箇ノ換地ヲ交付シタル場合ニ於テ其ノ數箇ノ土地中ニ既登記ノモノアルトキ又ハ從前ノ
土地未登記ナルモ整理施行ノ後換地ノ上ニ既登記ノ地役權續存スルトキ亦同シ

第三條 前條ノ登記ヲ申請スルニハ左ノ書面ヲ提出スルコトヲ要ス

一 申請書

二 耕地整理法第四十八條ノ規定ニ依ル農商務大臣ノ認可證又ハ認證アル認可證ノ謄本

三 整理確定圖

四 代理人ニ依リテ登記ヲ申請スルトキハ其ノ權限ヲ證スル書面

第四條 申請書ニハ左ノ事項ヲ記載シ整理委員又ハ其ノ代理人之ニ署名捺印スルコトヲ要ス

一 從前ノ土地及換地ノ所在ノ郡、市、區、町村、字及土地ノ番號

二 從前ノ土地換地ノ地目、段別又ハ坪數

三 從前ノ土地ニ割當テタル換地ノ部分 段別又ハ坪數及其ノ部分ノ符號

四 換地ノ交付ヲ受ケタル者ノ氏名及住所若法人ナルトキハ其ノ名稱及事務所

五 耕地整理ニ因リ登記ヲ申請スル旨

六 登記所ノ表示

七 年月日

第五條 從前ノ土地既登記ナルト未登記ナルトヲ問ハス換地ノ上ニ既登記ノ地役權存續スル場合

ニ於テハ申請書ニ前條ニ掲ケタル事項ノ外左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス但シ地役權換地ノ一
部ノミニ存スルトキハ此ノ部分ヲ表示シタル圖面ヲ添附スルコトヲ要ス

一 整理施行ニ於ケル換地ノ所在ノ郡、市、區、町村、字及土地ノ番號

二 整理施行ニ於ケル換地ノ地目、段別又ハ坪數

三 整理施行前ニ於ケル換地ノ所有者ノ氏名及住所若法人ナルトキハ其ノ名稱及事務所

四 地役權ノ存スル換地ノ部分及其ノ部分ノ符號

第六條 換地ノ一部所有權以外ノ權利(地役權ヲ除ク)ノ目的タル場合ニ於テハ申請書ニ第四條ニ揭ケタル事項ノ外權利ノ目的タル換地ノ部分及其ノ符號ヲ記載スルコトヲ要ス

第七條 參加土地所有者從前ノ土地一箇ニ對シ一箇ノ換地ノ交付ヲ受ケタル場合ニ於テハ登記官吏ハ從前ノ土地ノ登記用紙中表示欄ニ換地ノ表示ヲ爲シ耕地整理ニ因リテ登記ヲ爲ス旨ヲ記載シ前ノ表示及其ノ番號ヲ朱抹スルコトヲ要ス

所有權以外ノ權利(地役權ヲ除ク)從前ノ土地ノ一部ニ存スル場合ニ於テハ登記官吏ハ職權ヲ以テ從前ノ土地ノ登記用紙中相當區事項欄ニ從前ノ土地中權利ノ目的タリシ部分ニ割當テタル換地ノ部分ノ表示ヲ爲ス耕地整理ニ因リテ變更シタル旨ヲ附記シ從前ノ土地中權利ノ目的タリシ部分ノ表示ヲ朱抹スルコトヲ要ス

從前ノ土地ニ關スル權利ニシテ他ノ土地ニ關スル權利ト共ニ先取特權、質權又ハ抵當權ノ目的タル場合ニ於テ耕地整理ニ因リテ他ノ土地ニ關スル權利ノ表示ニ變更ヲ生シタルトキハ登記官吏ハ職權ヲ以テ從前ノ土地ノ登記用紙中相當區事項欄ニ變更ヲ附記スルコトヲ要ス此ノ場合ニ於テハ不動産登記法第二百六條ノ規定ヲ準用ス

換地ニ地役權ニ關スル登記アルトキハ登記官吏ハ職權ヲ以テ從前ノ土地ノ登記用紙中丙區事項欄ニ其ノ登記ヲ移シ其ノ登記ノ末尾ニ耕地整理ニ因リテ登記何號ヨリ移シタル旨及其ノ年月日ヲ記載シ捺印スルコトヲ要ス但シ耕地整理ニ因リ其ノ登記中ニ記載シタル要役地若ハ承役地ノ表示、地役權ノ範圍又ハ地役權ノ存スル土地ノ部分ニ變更ヲ生シタルトキハ其ノ變更ヲ附記シ地役權ノ存スル部分ノ表示ヲ爲シタル事項ヲ朱抹スルコトヲ要ス

丙區事項欄ニ耕地整理ニ因リテ地役權ニ關スル登記ヲ登記何號ニ移シタル旨及其ノ年月日ヲ記載ノ前ノ登記ヲ朱抹シ捺印スルコトヲ要ス

第八條 參加土地所有者從前ノ土地數箇ニ對シ一箇ノ換地ノ交付ヲ受ケタル場合ニ於テハ登記官吏ハ從前ノ數箇ノ土地中其一箇ノ登記用紙中表示欄ニ換地、換地ヲ從前ノ土地ニ割當テタル部分及整理施行前ニ於ケル從前ノ土地ノ表示ヲ爲シ他ノ登記用紙ニ登記シタル從前ノ土地ニ付テハ其ノ登記番號ヲ轉寫シ耕地整理ニ因リテ登記ヲ爲ス旨ヲ記載シ其ノ登記用紙ニ於ケル前ノ表示及其ノ番號ヲ朱抹スルコトヲ要ス

前項ノ手續ヲ爲シタルトキハ他ノ從前ノ土地ノ登記用紙中表示欄ニ耕地整理ニ因リテ登記何號ニ移シタル旨ヲ記載シ前ノ表示、其ノ番號及登記番號ヲ朱抹シ其ノ登記用紙ヲ閉鎖スルコトヲ要ス

第九條 前條ノ場合ニ於テハ換地ノ表示ヲ爲シタル登記用紙中甲區事項欄ニ他ノ從前ノ土地登記用紙ヨリ所有權ニ關スル登記ヲ移シ其ノ登記ハ從前ノ土地ニ割當テタル換地ノ某部分ノミニ關スル旨、耕地整理ニ因リテ登記ヲ爲ス旨、申請書受附ノ年月日及受附番號ヲ記載シ登記官吏捺印スルコトヲ要ス

換地ノ一部未登記ノ從前ノ土地ニ割當テタルモノアル場合ニ於テハ換地ノ表示ヲ爲シタル登記用紙中甲區事項欄ニ其ノ換地ノ部分ニ付所有權保存ノ登記ヲ爲スコトヲ要ス

他ノ從前ノ土地ノ登記用紙ニ所有以外ノ權利(地役權ヲ除ク)ニ關スル登記アルトキハ登記官吏ハ職權ヲ以テ換地ノ表示ヲ爲シタル登記用紙中相當區事項欄ニ其ノ權利ニ關スル登記ヲ移シ從前ノ土地ニ割當テタル換地ノ某部分ノミ其ノ權利ノ目的タル旨、耕地整理ニ由リテ登記何號ヨ

リ移シタル旨及其ノ年月日ヲ記載シ捺印スルコトヲ要ス

第十條 參加土地所有者從前ノ土地數箇ニ對シ一箇ノ換地ノ交付ヲ受ケタル場合ニ於テハ登記官吏ハ從前ノ土地ノ登記用紙中表示欄ニ一箇ノ換地ノ表示ヲ爲シ耕地整理ニ因リテ登記ヲ爲ス旨ヲ記載シ前ノ表示及其ノ番號ヲ捺抹スルコトヲ要ス

從前ノ土地登記用紙ニ所有權以外ノ權利(地役權ヲ除ク)ニ關スル登記アルトキハ登記官吏ハ職權ヲ以テ相當區事項欄ニ他ノ換地ニ關スル權利ノ表示ヲ爲シ其ノ權利ト共ニ所有權以外ノ權利ノ目的タル旨耕地整理ニ因リテ登記ヲ爲ス旨、及其ノ年月日ヲ記載シ捺印スルコトヲ要ス

第十一條 前條ノ場合ニ於テハ登記官吏ハ他ノ各換地ニ付登記用紙中登記番號欄ニ其ノ登記簿ニ於ケル登記ノ順序ヲ追ヒテ新ナル番號ヲ記載シ表示欄ニ換地ノ表示ヲ爲シ耕地整理ニ因リテ登記ヲ爲ス旨ヲ記載スルコトヲ要ス

換地ノ登記用紙中甲區事項欄ニ從前ノ土地ノ登記用紙ヨリ所有權ニ關スル登記ヲ轉寫シ耕地整理ニ因リテ登記ヲ爲ス旨、申請書受附ノ年月日及受附番號ヲ記載シ登記官吏捺印スルコトヲ要ス從前ノ土地ノ登記用紙ニ所有權以外ノ權利(地役權ヲ除ク)ニ關スル登記アルトキハ登記官吏ハ職權ヲ以テ換地ノ登記用紙中相當區事項欄ニ從前ノ土地ノ登記用紙ヨリ其ノ權利ニ關スル從前ノ登記ヲ轉寫シ且從前ノ土地ニ割當テタル他ノ換地ニ關スル權利ノ表示ヲ爲シ其ノ權利ト共ニ所有權以外ノ權利ノ目的タル旨、耕地整理ニ因リテ登記ヲ爲ス旨及其ノ年月日ヲ記載シ捺印スルコトヲ要ス

第十二條 第七條第二項乃至第五項ノ規定ハ參加土地所有者從前ノ土地數箇ニ對シ一箇ノ換地ノ交付ヲ受ケ又ハ從前ノ土地一箇ニ對シ數箇ノ換地ノ交付ヲ受ケタル場合ニ於ケル登記ニ之ヲ準

用ス

第十三條 未登記ノ從前ノ土地ニ對スル換地ニ地役權ノ登記アル場合ニ於テハ登記官吏ハ職權ヲ以テ登記用紙番號欄ニ其ノ登記簿ニ於ケル登記ノ順序ヲ追ヒテ新ナル番號ヲ記載シ表示欄ニ換地ノ表示ヲ爲シ耕地整理ニ因リテ登記ヲ爲ス旨ヲ記載シ甲區事項欄ニ所有權保存ノ登記ヲ爲シ且丙區事項欄ニ地役權ニ關スル登記ヲ移スコトヲ要ス

第十四條 登記官吏登記ヲ完了シタルトキハ其ノ旨ヲ整理委員ニ通知スルコトヲ要ス

第十五條 登記官吏第十三條ノ規定ニ依リ登記ヲ爲シタルトキハ換地及之ニ割當テタル從前ノ土地ノ表示、耕地整理ニ因リテ所有權及地役權ニ關スル登記ヲ爲シタル旨ヲ換地ノ所有者ニ通知スルコトヲ要ス

第十六條 從前ノ土地舊登記簿ニ登記シタルモノナル場合ニ於テ第八條第二項ノ手續ヲ爲スヘキトキハ舊登記簿ニ其ノ登記ヲ爲スコトヲ得

第十七條 耕地整理法第二條ノ規定ニ依リ一人ニシテ其ノ所有地ノ整理ヲ施行シタル場合ニ於テ登記ヲ申請スルニハ申請書ニ整理施行ニ關スル農商務大臣ノ認可證又ハ認證アル認可證ノ謄本ヲ添附スルコトヲ要ス

附則

本令ハ耕地整理法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

整理地登記取扱手續

(明治三十三年三月司法省令第九號)

整理地登記取扱手續左ノ通相定ム

第一條 整理地登記規則ニ依ル登記ニ付テハ本令ニ別段ノ定アルモノヲ除ク外不動産登記法施行細則ノ規定ニ依ル

第二條 整理地ノ登記ニ付テハ別ニ整理地登記見出帳ヲ備フヘシ
整理地登記見出帳ハ別記雜形ニ依リ之ヲ調製スヘシ

第三條 整理地登記見出帳ニハ豫メ一ノ部ヨリ九ノ部マテテ設ケ置キ整理地登記規則ニ依ル登記ヲ爲ス毎ニ換地ノ番號ノ字頭ニ依リ相當ノ部(十百千ノ數ヲ冠スルモノハ一ノ部ニ記入スルノ類)ニ換地ノ番號、從前ノ土地ノ番號、登記用紙ヲ編綴セル登記簿ノ冊數、丁數及ヒ登記番號ヲ記入スヘシ

前項ノ記入ヲ爲シタルトキハ土地登記見出帳又ハ土地分合登記見出帳ノ備考欄ニ從前ノ土地ニ對スル換地ノ番號ヲ記入シ其ノ見出ヲ朱抹スヘシ

第四條 整理確定圖及ヒ整理地登記規則第五條但書ニ依リ提出シタル圖面ニハ申請書受附ノ年月日、受附番號及ヒ登記番號ヲ記載スヘシ

前項ノ圖面ニハ番號ヲ附シ便宜之ヲ整理シ申請書受附ノ日ヨリ十年間之ヲ保存スヘシ(明治三十五年七月司法省令第十四號ヲ以テ本項ヲ改ム)

第五條 整理確定圖ノ番號ハ登記用紙中表示欄ニ爲シタル登記ノ末尾ニ之ヲ記載シ整理地登記規則第五條但書ニ依リ提出シタル圖面ノ番號ハ丙區事項欄ニ爲シタル登記ノ末尾ニ之ヲ記載スヘシ

第六條 整理地登記規則第五條但書ニ依リ提出スヘキ圖面ニハ換地ノ所在ノ郡、市、區、町村、字、土地ノ番號、方位及ヒ地役權ノ存スル換地ノ部分ノ段別又ハ坪數竝ニ其部分ノ符號ヲ記載シテ

整理委員署名捺印スヘシ

第六條ノ二 整理地登記規則第三條及ヒ第十七條ニ依リ提出シタル農商務大臣ノ認可證ノ原本ノ還付ヲ請求スル場合ニ於テハ整理委員ハ其原本ト共ニ原本ニ相違ナキ旨ヲ記載シタル謄本ヲ提出スヘシ(三八年二月司法省令第三二號ヲ以テ本條追加ス)

登記官吏認可證ノ原本ヲ還付スルトキハ其謄本ニ原本還付ノ旨ヲ記載シテ捺印スヘシ

第七條 整理地登記規則第七條第三項、第十二條、第十四條及ヒ第十五條ノ通知事項、通知ノ受クル者及通知ヲ發スル年月日ハ不動産登記法施行細則第十四條第五號ノ通知簿ニ之ヲ記入シ通知書ト契印スヘシ(以上法令ヲ以テ本條ヲ改ム)

第八條 土地整理法第六號ノ規定ニ依ル登記簿其他附屬書類ノ謄寫ヲ求ムルトキハ登記官吏ノ面前ニ於テ他之ヲ爲サシムヘシ
(別記ハ之ヲ略ス)

第四章 臺灣ニ於ケル特則

第一節 本則

臺灣不動産登記規則 (明治三十二年六月律令第十二號)

臺灣總督府評議會ノ議決ヲ經タル臺灣不動産登記規則勅裁ヲ得テ茲ニ之ヲ發布ス
臺灣不動産登記規則

第一條 不動産ニ關スル權利ノ登記ニ付テハ不動産登記法ニ依リ地方法院又ハ其出張所ヲシテ其

事務ヲ取扱ハシム

第二條 不動産登記法中司法大臣ニ附與シタル職權ハ臺灣總督之ヲ行フ

第三條 不動産登記法中地方裁判所ノ職務ニ屬セシメタルモノハ覆審法院ナシテ之ヲ行ハシム

附則

第四條 此規則ノ施行期日ハ臺灣總督之ヲ定ム(明治三十二年七月臺灣總督府令第八十二號ヲ以テ此施行期日ヲ同年十月一日ト定ム)

第五條 此規則ハ當分ノ内地ニ關スル權利ニ適用セス

第六條 明治三十一年律令第九號民事商事及刑事ニ關スル律令施行規則中建物ノ登記ニ關スル規定ハ此規則施行ノ日ヨリ廢止ス

臺灣不動産登記規則ニ依ル建物ノ登記ニ關スル取扱

手續 (明治三十二年七月臺灣總督府令第八十一號)

明治三十二年律令第十二號臺灣不動産登記規則ニ依ル建物ノ登記ニ關スル取扱手續ハ明治三十二年(五月)司法省令第十一號不動産登記法施行細則ニ依ル、但シ同細則中地方裁判所ノ職務ニ屬セシメタルモノハ覆審法院ナシテ之ヲ行ハシム

本令ハ臺灣不動産登記規則施行ノ日ヨリ施行ス(明治三十五年二月臺灣總督府令第十四號ヲ以テ但書ヲ追加ス)

登記施行手續ニ關シ臺灣ニ適用ノ司法省令ニ改正アリタル場合ニ於ケル規程

(明治三十五年八月臺灣總督府令第六十六號)

不動産及船舶其ノ他各種ノ登記施行手續ニ關シ府令ノ規定ニ依リ本島ニ適用セラレタル司法省令ノ改正アリタルトキハ特ニ規定アル場合ノ外各其ノ改正法令ニ依ル

本令ハ本令施行前ニ於ケル省令ニモ適用ス

前二項ニ掲ケタル改正省令ノ本島ニ於ケル施行期日ハ各其改正省令施行期日ニ依ル但シ改正省令ノ施行期日本令施行前ニ係ルモノハ本令施行ノ日ヨリ施行ス

本令ハ發布ノ日ヨリ施行ス

土地ノ登記ノ囑託ニ就キ官吏指定ノ件

(明治三十八年六月臺灣總督府告示第八十四號)

臺灣總督府ノ所管ニ係ル土地ノ登記ノ囑託ニ就テハ左ノ官吏ヲ指定ス(明治三十九年臺灣總督府告示第百二號、同四十年同第百三十二號、同四十一年同第九十三號、同四十三年同第五十七號ヲ以テ令中改正)

- 民政部財務局長
- 殖産局長
- 通信局長
- 土木局長
- 法院長
- 鐵道部長
- 專賣局長
- 臨時臺灣糖務局長
- 稅關長
- 國語學校長
- 醫院長
- 醫學校長
- 郵便電信局長
- 警察官司獄官練習所長
- 海港檢疫所長
- 監獄長
- 官幣大社臺灣神社宮司
- 廳長
- 彩票局長
- 中學校長
- 農事試驗場長
- 阿里山作業所長
- 臨時臺灣工事部長

建物及船舶所有者ノ印鑑届出ニ關スル件

(明治三十八年六月臺灣總督府令第四十六號)

建物及船舶ノ所有者ハ登記照合ノ用ニ供スル爲建物ニ付テハ其ノ所在地船舶ニ付テハ其ノ定置場ヲ管轄スル地方法院其ノ出張所若ハ登記所ニ印鑑ヲ届出ヘシ改印シタルトキ亦同シ印鑑ハ郵便ヲ以テ差出スモ妨ナシ
印鑑ハ左ノ雛形ニ依ルヘシ

(印鑑雛形ハ明治三十二年司法省令第十一號不動産登記法末尾ニ記載セルモノニ同シ參省スヘシ故ニ之ヲ略ス)

附則

本令ハ明治三十八年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

明治三十一年(八月)府令第七十號ハ之ヲ廢止ス

〔參照〕 明治三十一年(八月)臺灣總督府令第七十號ハ本令ト同伴ナリ

土地登記簿建物登記簿及商業登記簿等ノ謄本抄本ノ交付請求ニ關スル件

(明治三十二年七月臺灣總督府令第八十三號)

土地登記簿、建物登記簿及商業登記簿ノ謄本又ハ抄本ノ交付、土地登記簿、建物登記簿又ハ其附屬書類ノ閱覽及商業登記ニ付登記事項ノ證明並登記證書交付ヲ請求スル者ハ明治三十二年(五月)司法省令第十四號土地登記簿建物登記簿及商業登記簿ノ謄本又ハ抄本ノ請求等ニ關スル規定ニ依

リ手数料ヲ納ムヘシ(明治三十八年六月臺灣總督府令第四十四號ヲ以テ本令ヲ改ム)
本令ハ發布ノ日ヨリ施行ス

地方法院及其出張所ノ管内ニ登記所設置ニ關スル件

(明治三十八年五月律令第四號)

臺灣總督府評議會ノ議決ヲ經タル地方法院及其ノ出張所ノ管内ニ登記所設置ニ關スル件勅裁ヲ得テ茲ニ之ヲ發布ス

地方法院及其出張所ノ管内ニ登記所ヲ設置シ法院書記ヲ登記及公證事務ヲ取扱ハシムルヲ得登記所ノ設置廢止及管轄ノ區域ハ臺灣總督之ヲ定ム

地方法院及其出張所管内登記所ノ登記及公證事務取扱ニ關スル件

(明治三十八年六月臺灣總督府令第四十二號)

明治三十八年律令第四號ニ依リ地方法院及其ノ出張所管内登記所ニ於テハ法院書記ヲシテ土地建物、船舶、商業ノ登記及公證事務ヲ取扱ハシム

前項ニ依リ書記カ公證事務ヲ取扱フヘキ場合ニ於テハ「公證官吏臺灣總督府法院書記」ト刻シタル方六分ノ職印ヲ用フヘシ

〔參照〕 明治三十八年律令第四號ハ前掲地方法院及出張所ノ管内ニ登記所設置ニ關スル件也

第二節 土地登記

臺灣土地登記規則

(明治三十八年五月律令第三號)

臺灣總督府評議會ノ議決ヲ經タル臺灣土地登記規則勅裁ヲ得テ茲ニ之ヲ發布ス
臺灣土地登記規則

第一條 土地臺帳ニ登錄セラレタル土地ニ關シ左ニ掲ケタル權利ノ設定、移轉、變更、處分ノ制限
又ハ消滅ハ相續又ハ遺言ニ因ル場合ヲ除クノ外此規則ニ依リ登記ヲ爲スニアラサレハ其效力ヲ
生セス但シ相續又ハ遺言ニ因ル場合ト雖登記ヲ爲スニアラサレハ第三者ニ對抗スルヲ得ス

一 業主權

二 典權

三 胎權

四 贖耕權

第二條 登記シタル典權又ハ胎權ヲ有スルハ債務ノ擔保ニ供セラレタル土地ニ付他ノ債權者ニ先
チ自己ノ債權ノ辨濟ヲ受クルコトヲ得

第三條 土地登記ニ關スル規定ハ典權ニ、抵當權ニ關スル規定ハ胎權ニ之ヲ準用ス

第四條 土地登記ニ付テハ此ノ規則ニ定ムルモノノ外不動産登記法ヲ準用ス
但シ同法中司法大臣ノ職權ニ屬セシメタルモノハ臺灣總督之ヲ行ヒ地方裁判所ノ職權ニ屬セシ
メタルモノハ覆審法院ヲシテ之ヲ行ハシム

第五條 前條ノ規定ニ依リ不動産登記法ヲ準用スル場合ニ於テハ業主權ニ付テハ所有權ニ、典權
ニ付テハ質權ニ胎權ニ付テハ抵當權ニ、贖耕權ニ付テハ永小作權ニ關スル規定ニ依ル

第六條 土地登記簿ノ用紙ニハ甲乙丙ノ三區ヲ設ク

甲區事項欄ニハ業主權ニ關スル事項ヲ記載ス

乙區事項欄ニハ典權胎權ニ關スル事項ヲ記載ス

丙區事項欄ニハ贖耕權ニ關スル事項ヲ記載ス

第七條 登記ヲ申請スル者ハ土地臺帳所管廳ノ下付シタル土地臺帳謄本ヲ提出スヘシ但シ既登記
ノ土地ハ此ノ限ニ在ラズ

第八條 登記官吏ハ申請ニ係ル登記事實ヲ調査シ其ノ事實眞正ナラスト認ムルトキハ理由ヲ付シ
タル決定ヲ以テ申請ヲ却下スルコトヲ要ス

前項ノ調査ハ他官廳ニ之ヲ囑託スルコトヲ得

登記官吏力登記事實ヲ調査スルニ付日時ヲ要スル場合ニ於テ同一ノ土地ニ關シ他ノ登記申請ア
リタルトキハ職權ヲ以テ前ノ登記申請ノ爲假登記ヲ爲スコトヲ要ス

前ノ登記申請ヲ却下シタルトキハ前項ノ假登記ハ職權ヲ以テ之ヲ抹消スヘシ

第九條 土地臺帳所管廳ハ未登記ノ土地ニ付テハ不動産登記法第十一條第二項ノ通知ヲ爲スコト
ヲ要セス

第十條 第一條ニ掲ケタル事項ヲ目的トスル法律行爲ニ付公正證書作成ノ申請ヲ爲シタル者ハ同
時ニ其ノ登記ノ申請ヲ爲シタルモノト看做ス

公正官吏ハ公正證書ヲ作りタルトキハ遲滯ナク管轄登記官廳ニ登記ヲ囑託スヘシ

第十一條 此ノ規則ニ規定スルモノノ外必要ナル規定ハ臺灣總督之ヲ定ム

附則

第十二條 此ノ規則ノ施行期日ハ臺灣總督之ヲ定ム

第十三條 此ノ規則施行前ニ設定シタル典權、權胎及墾耕權ハ此ノ規則施行ノ日ヨリ一箇年内ニ此ノ規則ニ依リ登記ヲ爲スニアラサレハ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

第十四條 明治三十六年律令第二號ニ依リ設定シタル胎權ニ關シテハ仍同令ヲ適用ス

第十五條 此ノ規則ハ明治三十七年律令第三號中登記ノ取扱ニ關スル規定ノ適用ヲ妨ケス
〔備考〕 明治三十六年律令第二號ハ日本勸業銀行貸付ヲ爲ス土地ニ關スル件ナリ

同 施行規則 (明治三十八年六月臺灣總督府令第四十三號)

臺灣土地登記規則施行規則左ノ通相定ム

臺灣土地登記規則施行規則

第一條 臺灣土地登記規則ニ依ル土地ノ登記ハ此ノ規則ニ於テ特ニ規定スルモノノ外明治三十二年(五月)司法省令第十一號不動産登記法施行細則ニ依ル但シ同則中司法大臣トアルハ臺灣總督、地方裁判所トアルハ覆審法院、區裁判所トアルハ地方法院及其ノ出張所、區裁判所出張所トアルハ地方法院及其ノ出張所管内登記所、市、區、町村長トアルハ廳長又ハ支廳長トス
土地臺帳謄本ハ之ヲ設備セス

第二條 土地登記簿ハ別記第一號雛形ニ依リ覆審法院ニ於テ調製シ登記官廳ノ請求ニ因リ之ヲ交付スヘシ

第三條 印鑑ハ別記第二號雛形ニ依リ之ヲ調製スヘシ

第四條 官廳又ハ公共ノ團體ノ公賣處分、土地收用又ハ遺言ニ因ル未登記ノ土地業主權移轉ノ登記ノ申請又ハ囑託アルタルトキハ不動産登記法第二百二十九條ノ規定ヲ準用ス未登記ノ土地業主權移轉ノ判決アリタルトキ亦同シ

第四條ノ二 民事訴訟法第五百五十九條ニ依ル和解、民事訴訟法特別手續第二十六條ニ依ル請求ノ認諾及廳ニ於テ成立シタル民事訴訟調停證書ニ因ル登記ハ登記權利者ノミニテ之ヲ申請スルコトヲ得(明治三十八年府令第七五號ニテ本條ヲ新設シ同四〇年同令第九五號ニテ改正ヲ加フ)

前項ノ申請アリタル場合ニ於テ其ノ土地カ未登記ナルトキハ不動産登記法第二百二十九條第三百一十一條ノ規定ヲ準用ス

第四條ノ三 左ノ場合ニ於テ債務者土地業主權ノ相續登記ヲ爲ササルトキハ債權者ハ債務者ニ代位シ登記ヲ申請スルコトヲ得(同上、尙ホ明治四十二年同令第五號ニテ全條改正)

一 假差押、假處分、競賣申立ノ登記ヲ爲ストキ
一 第四條ノ二第一項及第四條ノ八ノ原因ニ基ク業主權ノ移轉若ハ典權、胎權、墾耕權設定ノ登記ヲ爲ストキ

債務者住所氏名ヲ變更シ其ノ變更登記ヲ爲ササルトキ亦前項ニ同シ

前二項ニ依ル登記手續ニ付テハ明治三十九年法律第五十五號ヲ準用ス

第四條ノ三 假差押假處分競賣申立ノ登記ヲ爲ス場合ニ於テ債務者相續登記ヲ爲ササルトキハ債權者ハ債務者ニ代理シ登記ヲ申請スルコトヲ得(新置改正、第四條ノ二ニ同シ)

第四條ノ四 假登記、差押又ハ競賣申立ノ登記アリタル後權利ヲ取得シタル第三者ノ申請ニ因リ